

南部保健所報

平成27年度版

大分県南部保健所

はじめに

平成25年3月、大分県医療計画が5年ぶりに改訂されましたが、その前の改訂で、大分県の二次医療圏はより広域化され、それまでの10医療圏から6医療圏となり、それを参酌し、県の保健所は10か所から6か所に再編されました。しかし、今回の大分県医療計画の改訂では、医療圏の改訂やそれに伴う保健所再編はありませんでした。

当保健所区域（南部圏域）は903.54平方キロメートルと、全国の二次医療圏の平均面積に近い面積ですが、管内人口は8万人弱で、全国の保健所管内の平均的人口に比べ過疎地の保健所です。

3年前に、地域保健法第4条第1項の規定に基づいた「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」が改訂され、保健所の機能強化として、新たに①「健康なまちづくりの推進」が加えられ、従来の②「専門的かつ技術的業務の推進」③「情報の収集・整理・活用の推進」④「調査・研究の推進」⑤「市町村への援助及び市町村間の連絡調整」⑥「地域における健康危機管理の拠点としての機能強化」及び⑦「企画・調整機能の強化」と合わせて、7分野での保健所の機能強化が求められています。

4年前の3月11日に東日本大震災及び関連の福島原子力発電所事故などが起き、日本は大きな公衆衛生上の課題を経験しています。この地域でも、南海トラフ地震や津波への備えなど自然災害に対する対策が、喫緊の課題となっています。

更に、デング熱やエボラ出血熱、MERSの流行など、今まで国内発生がなかった感染症への対策も日本の感染症健康危機管理の課題になっています。

これらの動向も踏まえ、平成20年度の大分県保健所再編以来目指すこととなった「新しい公衆衛生行政課題への対応」、「医療制度改革等に対応した保健・医療・福祉の広域調整の充実」、及び「健康危機管理体制の充実」の3つを柱とする機能強化を目指し、3つの柱の推進に引き続き職員一同まい進して参りたいと思います。

この度、管内の公衆衛生等の状況を取りまとめましたので、ご活用頂ければ幸甚に存じます。

平成27年6月

大分県南部保健所長 前田 泰久

目 次

I 南部保健所の概況	
1 沿革	3
2 位置及び建物平面図	4
3 組織及び職員数	5
4 業務内容	6
5 南部保健所管内のあるべき姿	7
II 管内の概況	
1 概況	11
2 人口動態	12
(1) 人口・世帯数の推移	12
(2) 主要死因別死亡数・死亡率	14
(3) 管内における主要死因別死亡割合(平成25年)	15
(4) 三大死因別割合	16
(5) 三大死因標準化死亡比(SMR)	16
III 保健・衛生部門	
1 地域保健対策強化の概要	19
(1) 企画調整機能	19
(2) 健康危機管理	20
(3) 人材育成	22
2 地域医療	24
(1) 医療施設等の状況	24
(2) 医療施設数(病床数別)	24
(3) 医療施設の動態	25
(4) 特定の人を対象とした医療施設	25
(5) 医療関係従事者の状況	25
(6) 医療関係施設への立入検査実施状況	26
(7) へき地医療の状況	26
3 母子保健	27
(1) 妊娠届出状況	27
(2) 乳児健康診査	27
(3) 1歳6か月児健康診査	28
(4) 3歳児健康診査	28
(5) 母子保健に関する教室の開催状況	29
(6) 母子保健指導状況	29
(7) 乳幼児発達相談実施状況	29
(8) 小児慢性特定疾患治療研究事業受給件数	30
(9) 小児慢性特定疾病医療受給者証所持者数	30
(10) 育成医療給付状況	30
(11) 未熟児養育医療給付状況	30
(12) 不妊治療費等助成事業	30
(13) 母子保健地域強化推進事業	31
(14) 長期療養児等療育相談事業	33
4 健康増進	34
(1) 「生涯健康県おおいた21」推進事業	34
(2) 地域・職域連携推進協議会	34
(3) たばこ対策促進事業	34
(4) 糖尿病重症化予防対策事業	35
5 歯科口腔保健	36
(1) 地域歯科保健検討会	36
(2) 歯科口腔保健研修会	36
(3) 高齢者のよい歯のコンクール	37
(4) 親と子のよい歯のコンクール	37
(5) 1歳6か月児歯科健康診査実施状況	37
(6) 3歳児歯科健康診査実施状況	37
6 食育・栄養改善	38
(1) 食育推進	38
(2) 特定給食施設等の指導	39
(3) 食品の栄養表示等に対する指導	40
(4) 人材・組織育成、研修会	41
7 生活習慣病対策	42
(1) 高齢者の医療の確保に関する法律の規定による特定健康診査(国民健康保険)	42
(2) 健康増進法の規定による健康診査	42
(3) がん検診	43

8 精神保健	48
(1) 入院・通院患者数	48
(2) 精神障がい者保健福祉手帳交付件数	48
(3) 精神保健相談実施状況	49
(4) 精神障がい者社会適応訓練事業（職親）登録事業所	50
(5) 精神障がい者の地域移行・地域定着支援事業	50
(6) 佐伯市との事業連絡会	51
(7) 自殺対策推進事業	51
(8) 地域かかりつけ医精神科医連携会議	52
(9) 心の健康教室実施状況	52
(10) 自殺企図者の通報件数	53
(11) ケア会議	53
(12) ひきこもり支援	53
9 難病対策	54
(1) 特定疾患治療研究事業	54
(2) 難病の患者に対する医療等に関する法律	56
(3) 特定疾患登録者証所持者数	58
(4) 地域支援ネットワーク事業	59
(5) 難病新聞「南風」の発行	60
10 結核対策	61
(1) 結核新登録者数（活動性分類別・年齢階級別）	61
(2) 結核活動性分類別登録者数（受療状況別）	61
(3) 結核有病率・罹患率	62
(4) 結核予防（健康診断の実施状況）	62
(5) 一般住民結核健康診断実施状況	63
(6) 精密検査（従来の管理検診）実施状況	63
(7) 接触者検診（患者家族検診）実施状況	63
(8) 接触者検診（その他）実施状況	63
11 感染症対策	64
(1) 感染症発生状況	64
(2) 感染症発生動向調査	64
(3) 予防接種実施状況	65
(4) エイズ対策	67
(5) 消毒インストラクター養成・フォローアップ研修	68
(6) 肝炎対策	68
12 介護保険	69
(1) 要介護認定者数	69
(2) 介護保険サービス受給状況	69
(3) 居宅サービス事業所等の数	70
(4) 地域密着型サービス事業所等の数	70
(5) 介護保険関連研修	71
13 介護予防	72
(1) 圏域介護予防検討会・佐伯地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会	72
(2) 地域ケア会議開催に向けた介護従事者研修会（介護予防関連従事者研修）	72
(3) 介護予防支援従事者研修	73
14 在宅医療連携拠点体制整備事業	74
(1) 佐伯地域保健委員会在宅医療対策小委員会の設置	74
(2) 他職種向け研修会	74
(3) 住民向け研修会	74
15 訪問看護・介護連携強化推進事業	75
(1) 訪問看護連絡会	75
(2) 訪問看護と介護の同伴訪問	75
(3) 訪問看護・介護連携研修	76
16 看護対策	77
(1) 「看護の日」及び「看護週間」事業	77
(2) 看護の地域ネットワーク事業	77
17 保健師活動状況	80
(1) 保健師配置状況	80
(2) 家庭訪問実施状況	80
(3) 健康相談実施状況	80
18 原爆被爆者対策	81
(1) 被爆者健康手帳交付及び各種手当等の支給状況	81
(2) 被爆者健康診断実施状況	81
19 献血対策	82
(1) 献血状況	82
20 温泉	83
(1) 温泉地別源泉数等調	83
(2) 温泉利用許可施設数調	83

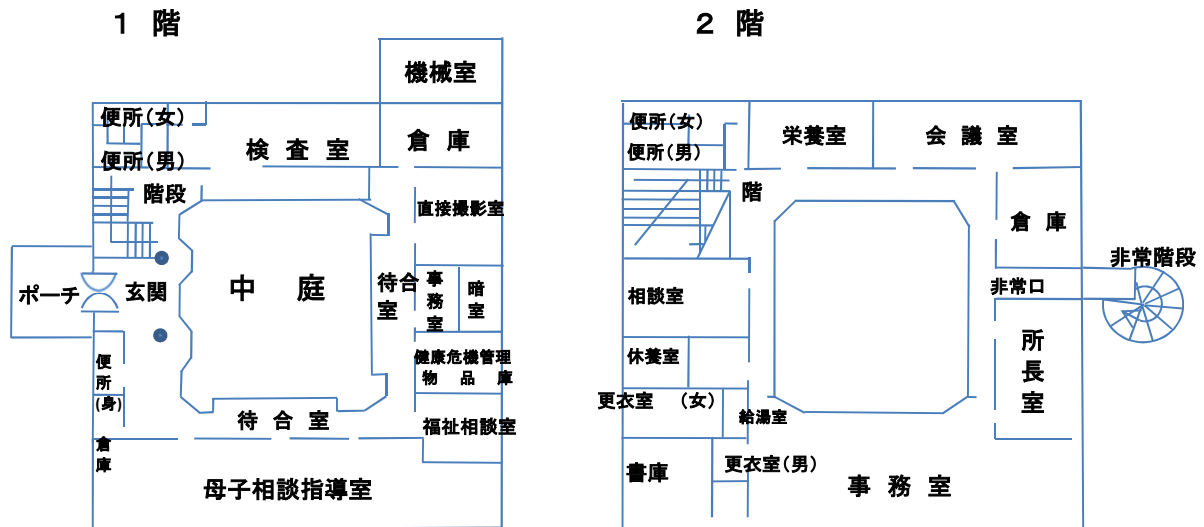
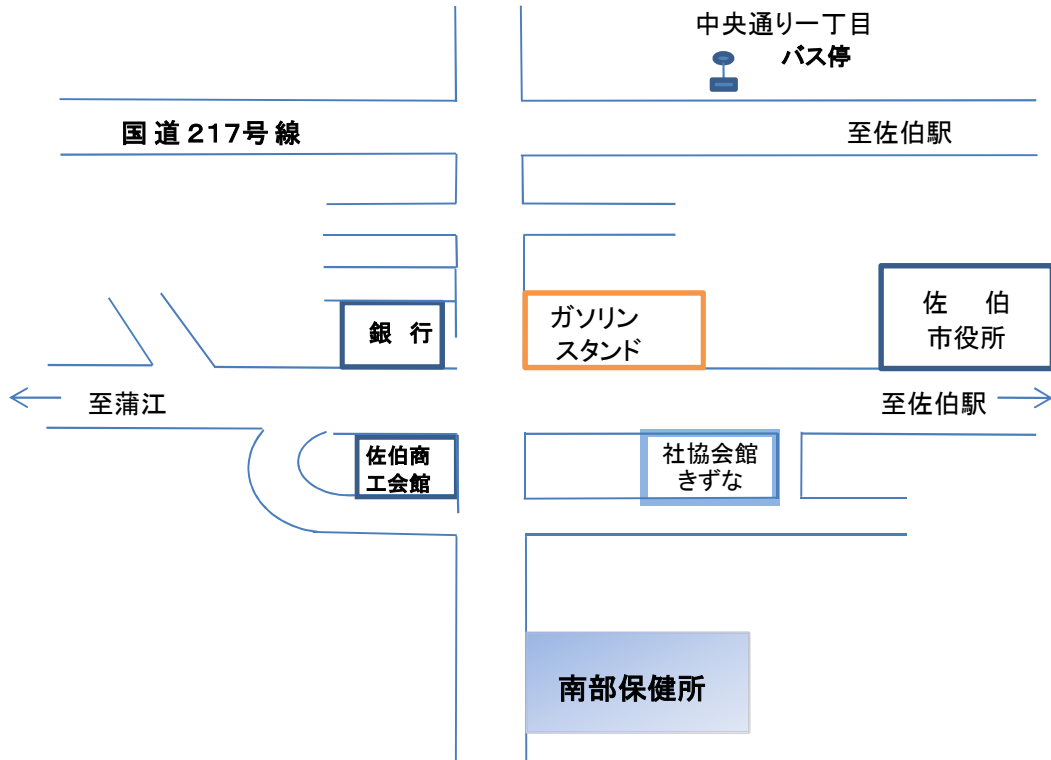
2 1	業務	84
(1)	薬事関係施設及び立入検査実施状況	84
(2)	毒劇物関係施設及び立入検査実施状況	85
(3)	業務関連事業実施状況	85
2 2	食品衛生	86
(1)	監視指導	86
(2)	食品衛生監視機動班	91
2 3	環境衛生	93
(1)	水道普及状況	93
(2)	建築物衛生管理施設	93
(3)	特定建築物施設数及び立入検査状況	93
(4)	生活衛生関係営業施設及び監視件数	94
(5)	産業廃棄物処理業者	94
(6)	廃棄物処理施設数及び監視件数	94
(7)	浄化槽設置状況	94
(8)	浄化槽保守点検業の登録及び監視件数	94
(9)	水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく特定事業場	95
(10)	自動車リサイクル法に関係した許可及び登録数	97
(11)	第一種フロン類回収業者登録数	97
(12)	大分県土砂等のたい積行為の規制に関する条例に関係した特定事業の許可数及び監視件数	97
(13)	一定の規模以上の土地の形質の変更届出数	97
(14)	化製場等に関する法律に関係した施設数	97
2 4	ごみゼロおおいた作戦	98
(1)	豊かな水環境の創出	98
(2)	循環型社会形成推進事業	98
2 5	狂犬病予防及び動物愛護	99
(1)	狂犬病予防業務	99
(2)	犬・猫による苦情	99
(3)	犬・猫の引き取り頭数	99
(4)	動物愛護事業	100
(5)	特定動物の飼養保管許可施設と飼養数（飼養形態別）	100
(6)	動物取扱業の登録状況	100
2 6	試験検査	101
(1)	臨床検査（糞便・喀痰・血液検査）	101
(2)	臨床検査（細菌検査）	101
IV	福祉部門	
1	生活保護の状況	105
(1)	生活保護実施状況	105
(2)	生活保護世帯の世帯類型別状況	105
2	母子及び寡婦福祉の状況	105
(1)	母子、寡婦及び父子世帯数	105
(2)	母子世帯の年齢	105
3	児童福祉	106
(1)	家庭児童相談室における相談処理状況	106
(2)	児童福祉施設入所状況	107
4	地域福祉	108
(1)	民生委員・児童委員等の状況	108
(2)	ユニバーサルデザイン（出前授業実施状況）	108
(3)	大分あったか・はーと駐車場利用証交付状況	108
(4)	新百歳訪問の実施状況	109
5	障がい者（児）福祉	110
(1)	身体障害者（児）手帳交付状況及び身体障害者相談員数	110
(2)	療育手帳交付状況及び知的障害者相談員数	110
(3)	精神障がい者保健福祉手帳交付件数（再掲）	110
(4)	平成24年度佐伯地区身体・知的障がい者相談員合同研修会	110
V	参考資料	
1	調査研究報告等	113
2	保健所行動計画	114
3	平成26年度行動計画の検証結果について	118

I 保健所の概況

1 沿革

- 昭和19年10月 佐伯市西谷の簡易保険佐伯相談所の庁舎を借り業務開始
- 昭和22年 9月 公衆衛生事業開始
- 昭和24年 3月 大分県保健所規則の制定により、所管区域が佐伯市・南海部郡及び大野郡小野市村、重岡村となる。総務課、衛生課の2課制となる。(C級保健所)
- 昭和26年 2月 佐伯市中村外に庁舎新築移転
- 昭和33年 4月 総務課・衛生課・保健予防課の3課制となる。
- 昭和35年 9月 保健所型別編成替により、R4型保健所となる。
- 昭和55年 7月 佐伯市字向島に新庁舎落成移転
- 平成 2年 4月 総務課の庶務係・業務係を統合し、総務係に改称。衛生課に食品衛生係、環境衛生係を置く。
- 平成 9年 4月 総務課を総務企画課に改称し、総務係、企画調整係を置く。保健予防課を保健指導課に改称し、保健指導第一係、保健指導第二係を置く。衛生課に検査担当を置く。
- 平成16年 4月 保健指導課を地域保健課に改称し、健康増進係と疾病対策係を置く。
- 平成17年 4月 佐伯県民保健福祉センターと改称し、地域福祉課を新設。
- 平成19年 5月 総務企画課を総務福祉課に改称し、地域福祉課を廃止。
- 平成20年 4月 南部保健所と改称し、健康安全企画課を置く。

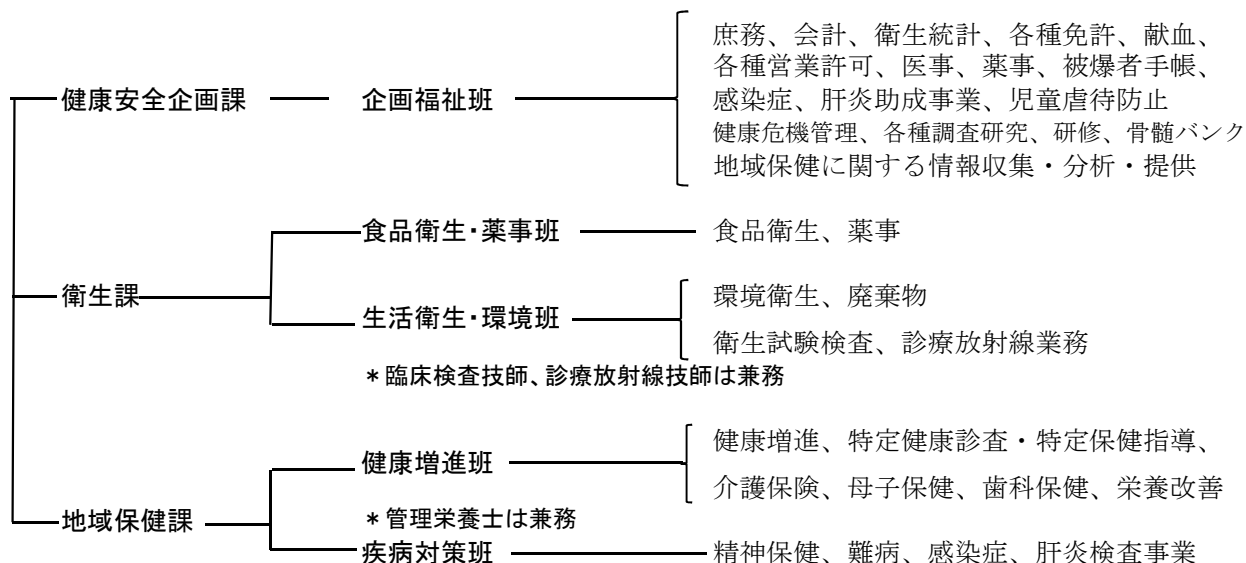
2 位置及び建物平面図



庁舎の概要

敷地面積			3,046.01 m ²
本館	鉄筋コンクリート造	2階建	1棟 1,245.82 m ²
犬抑留所	鉄筋コンクリート造	平屋建	1棟 20.00 m ²
車庫	鉄骨、波鋼板一部スレート	平屋建	1棟 166.40 m ²

3 組織及び職員数



(平成27年5月1日現在)

組織及び現員	職員 総 数	一 般 事 務	技 術 職 員 総 数	医 師	薬 劑 師	獣 医 師	化 学	放 射 線 技 師	技 術 職 員 総 数	臨 床 検 査 師	保 健 師	管 理 栄 養 士	事 務 補 佐	技 師 ・ 労 務	非 常 勤 嘱 託
職員総数	22(10)	6	16(8)	1	4	2	1	(2)	(3)		8	(3)		(2)	4
所長	1		1	1											
健康安全企画課	7	6	1								1				2
次長兼 健康安全企画課長	1	1													
企画福祉班	6	5	1								1				2
衛生課	7(7)		7(5)		4	2	1	(2)	(3)					(2)	2
参事兼衛生課長	1		1		1										
食品衛生・薬事班	4		4		3	1									
生活衛生・環境班	2(7)		2(5)			1	1	(2)	(3)					(2)	2
地域保健課	7(3)		7(3)								7	(3)			
参事兼 地域保健課長	1		1								1				
健康増進班	3(3)		3(3)								3	(3)			
疾病対策班	3		3								3				

注 ※()は他所属在籍の兼務職員

※非常勤嘱託は企画福祉班に2名、生活衛生・環境班の産業廃棄物監視員に2名

4 業務内容

(1) 週間所内業務

項目	曜日	受付時間	備考
精神保健・認知症相談	毎月第2火曜日	15:00～17:00	電話予約制
特定感染症検査	毎月第1、第3火曜日	9:00～11:00	電話予約制
H I V 抗体検査	毎月第1、第3火曜日	9:00～11:00	電話予約制
骨髄バンク登録受付	随時	9:00～11:00	電話予約制
検便	毎月第1、第3火曜日	9:00～11:30	
猫の引き取り	毎月第1、第3月曜日	11:00～12:00	電話予約制
犬の引き取り	毎週木曜日	午前中	電話予約制

(2) その他の業務

項目	内容
家庭訪問・相談	結核・難病・精神保健・長期療養児・栄養
監視指導	食品衛生・公害・環境衛生・薬務・医務
衛生教育	公衆衛生全般

保健所の業務

南部保健所管内のあるべき姿

(平成15年4月作成・平成19年度一部修正・平成20年度一部修正・平成25年度一部修正)

保健所は地域保健・福祉の専門的かつ技術的拠点として様々な役割が求められているが、各種事業の展開にあたり、職員1人1人が明確な目的意識を持ち相互の連携のもと一体となった取り組みを行うことが重要である。
このため、保健所における機能強化の一環として、職員全員で「管内の地域における公衆衛生のあるべき姿」を描くとともに、その実現を目指して現在実施している主な事業を整理した。
当保健所では、住民自らが健康な地域づくりを推進しているよう市と協働して支援することを基本姿勢に位置づけている。また、重大な健康被害に対応する健康危機管理の拠点として、未然防止、発生に備えた準備、対応、被害の回復にも取り組んでいる。
この「あるべき姿」については、平成10年度から作成され、5年毎に見直しされており、年度毎に目標を達成するための事業の見直しを行っている。

基本理念 (スローガン)

基本目標

具体的目標

具体的目標を達成するための主な事業

心も体も満たされる保健・衛生を支える住みよいなまちづくり

安心して子どもを産み育て、
子どもがすこやかに育つ地域づくり

- 妊産婦の安心できる出産、育児の確保**
 - 子育てに必要な医療・保健・福祉サービスが必要な時に受けられる
 - 妊娠、子育て時の経済的負担を軽減できる
 - 育児不安を軽減できる
 - 妊娠中から歯周病やむし歯を予防できる
 - 妊娠中からタバコの被害を受けることなく発育・成長できる
- 乳幼児の健やかな成長**
 - 子どもの発達・発育状態に応じた育児支援が受けられる
 - 発達等の障がいや早期発見し、早期支援が受けられる
 - 身近に育児を手伝ってくれる人がいる
 - 乳幼児期、学童期、青年期から健全な食生活習慣を身につけられる
- 地域ぐるみの子育て体制の整備**
 - 地域で子育てを見守ってもらえる
 - 地域の中に育児について相談できる人がいる
- 青少年の健全育成**
 - 未成年が喫煙・薬物・飲酒等における健康被害を知ることができる
 - 感染症予防ができる生活習慣を身につけることができる

- ヘルシースタートおおい推進事業
- 自主組織の育成・支援
- 育児不安フォローアップ事業
- 巡回療育相談
- 不妊治療費等助成金給付事業
- 小児慢性特定疾患事業
- 乳幼児家庭訪問
- 乳幼児発達相談指導事業
- 障害をもつ親子の交流と情報交換
- 歯科口腔保健事業(8020運動推進)
- 発達障がい児支援従事者研修会
- 保育所給食研修会、保育所監査指導
- 地域のネットワーク体制の強化
- たばこ対策促進事業
- 薬物乱用防止対策
- 子供達への正しい手洗いの啓発運動(あらうんジャー)
- 児童の相談援助
- 要保護児童対策事業

健康で楽しく安全に暮らせる
地域づくり

- 地域における健康の保持・増進**
 - 健康寿命を延伸できる(死ぬまで元気に過ごせる。)
 - 住民が主体の健康づくりができる
 - 地域の健康状況を知ることができる
 - 地域の保健・医療・福祉等の資源情報を知ることができる
 - 地域の健康課題を把握できる
 - 生活習慣改善に向けた質の高い保健サービスが受けられる
 - 受動喫煙がない
 - 若、壮年期からの健康習慣の定着し、生活習慣病が予防できる
 - 職場のメンタルヘルス対策が整備される
 - 歯周病の予防・改善をし、80歳になっても20本以上自分の歯を保てる
 - 自主組織活動を継続できる
- 地域医療、介護体制の整備**
 - 質の高い医療・看護・介護サービスを受けられる
 - 希望する場所で希望する療養生活を送ることができる
 - 地域保健・医療・介護の連携により、一貫したケアが受けられる
 - 困った時に相談ができ、必要な支援が周囲から受けられる
 - 糖尿病や高血圧の重症化を予防できる
- 医療法の適正な運用による医療の確保**
 - 県医療計画に基づく地域医療確保および推進により、県民に充実した医療を提供する
 - 患者側からの苦情・相談対応を通じ、県民が安心して医療を受けられる地域社会を構築する
 - 許可事務を正確かつ迅速に対応することにより、県民への安全・安心な医療の提供に資する
- 健康危機管理体制の確立**
 - 平常時から事業発生予防及び事業発生時に備えた体制が整備されている
 - 健康被害発生時に健康被害を最小限にできる
- 感染症対策の徹底**
 - 平常時から医療機関や社会福祉施設等の感染症対策が整備されている
 - 住民が感染症予防に関する行動を取ることができる
 - 結核に対する正しい知識を持ち、結核を早期発見し適切な治療を受けることができる
 - 性感染症について正しい知識を持ち、予防行動が取れる

- 地域食育推進連絡協議会(食育の普及啓発、情報発信)
- 給食施設等栄養士研修会、公衆栄養担当者研修会
- 「生涯健康県おおい21」推進協力事業所(店)普及推進事業
- 国民生活基礎調査
- 調査研究事業(調査統計情報の収集・分析・提供)
- 糖尿病重症化予防対策事業
- がん在宅医療サポートネットワーク事業
- がん在宅ケアチームづくり支援事業
- 自殺・うつ対策事業
- 地域・職域連携推進事業
- 歯科口腔保健事業
- 難病患者地域支援ネットワーク事業
- 肝炎医療費助成事業
- 在宅療養支援計画策定・評価
- 看護の地域ネットワーク推進事業
- 訪問看護・介護連携強化推進事業
- たばこ対策促進事業
- 地域包括ケアシステム推進事業(在宅医療推進)
- 医療機関の立入検査ほか医療法に基づく許認可業務
- 医療安全総合支援事業
- 医療関係免許事務
- 健康危機管理体制の整備
- 健康危機管理連絡会の運営
- 感染症発生動向調査
- 感染症予防対策事業
- 結核対策(感染症)事業
- HIV対策(感染症)検査・相談
- 消毒インストラクターの養成

老後を安心して迎えられる
地域づくり

- 高齢者の生きがいづくりの推進**
 - 若い時から仕事以外の楽しみや仲間がある
 - 長生きを喜ぶことができる
 - 高齢になっても自分の口で噛んでおいしく食べられる
- 高齢者が安心して受けられる医療、介護、福祉の体制整備**
 - 要支援、要介護状態になった時、自立に向けたサービスを利用できる。
 - 公平、公正な介護認定が受けられる。
 - 要介護状態になっても住み慣れた地域で生活できる。
 - 必要な医療を安心して受けられる。
 - 80歳になっても20本以上自分の歯を保つことができる。
- 高齢者が安心して暮らせる生活の場の確立**
 - 日頃から相談できる人がいる。
 - 困った時に手助けしてくれる人がいる。
 - 介護をしている家族に相談できる場がある。
 - 地域住民が認知症に関する理解を持つ。

- 新百歳訪問
- 歯科口腔保健事業
- 介護認定にかかる研修
- 介護事業所更新
- 訪問看護・介護の連携強化推進事業
- 難病患者地域支援ネットワーク事業
- 地域リハビリテーション推進事業
- 介護予防事業
- 精神保健相談
- 特定疾患治療研究事業
- ひきこもり対策事業
- 地域包括ケアシステム推進事業(在宅医療推進)
- 地域の看護ネットワーク推進事業
- 自殺・うつ対策事業
- 認知症対策事業

疾病や障がいを持っていても
安心して暮らせる地域づくり

- 障がい者が安心して暮らせる体制、環境の整備**
 - 困った時に相談でき、周囲から支援が受けられる。
 - 継続して切れ目なく質の高い支援が受けられる。
 - 生活機能の悪化を予防できる。
 - 介護している家族がゆとりと生き甲斐(楽しみ)を持つことができる。
 - 外出しやすい環境がある。
 - 被爆者が充実した医療サービスを受けられる。
 - 経済的負担を軽減できる。
 - 地域の人が病気や障害を理解してくれている。
 - 人権が守られている。
 - 障害があっても、自立した暮らしができる。
- 障がい者の社会復帰、就労支援**
 - 自宅以外にも行く場所がある。
 - 仲間がいる。

- 精神保健福祉相談事業
- 自殺・うつ対策事業
- ひきこもり対策事業
- 地域リハビリテーション推進事業
- 難病患者地域支援ネットワーク事業
- 在宅療養支援計画策定・評価
- 障害者施設での正しい手洗い啓発
- 身体障がい者・知的障がい者相談員の研修
- 原子爆弾被爆者対策事業(健診実施、手当申請、相談等)
- 社会復帰施設への支援
- 地域生活移行支援地域定着支援の推進
- 大分あったか・はーと駐車場利用証制度
- ユニバーサルデザイン推進

快適に暮らせる地域づくり

- 地球環境の保全**
 - 地球温暖化対策やオゾン層保護対策など地球規模の環境保全活動に参加する
 - 水、土壌、地盤環境を保全し、健全な循環を確保する
 - 大気環境基準の達成・確保等により、大気環境を保全する
- 産業廃棄物の適正管理指導**
 - 産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理等を推進する
 - 産業廃棄物の不法投棄を防止する
- 生活衛生水準の向上**
 - 生活衛生関係営業施設の衛生を確保し、安全・安心で快適な利用を推進する
- 動物愛護と飼育マナーの向上**
 - 飼育マナーの向上
 - 人とペット動物の相互が共生できる地域を構築する
 - 動物愛護の精神を涵養し、犬猫の殺処分頭数の減少させる

- ごみゼロおおい作戦やごみゼロ推進隊の活動支援
- 特定事業場等の立入・採水等による水環境の監視体制強化
- 地下水監視、有害物質貯蔵施設等の立入検査・指導
- 光化学オキシダント注意報等発令時の対応
- 安全な水の確保に関する事業
- 建設リサイクル法等に基づく監視指導
- 産業廃棄物不法投棄監視指導
- 産業廃棄物不法処理防止連絡協議会の連携
- 生活衛生関係営業施設の監視
- 生活衛生関係資格免許事務及び営業許認可事務
- 動物ふれあい教室の開催
- 犬猫等販売業者に対する監視指導
- 適正飼養等の普及啓発

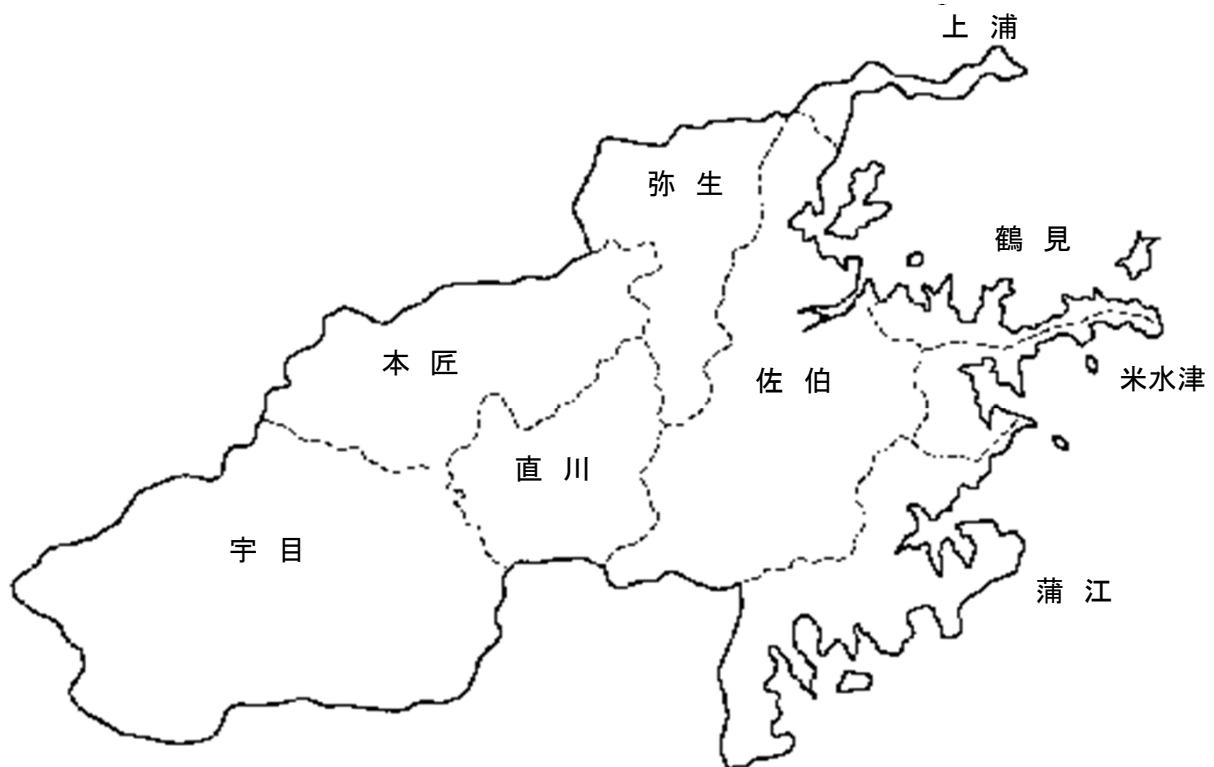
安全・安心な食や医薬品等
を提供できる地域づくり

- 安全・安心な食の提供**
 - 食中毒が起こらない安全な食品を食べられる
 - 生産から消費に至る全ての段階で、食の安全が確保されている
 - 食品に適正な表示がなされている
 - 食品衛生に関する正しい知識が得られる
- 安全に医薬品を使用できる環境の整備**
 - 医薬品等の使用に関する正しい知識が得られる
 - 医薬品等の品質が確保され、安全に利用することができる
 - 医薬品等に適正な表示がなされている
 - 覚せい剤等の違法な薬物に関する正しい知識が得られる
 - 毒物劇物を安全に使用することができる

- 食品衛生監視(夏季・年末一斉監視)
- 食品衛生月間街頭啓発、フードスタンプ検査
- 食品製造施設へのHACCP導入推進
- 食品収去検査
- フグ取扱関係事務
- 塩干水産物等佐伯市特産品の安全確保事業
- あらうんジャーによる正しい手洗い出前講座
- 消毒インストラクター養成
- 食品衛生講習会
- 薬物推進事業
- 薬と健康の週間啓発事業
- 薬局等への薬事監視指導
- 未承認無許可医薬品の監視取締り
- 薬物乱用防止「ダメ・セッター普及運動」
- 薬物乱用防止教室
- 不正大麻・けしし撲滅事業
- 毒物劇物業者への監視指導
- 農薬危害防止
- 毒物劇物危機管理協力連絡会南部ブロック会議

Ⅱ 管内の概況

1 概 況



当保健所の管轄する佐伯市は平成17年3月3日に1市5町3村が合併し、総面積903.54km²、人口総数73,286人（県統計調査課「大分県の人口推計」H26.10.1現在）である。

当地域は、大分県の南部に位置し、比較的温暖多雨の気候で、東南部はリアス式海岸で日豊海岸国定公園に指定され景観に恵まれており、西部は祖母傾山系に属する山岳地帯である。

耕地面積は、総面積の3.8%に過ぎず営農規模は極めて零細で兼業農家が殆どであり、林業、水産業に依存するとともに以前から出稼ぎ労働者が多かった。

内陸部では稲作を中心に、野菜・花きの施設栽培が行われている。

海岸部では恵まれた良港と水産資源のもと、まき網・小型底びき網等の漁船漁業、ブリを主体とした魚類養殖や真珠養殖等の海面養殖、「丸干し」「ちりめん」等の水産加工品の生産がさかんに営まれている。

また、高度成長期には若年労働者を中心に人口流出が続き、海岸部では特に男性の土木関係就労者が多かったため、じん肺患者、振動病患者の多い地域となっている。

2 人口動態

平成26年10月1日現在の管内の人口は73,286人と前年より956人減少しており、この傾向は昭和55年から続いている(表2-1)。

総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は、35.9%で、県平均を大きく上回っている(表2-2)。

また、平成25年の管内の死亡者数は1,032人で前年より91人減少している。これを死因別にみると、三大生活習慣病といわれる悪性新生物、心疾患、脳血管疾患による死亡が半数を占めている。(表2-3・4)

(1)人口・世帯数の推移

表2-1 人口・世帯数・面積

(各年10月1日現在)

	年	世帯数	1世帯当たり	総人口			面積 (km ²)	人口密度 人口/km ²
				総数	男	女		
大分県	S50	344,129	3.46	1,190,307	561,715	628,592	6,339.75	187.75
	S60	395,855	3.16	1,250,214	593,014	657,200		197.20
	H7	435,040	2.83	1,231,306	581,909	649,397		194.22
	H17	469,017	2.58	1,209,587	569,755	639,832		190.79
	H24	486,713	2.44	1,185,830	560,384	625,446		187.05
	H25	490,888	2.40	1,178,775	557,437	621,338		185.93
	H26	495,644	2.36	1,171,702	554,187	617,515		184.82
佐伯市	S50	27,520	3.50	96,317	44,828	51,489	903.54	106.60
	S60	29,764	3.22	95,907	44,688	51,219		106.15
	H7	30,493	2.89	88,116	40,674	47,442		97.52
	H17	30,678	2.63	80,804	37,076	43,728		89.43
	H24	30,572	2.46	75,274	34,715	40,559		83.31
	H25	30,613	2.43	74,242	34,184	40,058		82.17
	H26	30,546	2.40	73,286	33,790	39,496		81.11

注：管内人口の総数には、年齢不詳の者を含む。

資料：人口・世帯数は、県統計調査課「大分県の人口推計」

面積は、国土地理院「平成24年全国都道府県市区町村別面積調」

表2-2 年齢別人口・割合

(各年10月1日現在)

	年	年齢区分					
		年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		0才~14才	構成比%	15才~64才	構成比%	65才以上	構成比%
大分県	S50	274,612	23.1	789,878	66.4	125,824	10.5
	S60	265,304	21.2	817,275	65.4	163,139	13.0
	H7	200,909	16.3	801,035	65.1	229,076	18.6
	H17	165,659	13.7	752,002	62.1	292,502	24.1
	H24	153,317	12.9	700,363	59.0	325,323	27.4
	H25	151,543	12.9	685,516	58.2	334,889	28.4
	H26	150,143	12.8	669,952	57.2	344,780	29.4
佐伯市	S50	22,547	23.4	62,792	65.2	10,955	11.4
	S60	20,003	20.9	62,270	64.9	13,634	14.2
	H7	13,944	15.9	55,627	63.2	18,545	21.1
	H17	10,293	12.7	47,294	58.5	23,175	28.7
	H24	8,710	11.5	41,107	54.6	25,173	33.4
	H25	8,434	11.4	39,746	53.5	25,778	34.7
	H26	8,348	11.4	38,364	52.4	26,290	35.9

注：年齢不詳分を除く

資料：県統計調査課「大分県の人口推計」

表 2-3 人口動態総覧 (実数・率)

年次	日本人人口 (※1)	出生			死亡		自然増加		乳児死亡		新生児死亡		
		実数	率 [人口千対]	2,500g 未満 [再掲]	実数	率 [人口千対]	実数	率 [人口千対]	実数	率 [出生千対]	実数	率 [出生千対]	
全国	20	125,947,000	1,091,156	8.7	1,142,407	9.1	△ 51,251	△ 0.4	2,798	2.6	1,331	1.2	
	21	125,820,000	1,070,035	8.5	1,141,865	9.1	△ 71,830	△ 0.6	2,556	2.4	1,254	1.2	
	22	126,381,000	1,071,304	8.5	1,197,012	9.5	△ 125,708	△ 1.0	2,450	2.3	1,167	1.1	
	23	126,180,000	1,050,806	8.3	1,253,066	9.9	△ 202,260	△ 1.6	2,463	2.3	1,147	1.1	
	24	125,957,000	1,037,231	8.2	1,256,359	10.0	△ 219,128	△ 1.7	2,299	2.2	1,065	1.0	
	25	125,759,000	1,031,000	8.2	1,275,000	10.1	△ 244,000	△ 1.9	2,185	2.1	1,026	1.0	
大分県	20	1,192,000	10,306	8.6	921	12,641	10.6	△ 2,335	△ 2.0	26	2.5	16	1.6
	21	1,187,000	9,961	8.4	936	12,528	10.6	△ 2,567	△ 2.2	27	2.7	15	1.5
	22	1,187,599	10,072	8.5	958	12,988	10.9	△ 2,916	△ 2.5	27	2.7	13	1.3
	23	1,183,000	9,988	8.4	885	13,806	11.7	△ 3,818	△ 3.2	32	3.2	16	1.6
	24	1,178,000	9,650	8.2	880	14,050	11.9	△ 4,400	△ 3.7	24	2.5	9	0.9
	25	1,170,000	9,605	8.2	892	13,874	11.9	△ 4,269	△ 3.6	18	1.9	10	1.0
佐伯市	20	77,720	526	6.8	49	1,031	13.3	△ 505	△ 6.5	0	0.0	0	0.0
	21	77,089	517	6.7	46	924	12.0	△ 407	△ 5.3	2	3.9	2	3.9
	22	76,735	513	6.7	37	1,013	13.2	△ 500	△ 6.5	0	0.0	0	0.0
	23	75,822	517	6.8	42	1,087	14.3	△ 570	△ 7.5	1	1.9	1	1.9
	24	75,822	546	7.2	44	1,123	14.8	△ 577	△ 7.6	0	0.0	0	0.0
	25	75,058	490	6.5	39	1,032	13.7	△ 542	△ 7.2	0	0.0	0	0.0

年次	死産				周産期死亡				婚姻		離婚		合計 特殊 出生率	
	実数	率 [出産千対]	自然死産	人工死産	実数	率 [出産千対]	22週以降 の死産	早期新生 児死亡	実数	率 [人口千対]	実数	率 [人口千対]		
全国	20	28,177	25.2	12,625	15,552	4,720	4.3	3,751	969	726,106	5.8	251,136	1.99	1.37
	21	27,005	24.6	12,214	14,791	4,519	4.2	3,645	874	707,734	5.6	253,353	2.01	1.37
	22	26,560	24.2	12,245	14,315	4,515	4.2	3,637	878	700,214	5.5	251,378	1.99	1.39
	23	25,751	23.9	11,940	13,811	4,315	4.1	3491	824	661,895	5.2	235,719	1.87	1.39
	24	24,800	23.4	11,448	13,352	4,133	4.0	3343	790	668,869	5.3	235,406	1.87	1.41
	25	24,000	22.7	10,938	13,164	3,862	3.7	3110	752	663,000	5.3	231,000	1.84	1.43
大分県	20	306	28.8	127	179	52	5.0	38	14	6,197	5.2	2,382	2.00	1.53
	21	282	27.5	112	170	46	4.6	34	12	6,136	5.2	2,378	2.00	1.50
	22	312	30.0	128	184	52	5.1	42	10	6,076	5.1	2,314	1.95	1.56
	23	301	29.3	111	190	43	4.3	32	11	5,667	4.8	2,110	1.78	1.55
	24	269	27.1	96	173	36	3.7	31	5	5,652	4.8	2,187	1.86	1.53
	25	274	27.7	106	168	42	4.4	35	7	5,724	4.9	2,179	1.86	1.56
佐伯市	20	12	22.3	5	7	1	1.9	1	0	303	3.9	118	1.52	1.57
	21	7	13.4	2	5	2	3.9	0	2	318	4.1	151	1.96	1.59
	22	10	19.1	4	6	1	1.9	1	0	331	4.3	148	1.93	1.62
	23	13	24.5	4	9	1	1.9	0	1	338	4.3	141	1.87	1.65
	24	17	30.2	4	13	4	7.3	4	0	310	4.1	136	1.79	1.60
	25	10	20.0	4	6	2	4.1	2	0	340	4.5	128	1.71	1.65

注 1：合計特殊出生率とは15～49歳の1人の女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの平均子ども数に相当する。人口を維持するには2.08以上必要とされている。

注 2：合計特殊出生率の管内及び各市町村の数値は、その年次を含む前5年間の平均値である。

資料：厚生労働省「人口動態統計」、大分県及び佐伯市の合計特殊出生率は、県福祉保健企画課調べ

(2) 主要死因別死亡数・死亡率(人口10万対)

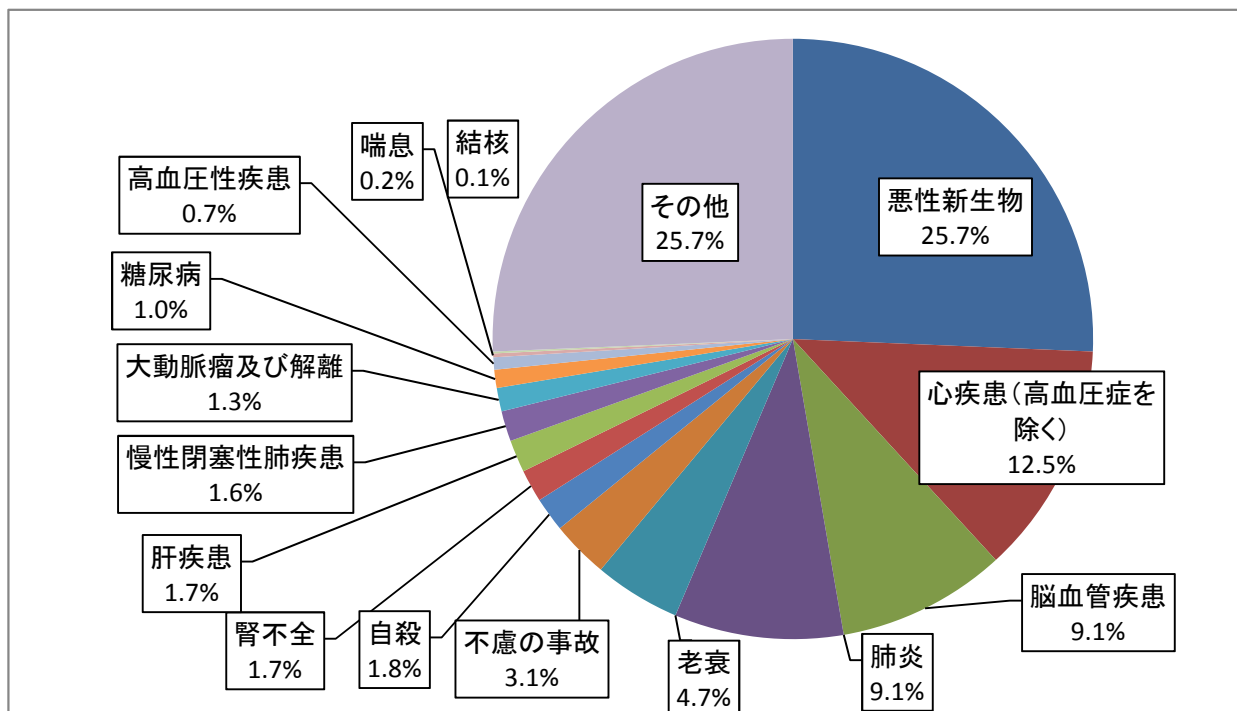
表2-4

項 目	年 度	全 国	大分県	佐 伯 市	
		率	率	実 数	率
総 数	H23	993.1	1167.0	1087	1429.5
	H24	997.5	1192.7	1123	1491.9
	H25	1009.1	1185.8	1032	1394.1
結 核	H23	1.7	1.8	4	5.3
	H24	1.7	1.4	2	2.7
	H25	1.7	2.2	1	1.4
悪 性 新 生 物	H23	283.2	316.9	272	357.7
	H24	286.6	318.9	288	382.6
	H25	290.3	307.0	265	358.0
糖 尿 病	H23	11.6	11.9	9	11.8
	H24	11.5	12.8	10	13.3
	H25	11.0	11.1	10	13.5
高 血 圧 性 疾 患	H23	5.6	8.6	8	10.5
	H24	5.8	9.0	6	8.0
	H25	5.7	8.3	7	9.5
心疾患(高血圧症を除く)	H23	154.5	177.5	140	184.1
	H24	157.9	184.7	172	228.5
	H25	156.5	174.0	129	174.3
脳 血 管 疾 患	H23	98.2	117.7	126	165.7
	H24	96.5	119.6	112	148.8
	H25	94.1	116.3	94	127.0
大 動 脈 瘤 及 び 解 離	H23	12.4	13.4	23	30.2
	H24	12.6	13.2	5	6.6
	H25	12.8	12.7	13	17.6
肺 炎	H23	98.9	121.1	94	123.6
	H24	98.4	123.0	107	142.1
	H25	97.8	125.4	94	127.0
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患	H23	13.2	17.8	14	18.4
	H24	13.0	21.2	24	31.9
	H25	13.1	18.5	17	23.0
喘 息	H23	1.6	1.9	0	0.0
	H24	1.5	2.2	1	1.3
	H25	1.4	1.5	2	2.7
肝 疾 患	H23	13.0	12.5	11	14.5
	H24	12.7	13.8	16	21.3
	H25	12.7	13.2	18	24.3
腎 不 全	H23	19.4	25.6	28	36.8
	H24	19.9	26.6	35	46.5
	H25	20.0	22.4	18	24.3
老 衰	H23	41.4	48.2	39	51.3
	H24	48.2	59.8	48	63.8
	H25	55.5	61.2	48	64.8
不 慮 の 事 故	H23	47.1	42.6	33	43.4
	H24	32.6	37.6	36	47.8
	H25	31.5	44.4	32	43.2
自 殺	H23	22.9	21.2	26	34.2
	H24	21.0	22.2	22	29.2
	H25	20.7	21.8	19	25.7
そ の 他	H23	168.4	228.3	260	341.9
	H24	178.3	227.4	239	317.5
	H25	184.3	245.8	265	356.9

資料：厚生労働省「人口動態統計」

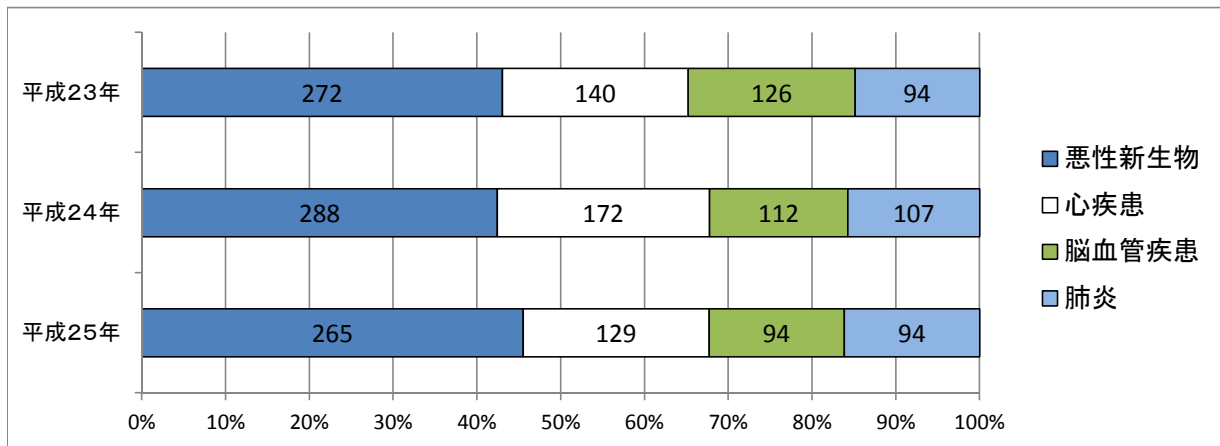
平成24年人口動態調査都道府県標準結果(大分県福祉保健部)

(3)管内における主要死因別死亡割合（平成25年）



* 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患による死亡数:488人

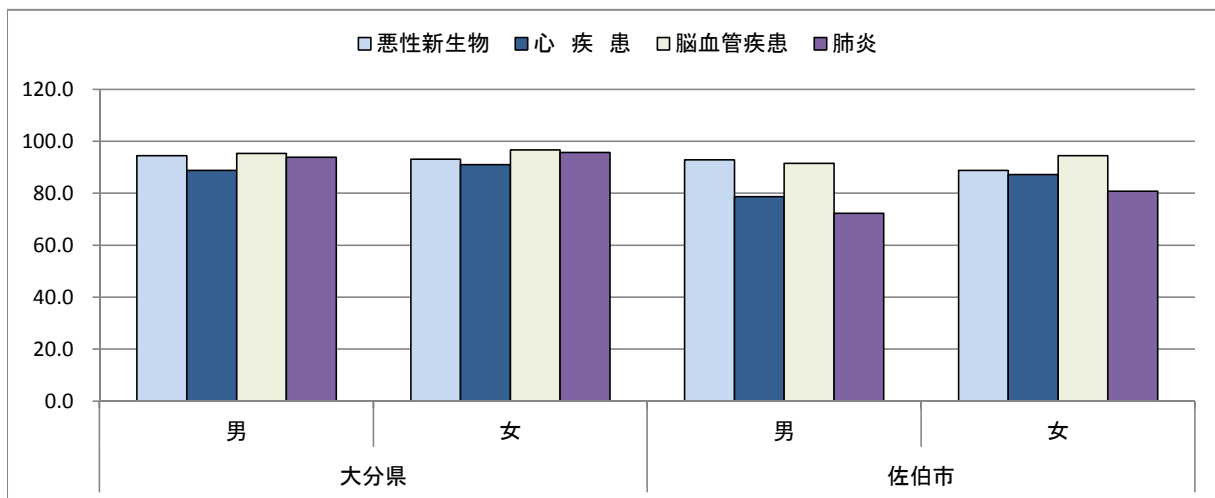
(4) 主要死因別割合



(5) 主要死因標準化死亡比 (SMR)

(平成21年～平25年の平均値)

		全死因	40～64歳	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎
大分県	男	95.5 **	92.6 **	94.5 **	88.9 **	95.4 **	93.9 **
	女	94.5 **	83.4 **	93.2 **	91.1 **	96.7 *	95.8 *
佐伯市	男	98.7	96.1	92.9 *	78.8 **	91.6	72.4 **
	女	91.1 **	76.4 **	88.9 **	87.3 **	94.5	80.8 **



注：1) 標準化死亡比 (SMR)は、各地域の年齢階級別人口と全国の年齢階級別死亡率により算出された各地域の期待死亡数と、その地域の実際の死亡数との比を示す。
主に小地域の比較に用いられ、全国を100(基準値)として、100より大きいということは、その地域の死亡状況は全国より悪く、100より小さいということは、全国より良いということを示す。

: 2) *は5%の危険率で有意差がある。**は1%の危険率で有意差がある。

資料：県福祉保健企画課調べ

Ⅲ 保健・衛生部門

1 地域保健対策強化の概要

(1) 企画調整機能

ア 企画調整会議

「地域保健法」及び「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」に基づく保健所の機能強化を目指して、各課を横断した総合的な企画、調整を図ることを目的に設置しており、保健所における機能強化の推進母体として位置づけて、機能強化の方向性や具体的な事業の目的と内容を共通認識、共通理解する場であり、地域課題の明確化や解決方法の決定、保健所行動計画等の策定、検証を行った。

会議の名称		構成員	協議内容
南部保健所企画調整会議	課長会議	所長、次長兼健康安全企画課長、 参事兼衛生課長、参事兼地域保健課長、 企画福祉班総括、企画調整担当	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所行動計画の策定と検証 ・健康危機管理に関する体制整備と対策について ・所内横断的に取り組む事業に関する計画立案及び評価 ・各課の事業の共有等
	企画会議	所長、次長兼健康安全企画課長、 参事兼衛生課長、参事兼地域保健課長、 検査課長、食品衛生・薬事班総括、 生活衛生・環境班総括、健康増進班総括、 疾病対策班総括、食育栄養指導班主幹、 企画福祉班総括、企画調整担当	

イ 南部保健所運営協議会

開催日	委員所属・職名	内容
平成26年7月3日	市長、市医師会長、市歯科医師会長、市薬剤師会長、市学校保健会副会長、市食生活改善推進協議会長、市公立保育協議会保育士会長、県看護協会佐伯地区理事、県栄養士会南部支部佐伯地区代表、市主任児童委員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・南部保健所の概要について ・平成25年度事業実施状況及び平成26年度主要事業の概要について

ウ 南部圏域連携会議

開催日	委員所属・職名	内容
平成27年3月3日	市医師会長、市医師会担当理事、市歯科医師会長、市薬剤師会長、県看護協会佐伯地区理事、市自治委員会連合会長、市PTA連合会母親部代表、市福祉保健部長、市消防長、南部保健所長	<ul style="list-style-type: none"> ・南部医療圏（5疾病5事業及び在宅医療）の現状と課題 ・地域医療構想（ビジョン）の策定について

エ 佐伯地域保健委員会(平成24年度から佐伯市に事務局を移管)

名称	開催日	委員所属・職名	内容
通常会調査研究報告会	平成26年5月30日	市長、市教育長、市福祉保健部長、南部保健所長、市医師会（会長、理事）、市歯科医師会長、市薬剤師会長、市自治委員会連合会長、地域保健委員会救急医療対策小委員会委員長、母子保健対策小委員会委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度事業報告・収支決算 ・今年度事業計画・収支予算 ・調査研究報告(テーマ：佐伯圏内の救急医療対策について)
救急医療対策小委員会	平成26年12月18日	市福祉保健部長、市消防長、南部保健所長、市医師会（理事、小児科医、救急告示病院、輪番医）、市薬剤師会（副会長）、市自治会連合会長、市PTA連合会母親部会長、県看護協会佐伯地区代表	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療対策を考える講演会
母子保健対策小委員会	平成27年3月4日	市医師会理事(小児科医・産婦人科医)、県助産師会佐伯地区代表、市教育委員会学校教育課、県南地区公立保育所長会長、市幼稚園部会代表、市福祉保健部長、市こども福祉課、市健康増進課、南部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産についての課題と対応策 ・子育て支援事業についての報告 ・「赤ちゃんこんにちは」について ・平成27年度役員改選について

名称	開催日	委員所属・職名	内容
歯科保健対策小委員会	平成27年 2月3日	市歯科医師会(会長・専務理事・理事)、歯科衛生士会代表、市教育長、市学校保健会副会長、県南地区公立保育所長会長、県南地区公立保育所主任保育士会代表、市老人クラブ連合会長、県栄養士会南部支部代表、市福祉保健部長、市健康増進課、市地域包括支援センター、南部保健所	①管内各関係機関・団体の取り組みと課題、対応策について
生活習慣病予防対策小委員会	平成27年 3月9日	市医師会(会長、内科医)、市学校保健会副会長、市運動普及推進協議会長、市食生活改善推進協議会長、市商工会議所女性部会代表、市学校教育課、市福祉保健部長、市保険課、市地域包括支援センター、市健康増進課、南部保健所	・佐伯市データヘルス計画案について ・住民健診事後指導について ・健康づくり講演会について ・各関係機関・団体の取り組みの現状について
在宅医療対策小委員会	①平成26年 7月28日 ②平成26年 11月10日 ③平成26年 12月11日 ④平成27年 2月16日 ⑤平成27年 3月16日 ⑥平成27年 3月21日 ⑦平成27年 3月27日	市医師会(会長、理事)、市歯科医師会(会長、理事)、市薬剤師会(会長、副会長)、佐伯地域訪問看護ステーション代表、佐伯地域リハビリテーション広域支援センター代表、介護支援専門員連絡協議会代表、介護ケア代表、県ソーシャルワーカー協会佐伯地区代表、市自治委員会連合会代表、県栄養士会南部支部代表、市福祉保健部長、市高齢者福祉課、市保険課、市健康増進課、市地域包括支援センター、南部保健所	①平成25年度経過報告、平成26年度年間事業計画案について ②平成26年度経過報告、今後の事業方針及び事業計画案について ③専門職研修会(基調講演) ④専門職研修会(グループディスカッション1) ⑤専門職研修会(グループディスカッション2) ⑥在宅医療・介護を考える講演会(基調講演) ⑦平成26年度事業報告、課題の抽出と来年度の取り組み方針について

(2) 健康危機管理

地域における健康危機管理事案発生を未然に防止し、発生時には迅速かつ適切な対応を行うための健康危機管理体制の整備強化を図っている。

ア 健康危機管理連絡会議

開催日	出席者	内容
平成26年 5月19日	医師会(会長、理事、事務長)、薬剤師会、医療機関(南海病院、長門記念病院、御手洗病院、西田病院) 消防署、佐伯市(防災危機管理課、健康増進課)、教育委員会、南部振興局、警察署、教育事務所	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機管理体制の確認 佐伯市地域防災計画について意見交換 自然災害への体制整備について意見交換

イ 健康危機管理シミュレーション

自然災害発生時の保健所機能の維持等を目的に地震・津波避難訓練及び広域災害救急医療情報システム(EMIS)入力訓練を実施した。

また、南部振興局及び豊後大野家畜保健衛生所と協働で、鳥インフルエンザの発生に備えた防疫対策検討会を行ったほか、エボラ出血熱感染症の国内発生に備えた患者移送訓練、防護服着脱訓練等を実施した。

①自然災害対応訓練

実施日	参加機関	内容
平成26年 8月26日 ～ 8月29日	市医師会、南海医療センター、西田病院、御手洗病院、長門記念病院、佐伯中央病院、曾根病院、渡町台外科病院、佐伯保養院、南部保健所	広域災害医療情報システム(EMIS)入力訓練を広域医療搬送訓練に併せて実施
平成26年 9月30日 10月1日	南部保健所	南部保健所南海トラフ地震対策計画の策定、届出に伴い、大規模地震・大津波の発生を想定した職員及び来庁者の避難訓練を実施

②南部地区防疫対策検討会

実施日	参加機関	内容
平成26年 11月20日	南部振興局、豊後大野家畜保健衛生所、佐伯土木事務所、南部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県鳥防疫演習実施結果報告 ・管内養鶏場・発生時の各班対応確認

③健康危機管理関連演習

実施日	参加機関	内容
平成26年 4月16日 4月17日	南部保健所	・防護服の着脱説明及び演習
平成26年 11月18日 11月19日	南部保健所	・SARS車による感染症患者搬送訓練
平成27年 3月19日 3月20日	南部保健所	・エボラ出血熱防対応防護服着脱訓練

ウ 健康危機管理情報の発信

内容	ホームページ	E-メール	i FAX
対象者	一般	165箇所	160箇所
発信回数	毎週更新	2回発信	0回発信
発信内容	感染症の発生状況 ※別途SFTS(1回)	ノロウイルス (感染性胃腸炎) インフルエンザ	

エ 職員研修

火災等を想定した避難・消火訓練、AED取扱講習を実施した。

(3) 人材育成

ア 保健所職員の資質向上

保健所業務を理解し、個の仕事から課及び保健所全体の仕事を考える機会とするとともに、研修企画・運営・プレゼンテーション能力を向上させることを目的に、職員会議等で各担当による話題提供を実施した。

月	テーマ	月	テーマ
4	国民生活基礎調査について	9	原爆被爆者支援について
5	薬物乱用防止について	10	食品衛生監視に係る調査研究結果について
6	不妊治療について	11	エボラ出血熱患者搬送について
7	動物愛護管理法の改正について	1	佐伯地域における看護職連携の取組について
8	難病対策について	2	精神保健のお話

イ 医師関連研修(臨床医師研修、医学部地域医療実習)

臨床医師研修は、26年度の実施はなかった。

大分大学医学部医学科6年時の「地域医療実習」学外実習として、10～12月にかけて5グループ、計9名に研修を実施した。

ウ 看護学生実習生指導

看護学生の臨地学習として、公衆衛生看護活動の実施と必要な技術、看護専門職の役割について理解を深めるよう指導した。

機関名	学年	実習区分	人員	期間
大分県立看護科学大学	4年次生	地域看護学実習	4人	平成26年5月12日～5月16日
	4年次生	地域看護学実習	4人	平成26年6月2日～6月6日
	4年次生	総合看護学実習	1人	平成26年6月23日～7月11日
大分大学医学部看護学科	4年次生	地域看護学実習	4人	平成26年6月9日～6月13日
	3年次生	地域看護学実習	4人	平成27年1月13日～15日、1月19日

エ 管内保健従事者研究会

管内の行政保健師・栄養士、事業所保健師を対象に、保健・医療・福祉のあらゆる動向をふまえた情報の共有、また、保健従事者の資質向上を図ることを目的に開催した。

開催日 開催回数	実人員	延べ 参加人数	内容	備考
毎月 第4火曜日 12回	44人	254人	・年間テーマ：「個別活動から地域課題への視点及び活動の展開」 ・事例検討、事業の企画立案と評価についてのグループワーク、慢性腎臓病（CKD）予防に関する講話 等	毎月、各機関の業務や取り組みについて共有を図るため、話題提供を行った。

オ 出前講座実施状況

テーマ	回数	対応課	対象
薬	14	衛生課	直川小学校、米水津中学校、本匠中学校、宇目緑豊中学校、東雲中学校、鶴谷中学校、直川中学校、城南中学校、昭和中学校、佐伯豊南高校、佐伯鶴城高校
食品衛生 食中毒予防	15	衛生課	さくら運輸、佐伯長寿苑、トキハイндаストリー、さいきグリーンツーリズム研究会、マリンカルチャーセンター、やまろ渡邊、道の駅やよい、西日本畜産、さいき殿伝登録者、蒲江インターパーク
感染症 消毒	11	衛生課 地域保健課	佐伯保育園、みなと保育園、大分県なおみ園、鶴見の太陽、やよい保育園、直川苑、里親サロン、グループホームやすらぎの家
手洗い	7	手洗い戦隊 あらうンジャー	佐伯保育園、吹・松浦保育園、蒲江南部保育園、みなと保育園、みなみ保育園、西浦保育所、さつき園小島
その他	5	健康安全企画課 衛生課 地域保健課	あまべ商工会、日本文理大附属高校、曾根病院 佐伯商工会議所

2 地域医療

管内の医療施設は、平成27年3月31日現在、病院8施設1,250床、一般診療所60施設（うち休止1施設）155床、歯科診療所32施設3床で、地域的には旧佐伯市内に集中している。人口10万人対で全国と対比すると、病院数は、県平均を下回っているが、全国平均を上回っている。一般診療所数は、県平均・全国平均を上回っている。歯科診療所は県平均・全国平均を下回っている。病床数では、病院病床数は、県平均を下回っているが、全国平均を上回っている（平成25年10月1日現在）。大分県医療計画（平成25年3月）による南部医療圏における病院の一般病床及び療養病床（診療所の療養型病床群に係る病床を含む）の基準病床数は、564床である。

(1) 医療施設等の状況

(単位：か所、床)

(平成26年度末現在)

		病 院							診 療 所			歯 科 診 療 所	歯 科 技 工 所	助 産 所
		施設 数	病 床 数						施設 数	病 床 数				
			総数	一般	療養	感染症	精神	結核		一般	療養			
人口 10 万 対	全 国	6.7	1,237.7	704.4	257.9	1.4	268.4	5.7	78.5	98.5	10.4	53.7		
	大分県	13.4	1,697.3	1,001.6	245.1	3.4	443.0	4.2	82.3	357.4	33.6	46.1		
	佐伯市	10.6	1,662.1	1,105.0	312.5	5.3	239.3	-	79.8	206.1	-	42.6	19.9	5.3
	佐伯市	8	1,250	831	235	4	180	-	60	155	-	32	15	4
	平成25年度末	8	1,250	826	240	4	180	-	61	157	-	32	14	4

注：1) 「人口10万対」の欄の数値は、平成25年10月1日現在。

資料：1) 病院・診療所・歯科診療所（人口10万対の全国、大分県）は、厚生労働省「医療施設動態調査」

2) 管内の基準人口は、大分県「毎月流動人口調査」

3) 管内の病院、診療所及び歯科診療所並びに助産所は南部保健所に届出・登録済の数

(2) 医療施設数（病床数別）

病院

(平成26年度末現在)

病床数	総数	20床～ 49床	50床～ 99床	100 床～ 149 床	150 床～ 199 床	200 床～ 249 床	250 床以上
病院数	8	1	2	1	1	1	2

資料：南部保健所に届出・登録済みのもの

一般診療所

(平成26年度末現在)

病床数	総数	無床	1床～ 4床	5床～ 9床	10床 ～ 14床	15床 ～ 19床
診療所数	60	48	3	3	-	7

資料：南部保健所に届出・登録済みのもの

(3) 医療施設の動態 (平成26年度)

区分	南部保健所	
	新規開設	廃止
病院	-	-
診療所	1	2
歯科診療所	-	-

資料：南部保健所に届出・登録済みのもの

(4) 特定の人を対象とした医療施設

(平成27年3月31日現在)

医療施設名	養護老人ホームながと診療所	大分県なおみ園医務室
	特別養護老人ホーム長良苑医務室	特別養護老人ホーム直川苑医務室
	特別養護老人ホーム花みずき医務室	特別養護老人ホームはまゆう診療所
	障害者支援施設清流の郷医務室	介護老人保健施設鶴見の太陽医務室
	彦岳の太陽診療所	特別養護老人ホームはたのうら医務室
	特別養護老人ホーム豊寿苑診療所	

資料：市町村別診療所等数調（特定施設）

(5) 医療関係従事者の状況

(単位：人)

(平成24年12月31日現在)

		医 師	歯 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	歯 科 衛 生 士	歯 科 技 工 士
人口 10 万 対	全 国	237.8	80.4	219.6	37.1	25.0	796.6	280.6	84.8	27.1
	大分県	267.0	65.5	180.3	54.2	26.4	1073.4	527.6	118.3	52.2
	佐伯市	195.8	57.3	181.1	62.6	14.6	958.8	551.3	99.9	36.0
佐伯市		147	43	136	47	11	720	414	75	27
(平成22年末現在)		140	46	126	51	10	710	419	71	30

注：1) 「人口10万対」の欄の医師・歯科医師・薬剤師の全国及び大分県の数値は、平成24年12月31日現在

2) 「人口10万対」の欄の管内を算出する際の基準人口は、平成24年12月31日現在毎月流動人口

資料：1) 医師、歯科医師、薬剤師は、厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(平成24年12月31日現在)

2) 上記1)以外の職種の全国及び大分県の数値は「衛生行政報告例」(平成24年12月31日現在)

(6) 医療関係施設への立入検査実施状況

(単位：か所)

(平成26年度)

	対象施設数	実施施設数	実施率(%)	指摘事項・指導事項等
総 数	104	30	28.8	
病 院	8	8	100.0	法定医師数の不足 等
一 般 診 療 所	60	15	25.0	院内感染対策の充実 等
歯 科 診 療 所	32	7	21.9	院内感染対策の充実 等
助 産 所	4	-	0.0	

注：1) 対象施設数は平成27年3月31日現在

2) 病院は毎年度、一般診療所・歯科診療所、助産所は5年ごとに巡回

(7) へき地医療の状況 (平成26年10月末現在)

無医地区一覧表

市町村名	地区名	人口
佐伯市	大越	56
	木浦	83

無医地区に準じる地区

市町村名	地区名	人口
佐伯市	深島	30

無歯科医地区

市町村名	地区名	人口
佐伯市	大越	56
	大島	151
	木浦	83

無歯科医地区に準じる地区

市町村名	地区名	人口
佐伯市	日向泊	41

資料：平成26年度 無医地区等調査・無歯科医地区等調査 (厚生労働省)

3 母子保健

母子保健は、住民の健康の維持向上の基礎となるもので、青年期(婚前期)から妊娠中、産後にかけての母性の保護や、乳幼児の心身の適切な発育発達のため、医療機関等と連携した管理が必要である。

当保健所においては、一次サービスを提供する佐伯市との連携を密にし、二次的専門的事業を行い、発育発達に課題をもつ児や、長期にわたり発育発達の観察を要する長期療養児に対しての支援に取り組んでいる。

また、佐伯市との連携強化を図るために、平成24年度から佐伯市担当課との母子保健連絡会を定例化した。

さらに、「ヘルシースタートおおいた佐伯地域推進専門部会」の中で関係機関とともに今後の地域母子保健対策について検討するなど、子どもを安心して産み育てられる地域づくりに努めている。

(1) 妊娠届出状況 (佐伯市)

(単位：人)

年度	総数	11週以下	12～19週	20～27週	28週以上	分娩後	不詳
平成24年度	481	414	58	3	5	1	—
平成25年度	540	477	49	6	4	2	2
平成26年度	466	398	60	1	3	4	0

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(2) 乳児健康診査 (佐伯市)

ア 乳児健康診査実施状況

(単位：回、人、%)

年度	実施回数	対象者数	受診者数 ※	受診率	受診者内訳					
					異常認めず		異常あり			
					異常認めず	要指導	要観察	要精密	要医療	治療中
平成24年度	77	1,109	970	87.5	595	128	114	5	13	115
平成25年度	78	963	857	89.0	502	123	74	4	8	146
平成26年度	36	535	507	94.8	305	94	31	—	4	73

資料：母子保健情報システム

※佐伯市が実施した集団健診の受診者

イ 乳児健康診査異常あり内訳 (延べ数)

(平成26年度) (単位：人)

分類 市町村名	総数	身体的発育異常	精神発達障がい	けいれん	運動発達異常	斜視	聴覚異常	筋緊張	その他の器質性異常	血液疾患	湿疹	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	股関節	斜頸	循環器疾患	呼吸器疾患	消化器疾患	停留嚥丸	その他泌尿器疾患	先天性代謝異常	先天性形態異常	染色体異常	育児環境上の問題	その他

資料：母子保健情報システム

(3) 1歳6か月児健康診査 (佐伯市)

ア 1歳6か月児健康診査実施状況

(単位：人、%)

	対象者数	受診者数※	受診率	受診者内訳					
				異常認めず		異常あり			
				異常認めず	要指導	要観察	要精密	要医療	治療中
平成24年度	518	492	95.0	246	55	150	5	—	36
平成25年度	575	552	96.0	297	48	164	5	3	35
平成26年度	473	455	96.2	243	40	115	9	—	48

資料：母子保健情報システム

※佐伯市が実施した集団健診の受診者

イ 1歳6か月児健康診査異常あり内訳 (延べ数)

(平成26年度) (単位：人)

分類	総数	低身長	発育の他の異身体的	精神発達遅滞	言語発達遅滞	四肢骨格系異常	熱性けいれん	運動機能異常	視覚異常	聴覚異常	感覚の他の器異常神経	血液疾患	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	循環器疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	停留嚥丸	その他泌尿器疾患	先天異常	生活習慣上の問題	情緒行動上の問題	育児環境上の問題	その他	
市町村名	佐伯市	277	6	11	3	106	5	—	10	4	4	3	1	9	16	3	5	1	—	5	2	21	20	25	17

資料：母子保健情報システム

(4) 3歳児健康診査 (佐伯市)

ア 3歳児健康診査実施状況

(単位：人、%)

	対象者数	受診者数※	受診率	受診者内訳					
				異常認めず		異常あり			
				異常認めず	要指導	要観察	要精密	要医療	治療中
平成24年度	546	526	96.3	249	26	143	63	2	43
平成25年度	501	490	97.8	252	33	119	56	—	30
平成26年度	517	495	95.7	223	42	113	75	3	39

資料：母子保健情報システム

※佐伯市が実施した集団健診の受診者

イ 3歳児健康診査異常あり内訳 (延べ数)

(平成26年度) (単位：人)

分類	総数	低身長	発育の他の異身体的	精神発達遅滞	言語発達遅滞	四肢骨格系異常	熱性けいれん	運動機能異常	視覚異常	聴覚異常	感覚の他の器異常神経	血液疾患	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	循環器疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	停留嚥丸	検尿異常	その他泌尿器疾患	先天異常	生活習慣上の問題	情緒行動上の問題	育児環境上の問題	その他	
市町村名	佐伯市	371	9	5	16	36	4	—	1	82	10	2	1	5	4	1	6	—	3	77	6	5	17	49	27	5

資料：母子保健情報システム

(5) 母子保健に関する教室の開催状況 (佐伯市)

(単位：回、人)

	思春期・未婚女性学級		婚前・新婚学級		両(母)親学級		育児学級		その他	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
平成24年度	2	48	2	24	—	—	18	265	81	1,284
平成25年度	2	87	—	—	—	—	25	431	36	724
平成26年度	3	93	—	—	—	—	26	482	5	186

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(6) 母子保健指導状況

(単位：人)

		訪問指導														電話相談
		妊婦		産婦		新生児		未熟児		乳児		幼児		その他		
		実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	
平成24年度	佐伯市	2	2	374	444	70	73	4	6	283	294	52	95	14	25	1,354
	南部保健所	—	—	43	78	16	26	22	40	14	17	12	16	7	10	332
平成25年度	佐伯市	12	15	521	543	27	28	19	35	496	532	136	212	16	26	1,743
	南部保健所	—	—	11	19	1	1	8	8	3	10	4	8	12	22	350
平成26年度	佐伯市	5	5	500	565	19	21	26	36	478	550	111	225	14	31	1,801
	南部保健所	—	—	4	9	—	—	1	1	2	7	3	4	—	—	283

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(7) 乳幼児発達相談実施状況

ア 巡回療育相談

医師、作業療法士、言語聴覚士、保育士による巡回療育相談を行い、支援が必要な児の早期発見、早期療育等に努めている。

また、佐伯市教育委員会職員による教育相談を行い、就学についての相談に応じている。

(単位：人)

	回数	実人員	延人員
平成24年度	7	70	115
平成25年度	7	84	117
平成26年度	7	82	110

結果分類

(平成26年度) (単位：人)

	総数	異常なし	要指導	経過観察	要医療
総数	110	3	12	67	28
運動発達の問題	3	2	—	1	—
精神発達の問題	3	—	—	3	—
言語発達の問題	14	—	2	7	5
情緒・行動の問題	74	1	10	40	23
その他	16	—	—	16	—

(8) 小児慢性特定疾患治療研究事業受給件数

(単位：人)

	総 数	悪 性 新 生 物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	異 先 天 性 代 謝	疾 患 免 疫 疾 患	血 友 病 等 血 液	筋 神 疾 患 ・ 疾 患	慢 性 消 化 器
平成24年度	73	10	19	-	9	15	5	4	1	4	6	-	
平成25年度	76	12	16	-	10	17	3	5	2	6	5	-	

資料：南部保健所調べ

(9) 小児慢性特定疾病医療受給者証所持者数

(単位：人)

	総 数	悪 性 新 生 物	慢 性 腎 疾 患 群	慢 性 呼 吸 器 群	慢 性 心 疾 患 群	内 分 泌 疾 患 群	膠 原 病	糖 尿 病	代 先 天 性 代 謝 異 常 性	血 液 疾 患 群	免 疫 疾 患 群	神 経 ・ 筋 疾 患 群	慢 性 消 化 器 疾 患 群	遺 伝 子 の 変 化 に 伴 う 症 候	染 色 体 又 は	皮 膚 疾 患 群
平成26年度	59	8	12	-	7	12	3	5	1	4	2	5	-	-	-	-

資料：南部保健所調べ

(10) 育成医療給付状況

(単位：件)

	総 数	不 肢 自 由 体	障 視 が い 覚 	平 衡 機 能 障 が い	聴 覚 ・ 機 能 障 が い	音 声 言 語 機 能 障 が い	心 臓 機 能 障 が い	腎 臓 機 能 障 が い	臓 器 の 他 内 障 が い	機 能 不 全 の よ い	不 全 ウ イ 疫	ヒ ト 免 疫	小 腸 機 能 障 が い	肝 臓 機 能 障 が い
平成24年度	16	1	-	1	8	6	-	-	-	-	-	-	-	-
平成25年度	17	1	-	-	8	4	-	4	-	-	-	-	-	-
平成26年度	19	1	-	-	10	4	-	4	-	-	-	-	-	-

資料：南部保健所調べ

注：総数は延べ数

(11) 未熟児養育医療給付状況

(単位：件)

	総 数	1,000g 未 満	1,000g～ 1,500g 未 満	1,500g～ 1,800g 未 満	1,800g～ 2,000g 未 満	2,000g～ 2,300g 未 満	2,300g～ 2,500g 未 満	2,500g 以 上
平成24年度	24	4	3	3	2	2	2	8
平成25年度	26	1	7	3	3	4	3	5
平成26年度	14	2	3	2	1	1	-	5

資料：南部保健所調べ

(12) 不妊治療費等助成事業

平成15年11月から、大分県不妊治療費等助成事業が開始された。保健所は事務処理機関として助成の可否決定等を行うとともに、必要に応じて相談等を行っている。

ア 不妊治療費助成の給付状況

平成24年度	70件
平成25年度	78件
平成26年度	108件

イ 不妊専門相談センター出張相談

平成26年9月4日	1件
-----------	----

(13) 母子保健地域強化推進事業

全ての妊婦や産婦、育児中の母親が、健やかで安心した妊娠生活や子育て期間を送ることができるよう、母子健康手帳交付の時点からスタートに、各ライフステージにおいて、適切な情報収集とタイムリーな情報提供を行う。また、支援が必要な母子に対して、医療・保健・福祉・教育の連携により、適切なフォローアップと育児不安・ストレスの軽減を図り、児童虐待の発生を予防するためのシステムの構築を推進する。

ア 「ヘルシースタートおおいた」南部地域推進専門部会 (平成26年度)

開催日	参加者	検討内容及び議題
平成27年1月14日	産科医、小児科医、精神科医、歯科医、保育所、幼稚園、佐伯市こども福祉課、健康増進課保健師、児相、南部保健所職員 計21人	1 佐伯市 健康増進課からの報告 2 保健所からの報告 3 多機関連携による支援事例の紹介 4 意見交換・情報交換

イ 母子保健に関する連絡会議 (平成26年度)

開催月日	検討内容	参加者
平成26年4月14日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 2人 計4人
5月12日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討 2 市の母子保健事業について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
6月6日	1 市及び保健所の母子保健事業について 2 地域課題について	市健康増進課保健師 3人 保健所保健師 2人 計5人
6月9日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討 2 乳幼児健診の精度管理について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
7月8日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
8月11日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
8月26日	1 母子保健事業について 2 地域における課題・問題点	市健康増進課保健師 1人 県健康対策課母子保健班 3人 保健所保健師 2人 計6人
9月8日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討 2 未健診妊婦事例について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
10月20日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
11月10日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討 2 未健診妊婦の対策検討	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
12月8日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討 2 ヘルシースタートおおいた地域専門部会について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
平成27年1月19日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
2月9日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討 2 精神的問題を有する母への支援体制について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人
3月9日	1 低出生体重児、未熟児に関する情報共有、事例検討 2 未熟児のフォロー体制について	市健康増進課保健師 2人 保健所保健師 1人 計3人

(14) 長期療養児等療育相談事業

慢性疾患や障がい等により長期に療養が必要な児の自立や成長発達を促すとともに、養育者等が抱える悩みや不安を軽減する。

また、長期療養児等の支援に関わる関係者（保健・医療・福祉・教育等）との連携を強化し、地域における支援体制の充実を図る。

ア 療育相談指導事業

慢性疾患や障がい等により長期に療養が必要に関すること、養育者の悩みや不安等に関する相談に家庭訪問、面接、電話等の方法で実施した。

実施内容

(単位：人)

	総計	電話					面接					訪問				
		小児慢性特定疾病	育児不安	虐待	その他	小計	小児慢性特定疾病	育児不安	虐待	その他	小計	小児慢性特定疾病	育児不安	虐待	その他	小計
平成26年度	402	93	32	23	43	191	175	7	7	3	192	7	1	8	3	19

資料：南部保健所調べ

注：延べ人数

イ 養育者等支援事業

小児慢性特定疾病児及び、障がいを有する児と保護者を対象にした適切な療養の確保や日常生活上での悩み等の解消を図るための教室を開催した。

開催日	開催場所	講師及び助言者	内容	参加者
平成26年 8月20日	南部保健所 ダイケア室	NPO音楽療法研究会 音楽療法士（保育士） 児玉 典子氏	・リズムで遊ぼう！伸ばそう！ （集団音楽療法） ・みんなで語ろう （交流会）	小児慢性特定疾患受給者及び南部保健所管内の障がいをもつ児と親の会メンバー 12人 兄弟児7人
平成26年 10月22日		SAVA SPORT S CLUB 保育士 渡邊 亜由美氏 佐伯市教育委員会 指導主事 川野 剛氏	・親子で一緒に遊ぼう！動こう！ （集団遊び） ・みんなで語ろう （交流会） ・就学に向けた相談について	小児慢性特定疾患受給者及び南部保健所管内の障がいをもつ児と親の会メンバー 10人 兄弟児3人

ウ 支援関係者地域連携事業

児及びその養育者を支える関係者（保健・医療・福祉・教育等）との連携により、事例検討会や研修会等を実施し、地域療育の人材育成及び支援体制を促進する

長期療養児等療育支援研修会

開催日	開催場所	講師	内容	参加者
平成26年 8月26日	南部保健所 会議室	桑畑小児科医院 院長 桑畑 真人氏	長期療養児も含めた予防接 種の意義	管内保健従事者（佐伯市保 健師、医療機関所属保健 師、保育園所属保健師、保 健所保健師） 25人
平成27年 1月20日		大分こども療育センター 所長 児童精神科医 三ヶ田 智弘氏	乳幼児の発達過程の理解 と”構造化”的支援	管内保健従事者（佐伯市保 健師、医療機関所属保健 師、保育園所属保健師、保 健所保健師） 26人
平成27年 1月23日	南部振興局 大会議室	すがおこども園 園長 土谷 修氏	発達障がいのある子と家庭 への支援	佐伯市内の療育機関相談 員、保育士（認可外保育所 を含む）、幼稚園教諭、行 政（子育て支援、母子保 健）担当職員 48人

長期療養児等支援関係者地域連携ケース会議

開催日	開催場所	指導及び助言者	内容	参加者
平成27年 3月5日	佐伯市保健 福祉総合セン ター 和楽	大分大学医学部附属病院 小児科 准教授 前田 知己氏	就学に向けた療養支援につ いて	保護者、ケース支援関係機 関（医療機関、サービス等 利用計画作成機関、訪問看 護ステーション、障がい者 相談支援センター、教育機 関、行政関係（母子保健担 当者） 11人

4 健康増進

21世紀における健康づくり運動として展開されている「健康日本21」を受け、大分県でも「生涯健康県おおいた21」の推進を図っている。県民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、個人の健康づくりを社会全体で支援することで、生涯を通じて健康で活力ある人生を送ることができる社会の実現をめざしている。

また、大分県医療計画の推進の中で、5疾病5事業に絡む事業に関して、関係機関と地域の課題を共有しながら、糖尿病重症化予防の推進等に取り組んでいる。

(1) 「生涯健康県おおいた21」推進事業

ア 健康応援団事業の推進

県民健康づくり計画「生涯健康県おおいた21」を実現するため、県民の健康づくりを支援する食と受動喫煙対策の環境整備を図っており、県民の生活に関連の深い事業所（店舗）を「生涯健康県おおいた21」推進事業所（健康応援団）として登録している。

さらに、平成26年度からは、経営者が中心となり従業員の健康づくりを推進する事業所を増加させることを目的に健康経営事業所の登録を募集し、認定を行っている。

平成26年度末現在管内では、「食の環境整備」部門で14店舗、「受動喫煙対策」部門で8事業所が登録している。また、「健康経営推進」部門として1事業所が認定されている。

(2) 地域・職域連携推進会議

地域・職域が連携して情報交換や地域の健康課題の把握を行い、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備できるようにするため開催した。

実施月日	内 容	参加機関
平成27年1月15日	1 労働者の安全衛生について 2 生活習慣病(特定健診・特定保健指導等)に関する取組状況 3 メンタルヘルスに関する取組状況 4 意見交換「地域での効果的な事業の推進について」	佐伯市商工会議所、佐伯市番匠商工会、佐伯市あまべ商工会、佐伯市医師会健診センター、南海医療センター健康管理センター、長門記念病院、佐伯市医師会、全国健康保険協会大分支部、大分県南地域産業保健センター、佐伯労働基準監督署、佐伯市、保健所 20人

(3) たばこ対策促進事業

未成年者の受動喫煙防止対策等について、地域の関係者と連携したたばこ対策の推進を図るため開催した。

実施月日	内 容	参加者
平成26年5月10日	一日まちの保健室(「看護の日」事業) 受動喫煙防止普及啓発用ポケットティッシュ配布	トキハインダストリー佐伯店に来店した一般住民 600人
平成26年7月4日	未成年者喫煙防止教室 講演「タバコの害を知っている？」 講師 長門記念病院 薬剤科 薬局長 小嶋祐一郎氏	佐伯市立佐伯城南中学校 (保護者含) 375人

(4) 糖尿病重症化予防対策事業

糖尿病性腎症患者等の人工透析導入を予防または、導入時期を遅らせるための支援体制づくりの一助にするため関係者の資質向上と連携強化を図るため開催した。

実施月日	内 容	参加者
平成26年12月16日	糖尿病重症化予防研修会 講演『慢性腎臓病患者の管理 ～地域との病診連携』 意見交換「地域でのCKD対策について」 講師 大分大学医学部附属病院 腎臓内科 特任助教／副病棟医長 福長 直也氏 (南海医療センター 腎臓内科)	管内地域保健従事者 (保健師・管理栄養士) 34人

5 歯科口腔保健

管内のむし歯の保有状況は、1歳6か月児で一人平均0.04本、3歳児で0.87本である。3歳児の平均むし歯数は年々減少している。その一方でむし歯の多い児と少ない児の両極化が進んでいる。

よい歯でよく噛んで食べることは、健康な体をつくるための出発点であり、80歳になっても20本以上自分の歯を保つ「豊の国8020（ハチマル・ニイマル）運動」を推進し、生涯を通じた歯と口腔の健康づくりを行っている。

（1）地域歯科保健検討会

歯科保健の向上を図るため、歯科保健関係者により、管内のライフステージにそった歯科保健の現状や課題を共有した。

開催月日	内 容	参加者
平成27年 2月3日	1 各所属での歯科保健の取り組みと課題 ○大分県（南部保健所） ・大分県歯と口腔の健康づくり推進条例について ・大分県歯科口腔保健計画について ・乳幼児、児童・生徒の歯科健康診査結果について ・地域歯科保健研修実績報告 ○佐伯市歯科医師会 ・フッ化物洗口事業について ○佐伯市 ・ライフステージにおける歯科保健事業について ○公立保育所 ○歯科衛生士会 ○栄養士会 ○老人クラブ 2 意見交換 3 歯科医師による情報提供 「子どもの顎の発達と矯正について」 講師 戸高歯科医院 院長 戸高 勝之氏	佐伯市歯科医師会・佐伯市教育委員会・佐伯市学校保健会・県歯科衛生士会・県栄養士会南部支部・佐伯市老人クラブ連合会・公立保育所長会・公立保育所協議会保育士会の代表及び佐伯市・南部保健所職員 管内歯科保健関係者 22人

※地域保健委員会歯科保健対策小委員会と合同開催

（2）歯科口腔保健研修会

大分県歯科口腔保健計画（改訂版）に基づき、重点的に高齢期・要介護者への口腔ケアの普及と口腔機能向上のための取組を推進することを目的に開催した。

実施月日	場 所	内 容	参加者
平成26年 10月30日	佐伯市健康福祉 総合センター和楽 大研修室	講義及び演習 「高齢者の口腔機能のアセスメントと ケアのポイント」 講師 お口もさわやか健康塾 歯科衛生士 麻生 清子 氏 歯科衛生士 友枝 康代 氏 ※介護予防事業と合同開催	介護支援専門員、訪問看護師、高齢者施設職員等 97人

(3) 高齢者のよい歯のコンクール

健康で活力ある人生を送るため、80歳で20本以上の自分の歯を保つことは食物の咀嚼を容易にするとともに健康の保持増進に重要である。

満80歳以上で自分の歯を20本以上保持している方に対して、口腔診査及び全身の健康診査を行い佐伯市の代表者1人を選出し、大分県歯科医師会に推薦している。

年 度	19	20	21	22	23	24	25	26
80歳以上	4	4	3	5	8	6	8	2

(4) 親と子のよい歯のコンクール

乳幼児期からの歯科保健の重要性を啓発する目的で実施されている。

前年度の3歳児歯科健康診査を受診した子とその親で優秀な方に対して口腔診査及び全身の健康診査を行い、最も優秀な親子1組を佐伯市の代表として選出し、推薦している。

年 度	19	20	21	22	23	24	25	26
参加親子(組)	9	10	10	10	9	9	8	10

(5) 1歳6か月児歯科健康診査実施状況

	対象者数	受診者数	むし歯の型別分類						むし歯の総数(本)	むし歯の保有者率(%)	一人当りむし歯数(本)	口腔組織疾患等	その他の要指導
			総数	01型	02型	A型	B型	C型					
平成24年度	518	491	491	467	21	3	-	-	4	0.61	0.01	50	43
平成25年度	575	552	552	505	34	12	1	-	43	2.36	0.08	16	61
平成26年度	473	455	455	432	14	8	-	1	16	1.98	0.04	8	49

資料：「母子保健情報システム」

(6) 3歳児歯科健康診査実施状況

	対象者数	受診者数	むし歯の型別分類						むし歯の総数(本)	むし歯の保有者率(%)	一人当りむし歯数(本)	口腔組織疾患等	その他の要指導
			総数	O型	A型	B型	C1型	C2型					
平成24年度	546	525	525	383	89	46	-	7	551	27.0	1.05	64	106
平成25年度	501	490	490	378	66	33	3	10	468	22.9	0.96	7	98
平成26年度	517	494	494	385	72	31	-	6	428	22.1	0.87	5	100

資料：「母子保健情報システム」

6 食育・栄養改善

県民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむためには、健康の基本である「食」の意義を理解し、正しい知識や的確な判断力を主体的に身につけていくことが必要である。そこで、食育の推進や給食施設指導、食品栄養表示の普及啓発等を行った。

(1) 食育推進

ア 南部地域食育推進連絡協議会

(平成26年度)

開催日	場 所	内 容	構 成 員
平成26年7月24日	佐伯総合庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 南部地域の各関係機関や県による食育推進について情報共有 連携や地域食育活動の活性化に向けた意見交換 	南部振興局 地域振興部長、農山漁村振興部長、生産流通部長 佐伯教育事務所 次長兼指導課長 南部保健所 所長、参事兼衛生課長、参事兼地域保健課長 佐伯市 企画商工観光部企画課長、福祉保健部健康増進課長、農林水産部農林課長、農林水産部さいきブランド流通課長、教育委員会学校教育課長

イ 食育普及啓発活動

(平成26年度)

実施日	場 所	内 容	連携機関・団体	対象者
平成26年6月20日	道の駅 やよい	食育月間及び牛乳普及月間キャンペーンとして、ポケットティッシュや減塩ちらしの配布、骨の健康度測定を実施	佐伯市 佐伯市食生活改善推進協議会 佐伯地区栄養士会	一般住民 200人
	サンリブさいき	食育月間キャンペーンとして、ポケットティッシュや減塩ちらしを配布		一般住民 150人
平成26年11月22日	佐伯市保健福祉総合センター和楽	佐伯市主催の「ホールフードフェスタ in 佐伯」において、ポケットティッシュや野菜摂取のちらし等を配布	佐伯市	一般住民 70人

ウ 高校生の自活応援講座

(平成26年度)

開催日	場 所	内 容	連携機関・団体	参加者数
平成27年3月10日	佐伯市保健福祉総合センター和楽	高校3年生を対象に、自炊ができるよう支援するため、プロのシェフによる調理実習等を実施	佐伯市	12人

エ 地域食育総合窓口相談状況

(平成26年度)

(単位：件)	地域における食育活動を支援するため、地域食育総合窓口として食に関する相談に応じた。
11	

オ 「おおいた食育人材バンク」登録人材派遣事業

(平成26年度)

(単位：件)	地域における食育活動を活性化するため、食育に関する知識や経験を有する登録者を要望に応じて派遣した。
13	

(2) 特定給食施設等の指導

特定多数人に継続的に食事を提供する施設に対して、給食従事者の知識と技術の向上を目的とした研修会等により、援助や指導を行った。

ア 給食施設の状況

(単位：か所、人)

(平成26年度末現在)

区 分		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもいない施設数	調理師のいる施設		調理師のいない施設数
		施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	調理師数	
指 定 施 設 ①	総 数	1	5	1	7	4	-	-	-	2	12	-
	学 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病 院	1	5	1	7	4	-	-	-	2	12	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1回300食以上又は1日750食以上 (指定施設①を除く)②	総 数	4	4	1	1	1	2	2	-	6	41	1
	学 校	4	4	1	1	1	2	2	-	6	41	1
	病 院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1回100食以上又は1日250食以上 (①、②を除く)	総 数	4	6	7	21	14	2	2	1	13	40	1
	学 校	2	2	-	-	-	2	2	-	4	10	-
	病 院	-	-	3	10	6	-	-	-	3	13	-
	介護老人保健施設	1	2	3	10	6	-	-	-	3	13	1
	老人福祉施設	1	2	1	1	2	-	-	-	2	3	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の給食施設	総 数	3	3	5	5	7	24	29	21	41	75	12
	学 校	-	-	-	-	-	1	1	-	1	2	-
	病 院	1	1	2	2	2	-	-	-	3	6	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	2	2	2	2	3	5	6	-	8	17	1
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	5	7	13	16	28	2
	社会福祉施設	-	-	1	1	2	4	5	2	4	8	3
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	9	10	6	9	14	6	

資料：南部保健所調べ

イ 給食施設助言・指導状況

(平成26年度末現在)

区 分	指 定 施 設			指定施設以外の特定給食施設			その他の給食施設		
	集 団		個 別	集 団		個 別	集 団		個 別
	回 数	延べ施設数	延べ施設数	回 数	延べ施設数	延べ施設数	回 数	延べ施設数	延べ施設数
総 数		4	1		36	4		230	23
学 校	-	-	-	2	11	-	1	1	-
病 院	2	4	1	2	6	3	2	3	3
介護老人保健施設	-	-	-	2	6	-	-	-	-
老人福祉施設	-	-	-	1	2	-	2	12	-
児童福祉施設	-	-	-	11	11	1	11	183	18
社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	2	5	-
事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-
矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	13	26	2

資料：南部保健所調べ

(3) 食品の栄養表示等に対する指導

健康増進法第31条（栄養表示基準）、第32条の2（虚偽・誇大広告等の禁止）に基づき、業者及び消費者に対し、指導及び普及啓発を行った。

(平成26年度)

	合同立入回数 (調査食品数)	指導件数	相談件数	普及啓発 (延人数)
佐 伯 市	4回 (1154食品)	16件	—	4回 (9人)

資料：南部保健所調べ

(4) 人材・組織育成、研修会

ア 栄養士研修会

住民の健康増進を図るため、給食施設ならびに在宅の栄養士等を対象に、知識や技術の研鑽と情報交換を目的とした研修会を開催した。

(平成26年度)

開催日	場 所	内 容	参加者数
平成26年5月26日	佐伯総合庁舎	食品衛生講習 南部保健所衛生課食品衛生・薬事班 情報提供 佐伯市企画商工観光部企画課食育推進係 南部振興局地域振興部地域振興班 県漁協水産物加工処理施設工場長 南部保健所地域保健課管理栄養士 グループワークによる情報交換	43人
平成26年10月27日	佐伯市保健福祉 総合センター和楽	話題提供 南部振興局農山漁村振興部林業・木材・椎茸班 佐伯市企画商工観光部企画課食育推進係 南部保健所地域保健課管理栄養士 県産あじを使った給食施設レシピの調理実習・検討 県産水産加工品の紹介及び加工業者との意見交換	40人

イ 公衆栄養担当者研修会

地域における公衆栄養活動推進のため、資質の向上と相互の連携を目的とした研修会を開催した。

(平成26年度)

開催回数	場 所	内 容	延参加者数
9回	南部保健所	食育、生活習慣病予防、調理実習、加工品の塩分測定、情報交換 等	93人

ウ 保育所給食研修会

保育所給食における栄養・衛生管理の充実や食育推進のため、給食担当者を対象とした研修会を開催した。

(平成26年度)

開催回数	場 所	内 容	施設数
年12回	南部保健所	栄養管理、食品衛生、食育、地産地消メニューや行事食の調理実習、食育だより作成、健康体操、情報交換 等	20

エ 食生活改善推進協議会

食を通じた地域の健康づくりを展開しているボランティア組織で、その活動を支援している。

(平成26年度)

	支部数	会員数 (人)
佐 伯 市	9	246

資料：南部保健所調べ

7 生活習慣病対策

老人保健事業は、壮年期から高齢期に至る生活習慣病及び介護を要する状態に陥ることを予防する目的で実施されてきた。

21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)の推進及び「今後5ヶ年間の高齢者保健福祉施策の方向」(ゴールドプラン21)の策定を踏まえ、「老人保健事業第4次計画」に基づき、また平成17年度からは単計画に基づき、保健事業を推進してきたところである。

しかしながら、急速な少子高齢化、経済の低成長への移行、国民生活や意識の変化など、大きな環境変化に直面しており、国民皆保険の堅持・持続可能な医療制度のために、その構造改革が急務となっている。

このような状況に対応するため、生活習慣病を中心とした疾病予防を重視し、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づいて、平成20年度から保険者が被保険者及び被扶養者に対し、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導を実施することとされた。

(1) 高齢者の医療の確保に関する法律の規定による特定健康診査(国民健康保険)

(年度)

佐伯市	特定健康診査				特定保健指導							
	対象者数(A) *1	受診者数(B) *2	評価対象者数(C)	受診率(%) = (B)/(A)*100	対象者数				終了者			実施率(%) = (F)/(E)*100
					総数(E)	動機付け支援	積極的支援	(E)/(C)*100	総数(F)	動機付け支援	積極的支援	
23	17,972	5,736	5,737	31.9%	769	559	210	13.4%	337	225	112	43.8%
24	17,595	6,508	6,508	37.0%	879	637	242	13.5%	483	331	152	54.9%
25	17,020	6,259	6,259	36.8%	570	185	755	12.1%	481	128	609	80.7%
25年度大分県市町村国保				39.4%	25年度大分県市町村国保計							33.8%

資料：佐伯市調べ 法定報告から

*1：平成25年4月1日から年間を通して加入中の数

*2：*1のなかで平成26年3月31日までに特定健診を受診した数

(2) 健康増進法の規定による健康診査

(単位：人)

佐伯市	対象者数	受診者数	受診率(%)	指導区分別実人員			
				保健指導非対象	服薬中	動機付け支援	積極的支援
23	823	59	7.2	17	19	3	1
24	898	73	8.1	42	-	4	-
25	894	73	8.2	20	-	2	2
26	897	107	11.9	26	18	4	6

注：65歳以上の者は積極的支援の対象外で、75歳以上の者は保健指導の対象外のため、指導区分別実人員の計は受診者数の計と一致しない。

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」、佐伯市調べ

(3) がん検診
ア 受診率

(単位:人)

		対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	要精検率 (%)	精密受診 率 (%)	未把握率 (%)	陽性反応 的中度 (%)	がん発見 率 (%)	
佐伯市	胃	平成24年度	30,874	2,332	7.6	10.8	95.6	0.4	1.2	0.13
		平成25年度	30,874	2,138	6.9	10.3	92.7	0.9	1.0	0.09
		平成26年度	30,874	2,026	6.6					
	肺	平成24年度	30,874	5,924	19.2	2.7	88.1	0.0	1.3	0.07
		平成25年度	30,874	5,524	17.9	2.7	87.8	12.2	3.9	0.23
		平成26年度	30,874	5,241	17.0					
	大腸	平成24年度	30,874	4,291	13.9	8.0	83.3	0.6	3.2	0.26
		平成25年度	30,874	3,959	12.8	8.5	83.3	20.1	3.2	0.09
		平成26年度	30,874	3,838	12.4					
	子宮	平成24年度	21,113	3,535	23.8	1.6	72.7	21.8	3.6	0.06
		平成25年度	21,113	3,518	23.6	1.8	87.3	12.7	3.6	0.06
		平成26年度	21,113	3,764	14.9					
乳	平成24年度	19,047	3,416	5.3	7.1	95.0	2.5	3.3	0.23	
	平成25年度	19,047	3,241	5.5	5.84	90.2	9.77	0	0	
	平成26年度	19,047	3,533	5.1						

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

※子宮がん、乳がん検診受診率算出

(「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」-「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100

※乳がん検診「マンモグラフィ」受診率は9.9%

イ 各がん検診の受診状況

(ア) 胃がん・大腸がん検診

(単位:人)

	対象者数		胃がん検診受診者数				大腸がん検診受診者数			
			集団検診		個別検診		集団検診		個別検診	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40歳以上	11,827	19,047	823	1,203	-	-	1,378	2,460	-	-
40歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料:佐伯市調べ(平成26年度)

(イ) 肺がん検診(男)

(単位:人)

	対象者数	胸部エックス線検査		喀痰細胞診(喀痰細胞診のみ受診は除く)							
		受診者数		問診者数		喀痰細胞診 対象者数 (胸部エックス線 検査受診者中高 危険群者数)		喀痰容器配布回収状況			
								配布数		回収数	
		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
40歳以上	11,827	1,901	-	1,901	-	558	-	88	-	88	-
40歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料:佐伯市調べ(平成26年度)

(ウ) 肺がん検診(女)

(単位:人)

	対象者数	胸部エックス線検査		喀痰細胞診(喀痰細胞診のみ受診は除く)							
		受診者数 (40歳以上)		問診者数		喀痰細胞診 対象者数 (胸部エックス 線 検査受診者 中高危険群 者数)		喀痰容器配布回収状況			
								配布数		回収数	
		集団 検診	個別 検診	集団 検診	個別 検診	集団 検診	個別 検診	集団 検診	個別 検診	集団 検診	個別 検診
40歳以上	19,047	3,340	-	3,340	-	35	-	3	-	3	-
40歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料:佐伯市調べ(平成26年度)

(エ) 子宮がん検診

(単位:人)

	対象者数 (20歳以上)	頸部				体部	
		受診者数		2年連続受診者数		受診者数	
		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
20歳以上	21,113	2,971	793	1,936	135	-	-
20歳未満	-	-	-	-	-	-	-

資料:佐伯市調べ(平成26年度)

(オ) 乳がん検診

(単位:人)

	対象者数 (40歳以上)	マンモグラフィのみ				視触診及びマンモグラフィ			
		受診者数		2年連続受診者数		受診者数		2年連続受診者数	
		集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
40歳以上	19,047	2,636	-	1,647	-	245	652	172	142
40歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料:佐伯市調べ(平成26年度)

(カ) 肝炎検診

(単位:人)

	受診者数		B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診				
	B型	C型	陽性	陰性	判定①	判定②	判定③	判定④	判定⑤
40歳	55	55	1	54	-	-	1	54	-
41歳以上	94	94	-	94	-	-	1	93	-

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

注 判定①②③ :現在C型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高い
判定④⑤ :現在C型肝炎ウイルスに感染している可能性がきわめて低い

ウ がん検診の精密検査結果(平成25年度精密検査結果)

(ア) 胃がん(集団検診のみ実施)

(単位:人)

	受診者数	要精密検査者数	精密検査受診者内訳								精密検査未受診者内訳	
			異常を認めず	がんであった者	がんであった者のうち原発性のがん		がんの疑いのある者または未確定	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握		
					原発性のがんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん						
佐伯市	総数	2,138	220	48	2	-	-	-	-	154	14	2
	男性	837	100	22	1	-	-	-	-	67	9	1
	女性	1,301	120	26	1	-	-	-	-	87	5	1

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

(イ) 大腸がん(集団検診のみ実施)

(単位:人)

	受診者数	要精密検査者数	精密検査受診者内訳								精密検査未受診者内訳	
			異常を認めず	がんであった者	がんであった者のうち原発性のがん		がんの疑いのある者または未確定	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握		
					原発性のがんのうち早期がん	早期がんのうち粘膜内がん						
佐伯市	総数	3,959	335	89	9	-	-	-	-	181	44	12
	男性	1,398	150	28	9	-	-	-	-	79	30	4
	女性	2,561	185	61	-	-	-	-	-	102	14	8

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

(ウ) 肺がん:胸部エックス線検査・喀痰細胞診(集団検診のみ実施)

(単位:人)

	受診者数	胸部エックス線検査					回収数	喀痰細胞診					
		判定別人数						判定別人数					
		A	B	C	D	E		A	B	C	D	E	
佐伯市	総数	5,524	-	4,925	452	53	94	118	5	113	-	-	-
	男性	1,935	-	1,705	175	17	38	108	4	104	-	-	-
	女性	3,589	-	3,220	277	36	56	10	1	9	-	-	-

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

A:「読影不能」 B:「異常所見を認めない」
 C:「異常所見を認めるが、精査を必要としない」 D:「異常所見を認めるが、肺がん以外の疾患が考えられる」
 E:「肺がんの疑い」

	受診者数	要精密検査者数	精密検査受診者内訳							精密検査未受診者内訳	
			異常を認めず	がんであった者	がんであった者のうち原発性のがん	原発性のがんのうち臨床病期I期	がんの疑いのある者または未確定	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握	
佐伯市	総数	5,524	147	48	5	-	-	3	73	13	5
	男性	1,935	55	12	3	-	-	2	28	6	4
	女性	3,589	92	36	2	-	-	1	45	7	1

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

(エ) 子宮がん 体部

*実施なし

(オ) 子宮がん 頸部

(単位:人)

	受診者数	2年連続受診者数	細胞診の判定別人数			
			精不検要	要精検(1)	要精検(2)	判定不能
個別健診	535	-	509	26	-	-
集団健診	2,983	-	2,945	36	1	1

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

(単位:人)

	要精密検査者数	精密検査受診者内訳								精密検査未受診者内訳	
		異常を認めず	がんであった者	がんであった者のうち原発性のがん	原発性のがんのうち上皮内がん	原発性のがんのうち微浸がん	異形であった者	がんの疑いのある者または未確定	がん及び異形成以外の疾患であった者	未受診	未把握
個別健診	26	4	-	-	-	-	-	1	15	-	6
集団健診	37	7	2	-	-	-	-	-	26	1	1

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

(カ) 乳がん(女性):マンモグラフィのみ

(単位:人)

	受診者数	2年連続受診者数	胸部エックス線検査の判定別人数					要精密検査者数	精密検査受診者内訳							精密検査未受診者内訳		
			カテゴリー1	カテゴリー2	カテゴリー3	カテゴリー4	カテゴリー5		異常を認めず	がんであった者	がんであった者のうち原発性のがん	原発性のがんのうち早期がん	早期がんのうち非浸潤がん	がんの疑いのある者または未確定	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握	
個別健診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
集団健診	2,539	-	2,342	48	137	12	-	149	108	4	-	-	-	-	31	2	4	

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

注:カテゴリー1～5は以下のとおり

注: カテゴリー1: 異常なし
 カテゴリー2: 良性
 カテゴリー3: 良性、しかし悪性を否定できず
 カテゴリー4: 悪性の疑い
 カテゴリー5: 悪性

(キ) 乳がん(女性):視触診及びマンモグラフィ

(単位:人)

	受診者数	2年連続受診者数	胸部エックス線検査の判定別人数					要精密検査者数	精密検査受診者内訳						精密検査未受診者内訳		
			カテゴリー1	カテゴリー2	カテゴリー3	カテゴリー4	カテゴリー5		異常を認めない	がんであった者	がんであった者のうち原発性のがん		がんの疑いのある者または未確定	がん以外の疾患であった者	未受診	未把握	
											原発性のがん	早期がんのうち非浸潤がん					
個別検診	475	-	444	3	28	-	-	33	14	-	-	-	-	-	17	2	-
集団検診	227	-	187	32	8	-	-	8	2	-	-	-	-	-	4	2	-

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」(平成26年度)

注:カテゴリー1～5は以下のとおり

注: カテゴリー1: 異常なし
 カテゴリー2: 良性
 カテゴリー3: 良性、しかし悪性を否定できず
 カテゴリー4: 悪性の疑い
 カテゴリー5: 悪性

8 精神保健

精神保健医療は、入院中心の医療から在宅医療中心へと変わり、精神障がい者が地域の中で自立して自分らしく生活していけるように支援することが重要となっている。

平成7年に精神保健福祉法が改正され、平成13年には障害者自立支援法が施行され、精神障がい者にとってより身近な支援は、市町村が中心となって担うようになった。さらに、平成25年4月1日からは、自立支援法が障害者総合支援法となって施行された。

保健所は、地域の専門機関として医療機関や市役所、相談事業所等の関係機関と連携して、精神保健・医療・福祉に関する様々な相談への対応や、警察等からの通報に対する緊急対応を行っている。また、地域の自殺対策や精神障がい者の地域移行支援・地域定着支援を推進するための取り組みも行っている。

(1) 入院・通院患者数

(単位：人)

(平成26年6月30日現在)

	総数 A + B	A 入院患者数					B 通院患者数			人口
		総数	措置	医療保護	任意	その他	総数	自立支援医療	その他	
大分県	34,164	4,693	18	2,064	2,610	1	29,471	11,939	17,532	1,172,170
佐伯市	1,644	283	2	102	179		1,361	558	803	73,390
(25年6月末)	(1,706)	(298)	(1)	(119)	(177)	(1)	(1,408)	(574)	(834)	74,393
(24年6月末)	(1,693)	(289)	(2)	(119)	(168)		(1,404)	(491)	(913)	(75,439)

資料：県障害福祉課

(2) 精神障がい者保健福祉手帳交付件数

(単位：件)

(平成26年度末現在)

	総数	1級	2級	3級
大分県	7,164	412	5,175	1,577
佐伯市	397	16	272	109
(平成25年度末)	(373)	(18)	(264)	(91)
(平成24年度末)	(351)	(17)	(251)	(83)

資料：こころとからだの相談支援センター

(3) 精神保健相談実施状況

ア 精神保健相談実施状況

(単位：件)

(平成26年度)

	総	電	来
数	数	話	所
総	970	790	180
一	943	772	171
認	27	18	9
知			
症			

注：数値は延べ数

資料：厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

イ 精神保健相談内容

(単位：件)

(平成26年度)

	総	電	来
数	数	話	所
総	970	790	180
社	496	390	106
会			
復			
帰			
老	55	44	11
人			
精			
神			
保			
健			
ア	36	26	10
ル			
コ			
ー			
ル			
薬	-	-	-
ギ	-	-	-
ャ			
ン			
ブ			
ル			
思	29	26	3
春			
期			
心	127	109	18
の			
健			
康			
づ			
く			
り			
摂	-	-	-
食			
障			
害			
そ	227	195	32
の			
他			
再	251	187	64
掲			
ひ			
き			
こ			
も			
り			
再	151	140	11
掲			
自			
死			
関			
連			
再	-	-	-
掲			
自			
死			
者			
遺			
族			
再	6	6	-
掲			
犯			
罪			
被			
害			
再	-	-	-
掲			
災			
害			

注：数値は延べ数

資料：厚生労働省「地域保健・老人保健事業報告」

ウ 精神科医による精神保健相談

精神科医による専門的相談を毎月開催。

開催回数	相談総数	男	女
		性	性
11回	18件	6件	12件

(4) 精神障がい者社会適応訓練事業（職親）登録事業所

(平成26年度末現在)

登録事業所名	代表者	所在地	委託事業	登録年度	訓練生受入れ人数
大和冷機工業株式会社 九州佐伯工場	尾崎 敦史	佐伯市	環境整備	平成20年度	-
(合) デバン	五島 一徳	佐伯市	温室内でのトマトの栽培管理・出荷調整	平成19年度	-

(5) 精神障がい者の地域移行・地域定着支援事業

長期入院中で、受け入れ条件が整えば退院可能な精神障がい者の地域移行支援と地域定着支援の推進を目的に、個別支援を行うとともに関係機関との連絡会を持った。また、地域の関係機関の連携強化を目的に、研修会を開催した。

	精神障がい者地域移行支援研修会
日時	平成27年3月22日(日) 10:00~12:00
場所	佐伯保養院
参加者	佐伯保養院、さんゆうあけぼの、大分県なおみ園、清流の郷、サニーハウス、エバーグリーン、虹の翼福祉サービス、佐伯市障がい者相談支援センター、佐伯市社会福祉協議会、佐伯市(社会福祉課、地域包括支援センター) 22名
内容	1 院内見学 2 講義「入院中からの地域移行のための患者支援」 講師：佐伯保養院院長 廣瀬 就信 氏 3 講話 「佐伯保養院における地域移行・定着支援について～ショートケアの実際～」 講師：佐伯保養院 精神保健福祉士 石田 由比 氏 4 協議「地域移行支援の現況と今後の課題」
	精神障がい者地域移行支援検討会
日時	平成26年10月2日(木) 15:00~16:00 平成27年1月27日(火) 16:00~16:30
場所	佐伯保養院、南部保健所
参加者	佐伯保養院、佐伯市社会福祉課、南部保健所
内容	長期入院中で退院可能なケースの地域移行についての検討
	精神障がい者地域移行支援連絡会
日時	平成26年10月16日(木) 10:00~11:30 平成26年11月13日(木) 9:30~10:30 平成26年12月11日(木) 14:00~16:00
場所	南部保健所
参加者	佐伯市障がい者相談支援センター、佐伯市社会福祉課、南部保健所
内容	地域移行を推進するための連携体制づくり、地域移行支援事例の支援方針についての検討

(6) 佐伯市との事業連絡会

地域の精神保健対策を一体的に推進していくために、佐伯市との保健事業連絡会を開催した。

第1回日時	平成26年6月23日(月) 13:30~15:00
内 容	佐伯市社会福祉課の取組方針について 南部保健所の取組について その他連絡事項
第2回日時	平成26年10月16日(木) 11:30~12:15
内 容	平成26年度の精神保健事業の進捗状況について 次年度の取組について

(7) 自殺対策推進事業

ア 自殺対策専門研修

平成10年から増加した自殺者数は国、県ともに減少してきているが、佐伯市は自殺率の減少率が他の地域に比べて低く、県内では2番目に自殺率が高い状況となっている。

そこで、26年度は、佐伯市と協働し、佐伯市自殺対策協議会の委員を対象に研修会を開催した。

	内 容
日 時	平成26年12月1日(月) 13:30~15:00
場 所	佐伯市役所 別館1階会議室
対 象	佐伯市自殺対策連絡協議会委員
参加者数	23人
内 容	講 話 「地域で取り組む自殺対策」 講 師 佐伯保養院副院長 山内 勇人 氏

イ アルコール相談会

アルコール依存症は、うつ病との関連や自殺のリスクが高いと言われている。そこで、アルコール依存からの回復や自殺予防を目的に、自助グループである断酒会と連携して、断酒会員との座談会方式で相談会を開催した。

協力者である断酒会メンバーに対しても、福祉サービス等の社会資源の情報提供を行った。

日 時	場 所	参加者数(人)
平成26年11月26日(水) 14:00~15:00	南部保健所	4
平成27年3月26日(木) 14:00~15:00	南部保健所	4

ウ 普及啓発活動

① 自殺予防週間街頭キャンペーン (*自殺予防週間：9月10日～9月16日)

啓発活動の一環として、自殺予防週間期間中は国道に横断幕を掲示し、自殺予防の普及啓発を行った。

	内 容
日 時	平成26年9月11日(木) 16:00～17:00
場 所	サンリブさいき 駐車場
対 象	佐伯市民 約250人
内 容	自殺予防のパンフレットや相談窓口一覧及びポケットティッシュを配布
活動実施者	6人 (保健所 3人 佐伯市 3人)
日 時	平成26年9月7日(土) 13:00～16:00
場 所	佐伯文化会館中ホール(精神障がい者・家族支援佐伯フォーラム会場受付)
対 象	来訪者 約170人
内 容	自殺予防のパンフレットや相談窓口一覧及びポケットティッシュを配布
活動実施者	5人(保健所2人、佐伯市2人、フォーラム実行委委員1人)

(8) 地域かかりつけ医精神科医連携会議

平成23年度から、地域のかかりつけ医と精神科医との連携を強化し、増加するうつ病等の患者を早期発見するとともに、適切な医療の提供体制を整備することを目的に開催している。

実施月日	平成27年2月24日(火) 19:00～21:00
場 所	佐伯市医師会館
対 象	佐伯市内の一般かかりつけ医と精神科医 等
参加者数	14人
内 容	県の連携推進会議の報告 事例報告(3例) 意見交換

(9) 心の健康教室実施状況

認知症や心の病気の方への接し方や病気とのつきあい方に関する講座を実施した。

	内 容
実施月日	平成26年8月28日(木) 18:30～20:00
場 所	長門記念病院 長門研修センター
対 象	看護職員 (診療所・病院・訪問看護ステーション・高齢者福祉施設)
参加者数	51人
内 容	講演「地域で支える認知症 ～特に看護・介護現場で働く人の認知症対応のポイント～」 講師：杉谷診療所院長 井上 雅公 氏

	内 容
実施月日	平成26年6月19日(木) 13:00~15:30
場 所	佐伯市蒲江保健センター
対 象	ひまわり会参加者(蒲江地域精神疾患治療中の当事者・家族の会)
参加者数	9人
内 容	グループディスカッション 講話「地域で支え合って生きる」 講師 保健所保健師

(10) 自殺企図者の通報件数

平成21年10月より警察から文書で通報があった自殺企図者や家族に対して、保健師が相談対応を実施している。この他にも電話による緊急通報で6件の連絡を受け対応した。

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
4	10	9	3	2	6

(11) ケア会議

様々な相談対応の中で、地域の関係機関との連携を図るため、処遇に関するケア会議を開催、または参加して処遇を検討し支援を行った。

検 討 内 容	件 数	<参加機関>
総 数	34	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐伯市役所 ・ 佐伯市障がい者相談支援センター ・ 佐伯市指定特定相談支援事業所 ・ 医療機関 ・ 障がい福祉サービス事業所 ・ 警察署 ・ 教育関係機関 ・ 社会福祉協議会 等
社 会 復 帰	16	
教 育 ・ し つ け の 問 題	1	
性 格 ・ 行 動 上 の 問 題	11	
家 庭 の 問 題	3	
酒 ・ 薬 物 の 問 題	2	
医 療 に 関 する 問 題	1	

(12) ひきこもり支援

平成25年度から保健所内に、大分青少年自立支援センターのひきこもり相談員が常駐し、家族会主催で行っている定例家族会や個別支援等を専任で実施しており、必要に応じて、医師、保健師も支援を行った。

ニート・ひきこもり家族会(大分ステップの会佐伯支部)への支援

毎月第1水曜日に、保健所内で家族会主催の定例家族会が開催されている。

実施回数(回)	12	総参加者数(人)	54
---------	----	----------	----

9 難病対策

原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、特定疾患については治療がきわめて困難であり、治療費も高額であるため、特定疾患治療研究事業を推進することにより、医療の確立・普及を図るとともに患者の医療費の負担軽減を図っていた。

平成26年12月末では、管内の特定疾患医療受給者は668人であった。

平成27年1月より、難病の患者に対する良質かつ適切な医療の確保及び難病の患者の療養生活の質の向上を図り、国民保健の向上を図ることを目的に、「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行された。

難病のうち国が定める基準に該当する医療費助成対象疾患を指定難病と定め、現行の56疾患から110疾患へ拡大された。そして今夏、306疾患に拡大する見込みである。現行の特定疾患医療受給者証についても、特定医療費（指定難病）受給者証と名称が変更された。平成27年3月末では、管内の特定医療費（指定難病）受給者は640人である。

保健所では、患者・家族を支援する目的で、家庭訪問や医療相談会、交流会を実施するとともに、地域における難病患者の在宅療養支援体制を整備するために、支援関係者を対象に支援方針検討会や研修会を実施している。

(1) 特定疾患治療研究事業

ア 特定疾患医療受給者数

(単位：人)

注：（ ）に重症認定患者数を再掲

平成26年12月31日現在

		総 数		男							女								
		668	(88)	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1	パーチェット病	27	2					4(1)	1	3(1)	1			2	3	1	5	5	2
2	多発性硬化症	10	2				2(1)				1			1			2	4(1)	
3	重症筋無力症	23	-						1	1	4			3			2	3	9
4	全身性エリテマトーデス	46	6			1		1(1)	2		1		1	1	7(1)	5	6(1)	13	8(3)
5	スモン	2	2								1(1)								1(1)
6	再生不良性貧血	7	-		1						1	1						2	2
7	サルコイドーシス	29	5				1(1)			2(1)	5			2			3	6(1)	10(2)
8	筋萎縮性側索硬化症	9	5							2(1)	4(2)					1(1)			2(1)
9	強皮症 皮膚筋炎及び多発性筋炎	35	2			1	1			3	1	1		1		3	8	16(2)	
10	特発性血小板減少性紫斑病	22	-				2	2			5					4	4	5	
11	結節性動脈周囲炎	4	-								1							1	2
12	潰瘍性大腸炎	90	-		2	6	7	7	7	9	7			8	4	11	5	9	8
13	大動脈炎症候群	1	-												1				
14	ピュルガー病（パージャヤー病）	5	-							2	2								1
15	天疱瘡	2	-								1								1
16	脊髄小脳変性症	19	8					1(1)	1(1)	1(1)	6(2)						3(1)	7(2)	
17	クローン病	29			1	1	3	4	4	3	3		1		4	2	1		2
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	-	-																
19	悪性関節リウマチ	21	6					1	1	6				1	2(1)	3(1)	4(3)	3(1)	
20	パーキンソン病関連疾患 ※1	84	14					1	4(1)	5	19(4)				1	2	1	51(9)	
21	アミロイドーシス	1	-							1									
22	後縦靭帯骨化症	56	10					1	5	4(1)	24(5)				1	1	4(1)	6(3)	
23	ハンチントン病	-	-																

		総 数		男							女								
				0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
24	モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	13	2					1	1	1				2	1	3(1)	1	3(1)	
25	ウェゲナー肉芽腫症	3	-												1		1	1	
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	4	-				1	1		1				1					
27	多系統萎縮症 ※2	8	6							3(2)	1(1)						1(1)		3(2)
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1	-															1	
29	膿疱性乾癬	4	-						1		1			1	1				
30	広範脊柱管狭窄症	19	3						1	7(2)	4				1	2(1)	1	3	
31	原発性胆汁性肝硬変	8	-														3	3	2
32	重症急性膵炎	1	1																1
33	特発性大腿骨頭壊死症	16	-			1		3	3		1			1			3	4	
34	混合性結合組織病	7	-				1							1	1	1	2	1	
35	原発性免疫不全症候群	-	-																
36	特発性間質性肺炎	8	-						1		2						1		4
37	網膜色素変性症	16	7					1(1)	1	1					1(1)	1(1)	4(2)	7(2)	
38	プリオン病	1	1							1(1)									
39	肺動脈性肺高血圧症	1	-		1														
40	神経線維腫症I型／神経線維腫症II型	2	-										2						
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-																
42	バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群	-	-																
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	-	-																
44	ライソゾーム病	-	-																
45	副腎白質ジストロフィー	-	-																
46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	-	-																
47	脊髄性筋萎縮症	1	1	1															
48	球脊髄性筋萎縮症	7	4					1	2(1)	4(3)									
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5	-						1		1						2		1
50	肥大型心筋症	1	-						1										
51	拘束型心筋症	-	-																
52	ミトコンドリア病	2	1			1(1)								1					
53	リンパ管筋腫症(LAM)	-	-																
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	-	-																
55	黄色靱帯骨化症	11	-					1	1	4	4						1		
56	間脳下垂体機能障害	7	-					1		2				1	2			1	

注：※1 パーキンソン病関連疾患とは、パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症を示す。

注：※2 多系統萎縮症とは、線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群を示す。

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」、保健所調べ

(2) 難病の患者に対する医療等に関する法律

ア 特定医療費(指定難病)受給者数

(単位:人)

平成27年1月1日～3月31日

	総数		男							女								
	640	(81)	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1 球脊髄性筋萎縮症	6	4					1	1(1)	4(3)									
2 筋萎縮性側索硬化症	8	4							2(1)	3(2)					1(1)			2
3 脊髄性筋萎縮症	1	1	1(1)															
4 原発性側索硬化症	-	-																
5 進行性核上性麻痺	2	-								1								1
6 パーキンソン病	69	11					1	4(1)	5	15(3)					1	2	1	40(7)
7 大脳皮質基底核変性症	7	2																7(2)
8 ハンチントン病	-	-																
9 神経有棘赤血球症	-	-																
10 シャルコー・マリー・トゥース病	-	-																
11 重症筋無力症	23	-						1	1	4			3		2	3		9
12 先天性筋無力症候群	-	-																
13 多発性硬化症/視神経脊髄炎	10	2				2(1)				1			1		2	4(1)		
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	5	-						1		1					2			1
15 封入体筋炎	-	-																
16 クロウ・深瀬症候群	-	-																
17 多系統萎縮症	7	5							3(2)	1(1)								3(2)
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	18	8					1(1)	1(1)	1(1)	5(2)						3(1)		7(2)
19 ライソゾーム病	-	-																
20 副腎白質ジストロフィー	-	-																
21 ミトコンドリア病	2	1			1(1)								1					
22 もやもや病	11	2					1	1	1			2		3(1)		3(1)		
23 プリオン病	1	1							1(1)									
24 亜急性硬化性全脳炎	-	-																
25 進行性多巣性白質脳症	-	-																
26 HTLV-1関連脊髄症	-	-																
27 特発性基底核石灰化症	-	-																
28 全身性アミロイドーシス	-	-																
29 ウルリッヒ病	-	-																
30 遠位型ミオパチー	-	-																
31 ベスレムミオパチー	-	-																
32 自己食空胞性ミオパチー	-	-																
33 シュワルツ・ヤンベル症候群	-	-																
34 神経線維腫症	-	-																
35 天疱瘡	2	-								1								1
36 表皮水疱症	-	-																
37 膿疱性乾癬(汎発型)	4	-						1		1		1		1				
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	-	-																
39 中毒性表皮壊死症	-	-																
40 高安動脈炎	1	-													1			
41 巨細胞性動脈炎	-	-																
42 結節性多発動脈炎	1	-																1
43 顕微鏡的多発血管炎	4	-								1							1	2
44 多発血管炎性肉芽腫症	3	-													1		1	1
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	-	-																
46 悪性関節リウマチ	21	6					1	1	6				1	2(1)	3(1)	4(3)		3(1)
47 バージャー病	5	-								2	2							1
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	-	-																
49 全身性エリテマトーデス	45	6			1		1(1)	2		1		1	1	7(1)	5	6(1)	12	8(3)
50 皮膚筋炎/多発性筋炎	15	2			1			2	1				1		2	2		6(2)
51 全身性強皮症	19	-				1		1		1					1	6		9
52 混合性結合組織病	7	-				1						1		1	1	2		1
53 シェーグレン症候群	-	-																
54 成人スチル病	1	-															1	
55 再発性多発軟骨炎	-	-																
56 ペーチェット病	27	2					4(1)	1	3(1)	1		2	3	1	5	5		2

	総数	男								女							
		0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
57 特発性拡張型心筋症	4	-			1	1		1					1				
58 肥大型心筋症	1	-						1									
59 拘束型心筋症	-	-															
60 再生不良性貧血	7	-	1						1	1						2	2
61 自己免疫性溶血性貧血	-	-															
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	-	-															
63 特発性血小板減少性紫斑病	21	-			2	1				5					4	4	5
64 血栓性血小板減少性紫斑病	-	-															
65 原発性免疫不全症候群	-	-															
66 IgA 腎症	-	-															
67 多発性嚢胞腎	1	-										1					
68 黄色靱帯骨化症	12	-					1	1	4	5					1		
69 後縦靱帯骨化症	52	10					1	4	4(1)	22(5)				1	1	3(1)	6(3)
70 広範脊柱管狭窄症	18	3							1	7(2)	3			1	2(1)	1	3
71 特発性大腿骨頭壊死症	15	-			1			3	3				1			3	3
72 下垂体性ADH分泌異常症	1	-															
73 下垂体性TSH分泌亢進症	-	-															
74 下垂体性PRL分泌亢進症	-	-															
75 クッシング病	-	-															
76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-	-															
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1	-								1							
78 下垂体前葉機能低下症	4	-						1		1			1			1	
79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	-	-															
80 甲状腺ホルモン不応症	-	-															
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	-	-															
82 先天性副腎低形成症	-	-															
83 アジソン病	-	-															
84 サルコイドーシス	29	5			1(1)				2(1)	5			2		3	6(1)	10(2)
85 特発性間質性肺炎	8	-							1		2				1		4
86 肺動脈性肺高血圧症	1	-		1													
87 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	-	-															
88 慢性血栓性肺高血圧症	-	-															
89 リンパ管筋腫症	-	-															
90 網膜色素変性症	15	6						1(1)	1	1			1(1)		4(2)	7(2)	
91 バッド・キアリ症候群	-	-															
92 特発性門脈圧亢進症	-	-															
93 原発性胆汁性肝硬変	8	-													3	3	2
94 原発性硬化性胆管炎	-	-															
95 自己免疫性肝炎	-	-															
96 クローン病	29	-	1	1	3	4	4	3	3		1		4	2	1		2
97 潰瘍性大腸炎	88	-	2	5	7	7	7	9	7			8	3	11	5	9	8
98 好酸球性消化管疾患	-	-															
99 慢性特発性偽性腸閉塞症	-	-															
100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-	-															
101 腸管神経節細胞減少症	-	-															
102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	-	-															
103 CFC症候群	-	-															
104 コステロ症候群	-	-															
105 チャージ症候群	-	-															
106 クリオペリン関連周期熱症候群	-	-															
107 全身型若年性特発性関節炎	-	-															
108 TNF受容体関連周期性症候群	-	-															
109 非典型型溶血性尿毒症症候群	-	-															
110 ブラウ症候群	-	-															

注：()に重症認定患者数を再掲

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」、保健所調べ

(3) 特定疾患登録者証所持者数

「特定疾患登録者証」とは、「特定疾患医療受給者証」にかわり、軽快者に交付されるものである。軽快者とは、特定疾患医療受給者証を交付された後、治療の結果症状が改善し、疾患の特異的な治療の必要性がなく、就労等を含む日常生活を営むことができると判断された者を示す。なお、軽快者に交付される特定疾患登録者証に関しては、下記の30疾患のみ認められる。

難病の患者に対する医療等に関する法律に伴って、特定疾患登録者証は平成27年1月1日より廃止された。

(単位：人)

(平成26年12月31日現在)

疾 患 名		人 数
総 数		55
1	ベ ー チ ェ ッ ト 病	-
3	重 症 筋 無 力 症	1
4	全 身 性 エ リ テ マ ト ー デ ス	3
6	再 生 不 良 性 貧 血	1
7	サ ル コ イ ド ー シ ス	10
9	強 皮 症、皮 膚 筋 炎 及 び 多 発 性 筋 炎	-
10	特 発 性 血 小 板 減 少 性 紫 斑 病	14
11	結 節 性 動 脈 周 圍 炎	1
12	潰 瘍 性 大 腸 炎	8
13	大 動 脈 炎 症 候 群	-
14	ビ ュ ル ガ ー 病	1
15	天 疱 瘡	1
17	ク ロ ー ン 病	-
19	悪 性 関 節 リ ウ マ チ	-
22	後 縦 靱 帯 骨 化 症	6
24	ウ イ ル ス 動 脈 輪 閉 塞 症	1
25	ウ ェ グ ナ ー 肉 芽 腫 症	-
28	表 皮 水 疱 症	-
29	膿 疱 性 乾 癬	-
30	広 範 脊 柱 管 狭 窄 症	1
33	特 発 性 大 腿 骨 頭 壊 死 症	7
34	混 合 性 結 合 組 織 病	-
36	特 発 性 間 質 性 肺 炎	-
42	バッド・キアリ (B u d d - C h i a r i) 症 候 群	-
49	慢 性 炎 症 性 脱 髓 性 多 発 神 経 炎	-
50	肥 大 型 心 筋 症	-
51	拘 束 型 心 筋 症	-
52	ミ ト コ ン ド リ ア 病	-
55	黄 色 靱 帯 骨 化 症	-
56	間 脳 下 垂 体 機 能 障 害 PRL分泌異常症・ゴナドトロピン分泌異常症・ ADH分泌異常症・下垂体性TSH分泌異常症・ クッシング病・先端巨大症・下垂体機能低下症	-

資料 南部保健所調べ

(4) 地域支援ネットワーク事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価会議

目的

難病を主な要因とする身体の機能障がいや長期安静の必要から日常生活に著しい障がいがあり総合的なサービスの提供を必要とする在宅患者に対し、個々の患者の実態に応じたきめ細やかな支援を行うため専門医、市の福祉及び介護保険担当、各種サービス提供機関等との連携の下に、対象別の在宅療養支援計画の作成、評価を行い各種サービスの適切な提供を行っている。

(平成26年度末現在)

対象者	参加機関	協議内容
球脊髄性筋萎縮症 65歳男性	家族 居宅介護支援事業所(介護支援専門員) 訪問看護ステーション 訪問介護事業所2カ所 訪問入浴事業所 福祉医療機器事業所 福祉タクシー事業所	1 患者の状況確認 2 サービス状況確認 3 ケアプランについて 4 感染予防について確認
筋萎縮性側索硬化症 77歳男性	家族 居宅介護支援事業所(介護支援専門員) 訪問看護ステーション 通所介護事業所 福祉医療機器事業所 病院連携室 相談員 病棟看護師 外来リハビリ職員(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)	1 患者の状況確認 2 退院後のサービス状況確認 3 今後の在宅療養支援について (訪問看護の導入、医療機器)
筋萎縮性側索硬化症 51歳女性	家族 居宅介護支援事業所(介護支援専門員) 主治医 病院連携室 相談員 訪問看護ステーション2カ所 訪問介護事業所2カ所 訪問入浴事業所 福祉医療機器事業所	1 患者の状況確認 2 サービス状況確認 3 意思疎通方法について確認
球脊髄性筋萎縮症 65歳男性	本人 居宅介護支援事業所(介護支援専門員) 訪問看護ステーション 福祉タクシー事業所	1 患者の状況確認 2 ケアプランについて 3 今後の在宅療養支援について (訪問リハビリ)

イ 医療相談事業

《難病相談会》

特定疾患患者及びその家族に対して、医療及び日常生活に係る相談、指導助言等を行うとともに、患者・家族及び関係者の情報交換を行うことにより、QOLの向上を目指す。

(平成26年度末現在)

開催時期	対象疾患	参加人数	内容
平成26年7月18日 14:00～16:00	膠原病 ・特定疾患医療受給者証所持者で、参加を希望した人（患者本人及び家族）	11	(1) 講話「薬との上手なつきあい方」 講師 西田病院 薬剤部副部長 梶原洋文氏 (2) 紹介「全国膠原病友の会大分県支部、虹の会の活動について」 紹介者 全国膠原病友の会大分県支部 支部長 高木雅子氏 事務局長 木村義弘氏 虹の会 会長 別府順子氏
平成27年3月16日 14:00～17:00	パーキンソン病関連疾患 ・特定医療費(指定難病)受給者証所持者で、参加を希望した人（患者本人及び家族）	14	(1) 講話と実技「家庭でできるリハビリ方法」 講師 長門記念病院 リハビリテーション科長 土谷健治氏 (2) 紹介「全国パーキンソン病友の会大分県支部の活動について」 紹介者 全国パーキンソン病友の会大分県支部 支部長 松本盛太氏 事務局長 中村守明氏

(5) 難病新聞「南風」の発行

平成7年から、原因不明、治療法未確立、経過が慢性にわたる疾患である難病患者・家族の方が、中心となって難病新聞「南風」を発行している。保健所はその活動を支援している。

《目的》

- ① 同じ病気の仲間のことを知る
- ② 社会参加の場づくり
- ③ 友の会の活動を知る
- ④ 地域住民への病気の理解を図る

(平成26年度末現在)

開催時期	対象疾患	参加人数	内容
平成26年9月9日 10:00～12:00	更新時につどいへの参加を希望した患者及び家族	11	・情報提供（志賀本昌氏） 「パノラマ風景写真で観光する大分県」 ・話題提供（担当保健師） 「難病対策の制度改正について」 ・近況報告、情報交換 ・レイアウト等編集 ・原稿収集、記事・作品の鑑賞

- ・編集会の参加により、いろんな活動の場や体験を聞くことができ家族にも刺激になっている。
- ・新聞の編集をきっかけに、「情報を得る場」「思いを語る場」となり、社会参加できる一つの機会になっている。
- ・読者からは、「毎回楽しみにしている」「励みになる」「いつまでも続けてほしい」等の声がきかれ、新聞の編集委員、投稿者と読者が顔は見えなくともお互いに励まし、支えあえる効果を得ている。
- ・新聞を読んで、自分も投稿したい等の連絡もあり、新聞づくり参加への広がりを感じる。

10 結核対策

平成26年の管内の有病率は13.2（人口10万対）、罹患率は17.2（人口10万対）であり、塵肺患者の多い海岸部で有病率が高い。結核登録者は平成26年末で33人で、依然多い傾向にある。

結核は過去の病気と考えられている傾向にあるが、若者の不規則な生活や、持病をもつ高齢者が増加していることから、結核が再興する傾向にある。そのため、結核対策としては、検診の受診促進等の啓発はもとより、結核発生時には本人への早期面接、訪問指導、家族及び接触者検診の徹底等を図り、新たな発生・予防に努めている。

(1) 結核新登録者数（活動性分類別・年齢階級別）

(単位：人)

(平成26年)

	活動性結核								潜在性結核感染症(別掲)
	総数	肺結核活動性					肺外結核活動性		
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性			
		総数	初治	回療	再治療				
総数	13	11	4	4	-	3	4	2	3
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	1
30～39歳	1	1	-	-	-	-	1	-	-
40～49歳	2	2	-	-	-	-	2	-	1
50～59歳	2	1	1	1	-	-	-	1	-
60～69歳	2	2	-	-	-	2	-	-	1
70歳～	6	5	3	3	-	1	1	1	-
平成25年	17	15	6	6		7	2	2	2

資料：南部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

(2) 結核活動性分類別登録者数（受療状況別）

(単位：人)

(平成26年12月末現在)

受療状況	総数	活動性結核						不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)	
		総数	活動性肺結核			活動性肺外結核				治療中	観察中
			登録時喀痰塗抹陽性	登録時その他の菌陽性	登録時菌陰性・その他						
総数	33	10	3	3	2	2	23	-	1	15	
入院	3	3	1	1	-	1	-	-	-	-	
外来治療	8	7	2	2	2	1	1	-	1	-	
治療なし	22	-	-	-	-	-	22	-	-	15	

資料：南部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

(3) 結核有病率・罹患率

(単位：人、%)

(平成26年12月末現在)

	登録者数	有病率				罹患率				死亡率	
		活動性結核患者数	有病率	登録時菌陽性肺結核患者数	登録時菌陽性肺結核有病率	新登録患者数	罹患率	菌陽性肺結核患者数	菌陽性肺結核罹患率	死亡者数	死亡率
平成24年	41	15	19.9	6	8.0	20	26.6	7	9.3	-	-
平成25年	40	14	18.9	10	13.5	17	22.9	6	8.1	1	1.3
平成26年	33	10	13.2	6	7.9	13	17.2	7	9.3	2	2.6

注：有病率、罹患率を算出する際の基準人口は、毎年10月1日現在人口

有病率、罹患率、死亡率は人口10万対率で表したものの

資料：南部保健所調べ(厚生労働省「結核発生動向調査」)

(4) 結核予防(健康診断の実施状況)

(単位：人)

平成26年度

	総数	定期						実施件数	患者家族	その他
		事業者	学校長	施設の長		市町村長				
				刑事施設	社会福祉施設	65歳以上	その他			
ツベルクリン反応検査	注者	1							1	-
	被判定者	1							1	-
	陰性者数	-							-	-
	陽性者数	1							1	-
集団健康診断実施件数	9						9			
健康診断受診者	8,577	3,662	650		529	3,665	-	22	49	
間接撮影者数	4,364	312	650		41	3,361	-	-	-	
直接撮影者数	4,159	3,350	-		488	304	-	9	8	
喀痰検査者数	-	-	-		-	-	-	-	-	
I G R A 検査者	56							13	43	
被発見者数	結核患者	1	-	-		-	-	-	-	1
	潜在性結核感染者	5	-	-		-	-	-	2	3
	結核発病の恐れがあると診断された者	8	-	-		-	-	-	4	4

資料：(厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

(5) 一般住民結核健康診断実施状況

佐伯市	一次検診受診者			精密検診受診者				
	対象者	受診者	受診率 (%)	対象者	受診者	受診率 (%)	結核患者	発病の恐れ
24年度	22,226	3,902	17.6	114	91	79.8	-	-
25年度	22,649	4,213	18.6	112	42	37.5	-	2
26年度	22,226	3,665	16.5	81	39	48.1	-	-

(6) 精密検査（従来の管理検診）実施状況

(単位：人、%)

(平成26年度)

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)/(A)	受診者内訳			要医療率 (C)/(B)
		総数 (B)	保健所実施分	医療機関委託	その他		要医療 (C)	要観察	観察不要	
佐伯市	58	58	10	-	48	100	-	38	20	-

資料：南部保健所調べ（厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」）

(7) 接触者健診（患者家族健診）実施状況

(単位：人、%)

平成26年度

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)/(A)	受診結果内訳				要医療率 (C)/(B)
		総数(B)	保健所実施分	医療機関委託	その他		要医療(C)		要観察	観察不要	
							結核	潜在性結核感染症			
管内	30	29	21	1	7	96.7	-	3	8	18	10.7

資料：保健所調べ

(8) 接触者健診（その他）実施状況

(単位：人、%)

平成26年度

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)/(A)	受診結果内訳				要医療率 (C)/(B)
		総数(B)	保健所実施分	医療機関委託	その他		要医療(C)		要観察	観察不要	
							結核	潜在性結核感染症			
管内	89	89	49	-	40	100.0	1	3	2	83	4.5

資料：保健所調べ（厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」）

1 1 感染症対策

平成18年10月、現在における感染症の脅威と感染症を取り巻く状況の変化を踏まえた施策を再構築するための法律として「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、当保健所では感染症の発生予防やその蔓延防止に努める施策に取り組んでいるところである。

(1) 感染症発生状況

(単位:人)

(平成26年)

区分	疾患名	大分県	佐伯市
1類	エボラ出血熱	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-
	痘そう	-	-
	南米出血熱	-	-
	ペスト	-	-
	マールブルグ熱	-	-
	ラッサ熱	-	-
2類	急性灰白髄炎	-	-
	結核	258	18
	ジフテリア	-	-
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-
3類	コレラ	-	-
	細菌性赤痢	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	21	-
	腸チフス	-	-
	パラチフス	-	-
4類	42疾患	49	2
5類	16疾患(全数報告分)	43	3

資料: 大分県感染症発生動向調査事業報告書

(2) 感染症発生動向調査

管内では、感染症発生状況を地域的に把握するため、インフルエンザ5定点、小児科3定点、STD1定点が指定されている。大分県、佐伯市ともにインフルエンザ、感染性胃腸炎の発生報告数が多く、例年、報告数の上位を占めている。

平成26年定点年間発生疾病別報告数

〈大分県〉

順位	疾病名	件数
1	インフルエンザ	26,471
2	感染性胃腸炎	23,395
3	A型溶血性レンサ球菌咽頭炎	3,635
4	手足口病	3,042
5	水痘	2,628
6	ヘルパンギーナ	1,617
7	突発性発疹	1,599
8	流行性耳下腺炎	1,479
9	咽頭結膜炎	1,018
10	RSウイルス感染症	999
11	マイコプラズマ肺炎	175
12	流行性角結膜炎	174
13	伝染性紅斑	130
14	百日咳	50
15	急性出血性結膜炎	1
15	クラミジア肺炎	1
17	細菌性髄膜炎	-
17	無菌性髄膜炎	-

〈佐伯市〉

順位	疾病名	件数
1	インフルエンザ	2,627
2	感染性胃腸炎	2,036
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	574
4	手足口病	218
5	水痘	200
6	ヘルパンギーナ	163
7	RSウイルス感染症	124
8	突発性発疹	107
9	咽頭結膜炎	46
10	流行性耳下腺炎	11
11	伝染性紅斑	-
11	百日咳	-
11	急性出血性結膜炎	-
11	流行性角結膜炎	-
11	細菌性髄膜炎	-
11	無菌性髄膜炎	-
11	マイコプラズマ肺炎	-
11	クラミジア肺炎	-

資料: 大分県感染症発生動向調査事業報告書

(3) 予防接種実施状況

平成26年度(単位:人)

A類疾病	沈降精製百日せき ジフテリア破傷風 混合ワクチン使用(DPT)				沈降ジフテリア破傷風 混合トキソイド使用(DT)				急性灰白髄炎(単抗原IPV)				沈降精製百日せき ジフテリア破傷風不活化 ポリオ混合ワクチン (DPT-IPV)				日本脳炎						
	第1期				第1期				初回接種				初回接種				第1期						
	初回接種			追加接種	初回接種			追加接種	第2期			追加接種			追加接種			追加接種					
	第1回	第2回	第3回		第1回	第2回			第1回	第2回	第3回		第1回	第2回	第3回		第1回	第2回	第3回		第1回	第2回	
0歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	515	508	496	-	-	-	-	-	-	-	-
1歳	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	19	4	6	9	389	-	-	-	-	-	-	-
2歳	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	2	5	117	1	1	3	46	-	-	-	-	-	-
3歳	1	1	1	22	-	-	-	-	-	4	2	12	87	2	2	1	2	462	428	12	-	-	-
4歳	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	5	4	17	-	-	-	1	29	29	338	-	-	-
5歳	-	1	2	8	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	1	1	1	12	19	100	-	-	-
6歳	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	1	8	6	38	-	-	-
7歳	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	8	9	25	-	-	-
8歳																		13	16	76			
9歳																		7	12	50			2
10歳																		16	19	42			1
11歳																		8	9	36			1
12歳																		15	15	34			3
13歳																		5	7	4			4
14歳																		2	2	1			2
15歳																		-	1	2			5
16歳																		-	-	1			1
17歳																		3	3	10			132
18歳																		-	2	6			150
19歳																		-	-	-			-
計	1	3	7	103	-	-	-	473	4	10	24	251	522	518	510	440	588	577	775	301			
(再掲)個別	1	3	7	103	-	-	-	473	4	10	24	251	522	518	510	440	588	577	775	301			
(再掲)集団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
対象者数	1	3	7	103	-	-	-	593	4	10	24	255	527	527	527	527	600	600	862	592			

資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

平成26年度(単位:人)

A類疾病	ヒブワクチン				小児用肺炎球菌ワクチン				子宮頸がん予防ワクチン		
	第1回	第2回	第3回	第4回	第1回	第2回	第3回	第4回	第1回	第2回	第3回
0歳	506	504	502	8	506	504	502	474			
1歳	1	1	8	459	1	1	8	36			
2歳	2	-	5	55	2	1	3	3			
3歳	4	1	6	9	5	5	2	1			
4歳	23	1	2	1	25	1	-	-			
5歳											
6歳											
7歳											
8歳											
9歳											
10歳											
11歳									-	-	-
12歳									1	-	-
13歳									3	3	-
14歳									1	1	3
15歳									-	1	1
16歳									3	2	-
計	536	507	523	532	539	512	515	514	8	7	4
(再掲)個別	536	507	523	532	539	512	515	514	8	7	4
(再掲)集団	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
対象者数	536	527	527	532	539	527	527	527	320	320	320

A 類 疾 病		麻しん・風しん(混合)			
		第1期		第2期	
		男	女	男	女
管内	1 歳	268	232		
	5 歳			182	160
	6 歳			82	74
	13 歳				
	18 歳				
	計	268	232	264	234
	(再掲) 個別	268	232	264	234
	(再掲) 集団	-	-	-	-
対 象 者 数		-	-	-	-
A 類 疾 病		麻しん(単抗原)のみ			
		第1期		第2期	
		男	女	男	女
管内	1 歳	-	-		
	5 歳			-	-
	6 歳			-	-
	13 歳				
	18 歳				
	計	-	-	-	-
	(再掲) 個別	-	-	-	-
	(再掲) 集団	-	-	-	-
対 象 者 数		-	-	-	-
A 類 疾 病		風しん(単抗原)のみ			
		第1期		第2期	
		男	女	男	女
管内	1 歳	-	-		
	5 歳			-	-
	6 歳			-	-
	13 歳				
	18 歳				
	計	-	-	-	-
	(再掲) 個別	-	-	-	-
	(再掲) 集団	-	-	-	-
対 象 者 数		-	-	-	-
A 類 疾 病		麻しん(単抗原)と風しん(単抗原)			
		第1期		第2期	
		男	女	男	女
管内	1 歳	-	-		
	5 歳			-	-
	6 歳			-	-
	13 歳				
	18 歳				
	計	-	-	-	-
	(再掲) 個別	-	-	-	-
	(再掲) 集団	-	-	-	-
対 象 者 数		-	-	-	-

A 類 疾 病		第1期		第2期	
		男	女	男	女
麻しん又は風しん対象者数		310	259	284	253

A類疾病		BCG		
		5ヶ月未満	5ヶ月以上1歳未満	計
管内	接種者数	-	524	524
	(再掲) 個別	-	524	524
	(再掲) 集団	-	-	-
	対象者数	-	547	547

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(単位：人) 平成26年度

B類疾病		インフルエンザ		計
		60歳以上 65歳未満 の者	65歳以上	
管内	接種者数	18	16550	16568
	対象者数	18	26012	26030

資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

(4) エイズ対策

国内のHIV感染者・エイズ患者は依然として増加傾向に有り、感染の拡大防止は重要な課題である。南部保健所では「大分県エイズ対策基本指針」に基づき、正しい知識の普及や検査・相談体制の充実を図っている。

ア 事業内容

実施月日	内 容	平成26年度 対象者
平成26年6月2日	H I V 検査普及週間 夜間迅速検査	一般住民
平成26年11月17日	エイズ・性感染症予防出前講座	高校生
平成26年12月1日	世界エイズデーコーナーの設置 夜間迅速検査	一般住民

イ エイズ相談及びH I V抗体検査実施状況

(単位:件)

		相談件数			H I V抗体検査			陽性 件数
		総数	電話	来所	総数	スクリーニン グ検査	確認検査	
平成24年度	男	68	40	3	27	19	-	-
	女		25	-		8	-	-
平成25年度	男	70	22	14	27	12	-	-
	女		32	2		15	-	-
平成26年度	男	52	22	11	13	7	-	-
	女		12	7		6	-	-

資料:南部保健所調べ

ウ 特定感染症検査

平成19年11月から肝炎ウイルスと性感染症について、自らの感染状況を認識する機会を提供し、感染の早期発見・早期治療を目的として、相談や検査を実施している。

(単位:件)

		性器クラミジア		梅毒検査	H C V 抗体検査	H B s 抗体検査
		血液	P C R			
平成24年度	総数	4	4	4	9	9
	男	3	3	3	6	6
	女	1	1	1	3	3
平成25年度	総数	5	6	9	9	9
	男	2	3	4	4	4
	女	3	3	5	5	5
平成26年度	総数	8	7	8	9	9
	男	3	3	3	3	3
	女	5	4	5	6	6

注:()に陽性件数を再掲

(5) 消毒インストラクター養成・フォローアップ研修

開催日時	内 容	対象	参加数
平成26年10月31日 13:00~16:30	講義テーマ①「消毒インストラクターについて」 ②「感染症・食中毒について」 ③「標準予防策と感染症拡大防止策」	各社会福祉施設職員及び施設長	35
平成26年11月10日 13:00~16:30	筆記試験 実技演習 (汚物の処理方法、消毒液の調整、トイレ消毒)		28
平成26年12月4日 13:00~16:30	実技試験 (汚物の消毒)		28

(6) 肝炎対策

ア 保健所肝炎検査

平成26年度

	HBs 抗原検査	HCV 抗体検査	HCV 核酸増幅検査
検査件数	9	9	-
陽性件数	-	-	-

資料：南部保健所調べ

イ 緊急肝炎ウイルス検査事業

緊急肝炎ウイルス検査受診票発行状況(平成26年度)

	南部保健所
総 数	
B 型	
C 型	
B 型+C 型	

資料：南部保健所調べ

ウ 肝炎インターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療に対する医療費助成制度

平成22年度、肝炎対策基本法の成立によって助成内容が拡大された。これにより自己負担額が抑制され、B型慢性肝疾患患者の核酸アナログ製剤治療に対する助成も開始されるようになり、またインターフェロン治療費助成制度の2回目の利用も認められるようになった。

インターフェロン治療医療費助成申請状況

平成26年度

	総 数	新規申請	2回目の利用	延長申請
申請件数	20	20	0	0

資料：南部保健所調べ

核酸アナログ製剤治療医療費助成申請状況

平成26年度

	総 数	新規申請	更 新
申請件数	55	11	44

資料：南部保健所調べ

12 介護保険

管内の要支援・介護認定者数は4,767人となっており、高齢者人口の18.5%が要支援・要介護認定されている。

介護保険サービスの利用状況をみると、居宅サービス受給者は3,114人、地域密着型（介護予防）サービス受給者は399人、施設サービス受給者は748人となっており、要支援・介護認定を受けた人の89.4%がサービスを利用している。

平成20年度に策定された「（豊の国ゴールドプラン21）第4期介護保険事業支援計画」の目標に沿って、圏域における適切な介護サービスの提供及び事務の確保を図るため、介護認定から介護サービスの提供に至るまでの各段階での関係者（認定調査従事者、介護認定審査委員、介護支援専門員）に対し、必要な知識・技能の向上を図り、公平・公正な要介護認定の実施や質の高い介護サービス提供に向けた研修を行っている。

（1）要介護認定者数

（平成26年3月末現在）

	総数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
大分県	66,729	11,904	9,030	12,680	10,528	7,665	8,026	6,896
佐伯市	4,767	972	665	970	597	470	555	538

資料：介護保険事業状況報告（平成26年3月末現在の速報値）高齢者福祉課介護保険推進班作成

（2）介護保険サービス受給状況

ア 居宅サービス受給者内訳

（平成26年2月サービス利用分）

	総数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
大分県	43,477	8,441	7,062	9,574	7,916	4,521	3,573	2,390
佐伯市	3,114	683	551	723	398	295	255	209

資料：介護保険事業状況報告（平成26年4月末現在の速報値）高齢者福祉課介護保険推進班作成

イ 地域密着型サービス受給者内訳

（平成26年2月サービス利用分）

	総数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
大分県	3,937	48	73	762	869	889	728	568
佐伯市	399	3	10	109	82	64	69	62

資料：介護保険事業状況報告（平成26年4月末現在の速報値）高齢者福祉課介護保険推進班作成

ウ 施設サービス受給者内訳

（平成26年2月サービス利用分）

	総数	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
大分県	10,337	5,110	4,603	662
佐伯市	748	367	382	1

資料：介護保険事業状況報告（平成26年4月末現在の速報値）高齢者福祉課介護保険推進班作成

※同一月に2施設以上でサービスを受けた場合、施設毎にそれぞれ受給者数を計上し、受給者総数には1人と計上するため、3施設の合算と総数は一致しない。

(3) 居宅サービス事業所等の数

区 分	大分県	佐伯市
指 定 総 数	8,564	542
訪 問 介 護	464	42
訪 問 入 浴 介 護	34	2
訪 問 看 護	572	32
訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	239	9
居 宅 療 養 管 理 指 導	1,679	104
通 所 介 護	462	30
通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	139	6
短 期 入 所 生 活 介 護	134	15
短 期 入 所 療 養 介 護	129	5
特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護	38	3
福 祉 用 具 貸 与	98	6
特 定 福 祉 用 具 販 売	96	7
居 宅 介 護 支 援	433	25
介 護 予 防 訪 問 介 護	450	40
介 護 予 防 訪 問 入 浴 介 護	32	1
介 護 予 防 訪 問 看 護	582	32
介 護 予 防 訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	242	9
介 護 予 防 居 宅 療 養 管 理 指 導	1,684	103
介 護 予 防 通 所 介 護	432	29
介 護 予 防 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	139	6
介 護 予 防 短 期 入 所 生 活 介 護	129	15
介 護 予 防 短 期 入 所 療 養 介 護	130	5
介 護 予 防 特 定 施 設 入 所 生 活 介 護	36	3
介 護 予 防 福 祉 用 具 貸 与	94	6
特 定 介 護 予 防 福 祉 用 具 販 売	97	7
施 設 総 数	214	12
介 護 老 人 福 祉 施 設	85	7
介 護 老 人 保 健 施 設	73	5
介 護 療 養 型 医 療 施 設	56	0

資料：大分県ホームページ「介護保険指定事業所等一覧」より（H26. 4. 1現在） ※休止中施設を除く

(4) 地域密着型サービス事業所等の数

区 分	大 分 県	佐 伯 市
指 定 総 数	578	51
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4	1
夜間対応型訪問介護	5	0
認知症対応型通所介護	61	6
小規模多機能型居宅介護	42	2
認知症対応型共同生活介護	134	13
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	2
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	37	5
複 合 型 サ ー ビ ス	1	0
介護予防認知症対応型通所介護	58	6
介護予防小規模多機能型居宅介護	38	2
介護予防認知症対応型共同生活介護	133	13
介 護 予 防 支 援 事 業 所	56	1

資料：大分県ホームページ「介護保険指定事業所等一覧」より（H26. 4. 1現在） ※休止中施設を除く

(5)介護保険関連研修

研修会名	対象者	開催日	参加者	内容
認定調査員 研修会	認定調査員 (新規)	平成26年 5月15日	6人	1 介護保険制度の最近の動向 2 佐伯市の介護認定の現状 3 介護認定の基本設計及び認定調査の留意点 4 要介護認定の基本設計及び認定調査に関する留意点 5 認定調査の実際
		平成26年 12月15日	7人	
	認定調査員 (現任)	平成26年 12月15日	13人	1 介護保険制度の最近の動向 2 佐伯市の介護認定の現状 3 介護認定の基本的な考え方 4 認定調査の実施方法(演習) (1)個人演習 (2)グループワーク (3)解説
		平成26年 12月22日	30人	
介護認定審査会 委員研修	審査会委員 (新任)	平成26年 5月16日	7人	1 介護保険制度の概要 2 大分県の介護保険制度の現状 3 佐伯市の介護認定の現状 4 要介護認定の仕組み (1)要介護認定の基本設計 (2)認定調査項目の考え方 (3)介護認定審査会の構成 (4)介護認定審査会資料の見方 (5)実際の審査判定手順(DVD)
		平成27年 3月25日	7人	
	審査会委員 (現任)	平成27年 3月11日	47人	1 介護保険制度の現状 2 佐伯市の介護認定の現状 ①佐伯市の介護認定審査会の現状 ②佐伯市の介護保険の新たな動向 3 介護認定審査会の役割と状況
介護保険運営 適正化研修事業	佐伯市・竹田市・豊後大 野市介護保険担当課職 員、(南部・豊肥保健所)	平成26年 10月30日	13人	1 自己紹介 2 報告・協議 (1)各市の要介護認定調査・認定審査会の取組 状況・成果・課題 3 情報提供 業務分析データについて (高齢者福祉課より) 4 情報交換

1 3 介護予防

介護保険法の目的である高齢者の「介護予防」「自立支援」「尊厳保持」の観点から、要介護状態となっても住み慣れた地域で安心して暮らせるための包括的なケア体制整備が求められている。この体制整備の一環として関係機関との検討会や介護予防従事者等に対する研修等を実施した。

(1) 圏域介護予防検討会・佐伯地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会

介護予防事業に係る佐伯市圏域の実態をふまえて、関係機関の連携のもと人材育成のための研修企画を行い、介護予防事業の効果的な推進を図るため開催した。

実施日時	場所	内 容	参加者
平成26年7月30日 18:30～20:30	南部保健所 会議室	1 佐伯市の取組について (1) 介護保険の動向と佐伯市地域ケア会議の進捗状況 (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の状況 (3) 一次予防に関すること 2 南部圏域佐伯地域リハビリテーション 広域支援センターの活動について 3 平成25年度研修実績及び平成26年度研修計画について 4 意見交換「介護予防に関する各団体の取組について」	病院、診療所、歯科医師、介護老人保健施設、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員、管理栄養士、歯科衛生士、社会福祉協議会、地域リハビリ調整者、地域包括支援センター、佐伯市の代表 23人

※佐伯地域リハビリテーション広域支援センターとの共催

(2) サービス事業所実践力向上研修

高齢者の自立支援・介護予防を推進するために介護従事者の資質向上を図るため開催した。

	実施日時	場所	内 容	参加者
第1回	平成26年9月12日 19:00～21:00	佐伯市保健福祉総合センター和楽 大研修室	行政説明「佐伯市の介護保険の現状について」 講師 佐伯市 高齢者福祉課職員 講義「介護保険の理念に基づく杵築市の取り組みについて」 講師 杵築市高齢者支援課 課長補佐 江藤 修氏	介護サービス事業所の介護従事者・専門職、介護支援専門員等 276人
第2回	平成26年9月26日 19:00～21:00		講義「生活機能評価・ADL/IADL」 講師：作業療法士 入口 晴香氏 (デイサービス楽 毛井センター)	289人
第3回	平成26年11月14日 19:00～21:00		講義「リスク管理・運動機能向上」 講師：理学療法士 本田 祐一氏 (臼杵市医師会立 コスモス病院)	236人
第4回	平成26年11月27日 19:00～21:00		講義「栄養改善」 講師 管理栄養士 濱田 美紀氏 (介護保険総合福祉センターメルヘン) 講義「口腔機能向上」 講師 歯科衛生士 多田 啓子氏 (はやし歯科医院)	209人
第5回	平成27年2月20日 19:00～21:00		通所型こぼん事業実践報告会 (介護予防拠点支援事業報告会) ・市内5事業所の実践報告 ・講評 講師：作業療法士 佐藤 孝臣氏 (デイサービス楽)	296人

※佐伯市との共催

※第1回・2回・5回は介護予防従事者研修と合同開催

(3) 介護予防支援従事者研修

高齢者の自立支援に向けたアセスメント力向上及びケアプラン作成を目指し、介護支援専門員の資質向上を図るため開催した。

	実施日時	場所	内 容	参加者
第1回	平成26年9月12日 19:00～21:00	佐伯市保健福祉総合センター和楽	行政説明「佐伯市の介護保険の現状について」 講師 佐伯市 高齢者福祉課職員 講義「介護保険の理念に基づく杵築市の取り組みについて」 講師 杵築市高齢者支援課 課長補佐 江藤 修氏	介護支援専門員等 276人
第2回	平成26年9月26日 19:00～21:00	大研修室	講義「生活機能評価・ADL/IADL」 講師：作業療法士 入口 晴香氏 (デイサービス楽 毛井センター)	289人
第3回	平成26年10月17日 14:00～16:00	佐伯市役所	講義「医学・看護的アセスメント」 講師：訪問看護認定看護師 河野 智美氏 (大分県看護協会)	92人
第4回	平成26年10月30日 14:00～16:00	6階会議室	講義・演習「高齢者の口腔機能のアセスメントとケアのポイント」 講師 お口もさわやか健康塾 共同代表 (歯科衛生士) 麻生 清子氏・友枝 康代氏	97人
第5回	平成27年2月20日 19:00～21:00	佐伯市保健福祉総合センター和楽 大研修室	通所型こぼん事業実践報告会 (介護予防拠点支援事業報告会) ・市内5事業所の実践報告 ・講評 講師：作業療法士 佐藤 孝臣氏 (デイサービス楽)	296人

※佐伯市との共催

※第1回・2回・5回はサービス事業所実践力向上研修と合同開催

1 4 在宅医療連携拠点体制整備事業

地域住民の誰でもが可能な限り住み慣れた地域に必要な医療、介護サービスを受け、安心して自分らしい生活が送れるために、平成25年度から佐伯市医師会、佐伯市と協働して在宅医療・介護連携体制の整備に取り組んでいる。

(1) 佐伯地域保健委員会在宅医療対策小委員会の設置

佐伯地域保健委員会に南部圏域の現状分析、課題の抽出及び課題解決への取り組みを検討するため、小委員会を設置した。

実施月日	内 容	参加者
平成26年 5月30日	設置	27人（事務局6人）
平成26年 7月28日	・佐伯市の課題について ・今年度の取組について	
平成26年 11月10日	・取組状況について ・今後の計画について	
平成27年 3月27日	・今年度の取組状況について ・今後の取組について	

(2) 多職種向け研修会

佐伯地域での在宅医療・介護連携をより一層推進するためには、医療・福祉関係機関やそこに従事する介護支援専門員、看護師等多職種が連携する必要がある、そうした取組の先進事例を学ぶとともに、課題や課題解決に向けた取組について考える機会として開催した。

開催日	開催場所	講師	内容	参加者
平成26年 12月11日	佐伯市保健福祉 総合センター 和楽	東京大学高齢社会総合 研究機構 准教授 飯島勝矢氏	「戦略的在宅医療・ケアの推進 ～佐伯市における医療介護連携 の推進へ～」	在宅医療に携わ る医師、介護支 援専門員、看護 師等 109人
平成27年 2月16日		—	専門職グループディスカッション1 テーマ「佐伯市で在宅医療を推進 する上での課題と解決策について」	在宅医療に携わ る医師、介護支 援専門員、看護 師等 137人
平成27年 3月16日		—	専門職グループディスカッション2 テーマ「佐伯市で在宅医療を推進 する上での課題と解決策について」	在宅医療に携わ る医師、介護支 援専門員、看護 師等 108人

(3) 住民向け研修会

一般住民を対象として在宅医療・介護連携についての理解を深めてもらうことを目的とした研修会を開催した。

開催日	開催場所	講師	内容	参加者
平成27年 3月21日	佐伯市保健福祉 総合センター 和楽	東京大学高齢社会総合 研究機構 准教授 飯島勝矢氏	「医療未来予想図」 ～「Aging in Place」を目指して、 今、我々の出来ること～	一般市民 59人

15 訪問看護・介護連携強化推進事業

住み慣れた地域での生活を希望する高齢者が、安心して自立した生活を継続出来るよう、高齢者の尊厳を保持し、健康状態に応じた適切な段階で、訪問看護と介護が連携した支援を行うことによって在宅ケア体制を強化し、地域包括ケアの推進を図るため、平成25・26年度の2か年事業として実施した。

(1) 訪問看護連絡会

訪問看護ステーションの相互の情報交換の機会とし、訪問看護ステーションの連携強化及び訪問看護師の資質の向上を目的に実施した。

25年度からの保健所主催の同連絡会を受け、訪問看護ステーション5機関の自主運営による「訪問看護集会※1」が発足した。

また、訪問看護師人材育成のため佐伯地域訪問看護基礎研修※2の実施に至った。

※1 平成26年6月発足。奇数月は勉強会、偶数月は運営会議。

※2 在宅医療連携拠点体制整備事業にて実施。保健所・佐伯市・訪問看護ステーションの協働で企画運営。

実施月日	内 容	参加者
平成26年 8月5日 (火) 18:30～ 20:00	(1)訪問看護・介護の連携強化推進事業説明 (2)同伴訪問事例報告 (3)各機関の取組状況等意見交換	佐伯市内訪問看護ステーション (5カ所)管理者(訪問看護師) 佐伯市地域包括支援センター (以下佐伯市地域包括と記す) 保健師・介護支援専門員 佐伯市健康増進課保健師 保健所保健師 12人

(2) 訪問看護と介護の同伴訪問

介護保険の軽度認定者への訪問看護の早期導入により、看護と介護の連携のもと健康状態を維持し重症化を予防することを目的に、訪問看護師と介護職の同伴訪問等を行った。

実施月日	介護度	実施内容	参加者
平成26年 7月9日 7月16日	要支援 2	(1)苦痛原因の褥瘡等健康状態観察 (2)保清への援助 (3)本人・家族の病識確認 (4)療養環境改善への助言・指導 (健康状態に合致した福祉用具選択) (5)日中活動量を上げるための工夫 (6)セルフケア力を上げる助言 ※7月23日～訪問看護導入(週1回)	A訪問看護ステーション訪問看護師 B居宅介護支援事業所介護支援専門員 福祉用具業者職員 別居家族(キーパーソン) 保健所保健師
12月1日		(7)評価訪問	上記参加者(福祉用具業者職員除く)
平成26年 7月30日 7月31日	要介護 1	(1)全身健康状態の観察 →口内炎・舌が真っ白の状態を発見 (2)口腔内変化から早期受診勧奨 (3)セルフケア力の観察 (ふらつきと生活上の支障の把握、動作確認) (4)訪問及び通所介護職員への助言・指導	C訪問看護ステーション訪問看護師 D居宅介護支援事業所介護支援専門員 ヘルパーステーション サービス提供責任者・ヘルパー デイサービス職員 保健所保健師
平成26年 7月16日 7月28日 8月1日 8月4日	要介護 1	(1)退院前調整 (利用者との合意形成・地域連携室との協議) (2)主治医との合意形成 (3)訪問看護師への訪問依頼 (4)検討会議 (訪問看護師・介護支援専門員・保健師) ※同伴訪問予定であったが、再入院のため中止	E病院地域連携室相談員 佐伯市地域包括介護支援専門員 F訪問看護ステーション訪問看護師 保健所保健師
平成26年 7月4日	無 (新規)	(1)病棟看護師からの情報提供 (介護保険代行申請) (2)退院前面接及び検討会議	G病院病棟看護師 佐伯市地域包括介護支援専門員 保健所保健師
平成26年 7月9日	無	(1)病院地域連携室相談員からの情報提供 ※心疾患にて入院、退院後服薬コントロール不良 (2)利用者面接(意向確認)及び検討会議	H病院地域連携室相談員 佐伯市地域包括介護支援専門員 保健所保健師

(3) 訪問看護・介護連携研修

医療機関病棟から在宅への看護連携や在宅での看護と介護の連携を促進するため、研修を行った。

実施日時	場 所	実施内容	参加者
平成26年 10月2日 14:00～16:00	佐伯市医師会館 大研修室	講演「病棟から在宅へ ～当ステーションにおける活動を通して～」 講師 大分県厚生連 訪問看護ステーションつるみ 管理者 光根 美保氏	医療機関・介護老人 施設等看護職 47人
平成26年 10月17日 14:00～16:00	佐伯市役所 会議室	講義「訪問看護・介護の連携 ～医学・看護的アセスメント」 講師 大分県看護協会 研修部長 (訪問看護認定看護師) 河野 智美氏	介護支援専門員 92人
平成26年 11月15日 13:30～16:30	佐伯市保健福祉 総合センター 和楽 大研修室	講演 「多職種で支える在宅医療～看護職の役割」 講師 宗像医師会 在宅支援室長 同訪問看護ステーション管理者 阿部 久美子氏	医療機関・介護老人 施設・訪問看護 ステーション・行 政等の従事者(多職 種) 98人
平成27年 2月27日 15:00～17:00	佐伯市医師会館 大研修室	活動説明 「訪問看護の活用について ～褥瘡改善事例の紹介等」 説明者 訪問看護ステーションさいき 管理者 寺嶋 和子氏	医療機関外来実務 者・介護老人施 設・訪問看護師・ 行政保健師 56人

16 看護対策

佐伯地域の看護職員確保定着推進プランに基づき、看護職員の連携強化及び資質の向上を図るとともに、地域住民に対して看護活動を普及するため取り組んでいる。

(1) 「看護の日」及び「看護週間」事業

1990年（平成2年）に制定された「看護の日」の普及啓発を通して、県民一人ひとりが看護について関心高め理解を深めるとともに看護の明るいイメージづくりを図り、看護職員等の就業を促進し、活力ある長寿社会に寄与するため実施した。

ア ふれあい看護体験

実施日時	体験施設	内 容	参 加 者
平成26年5月13日 (火) 13:00～16:30	①南海医療センター ②長門記念病院 ③佐伯中央病院 ④西田病院 ⑤曾根病院	看護師や助産師の仕事を体験	佐伯市内の高等学校4校の3年生 29人

イ 一日まちの保健室

実施日時	場 所	内 容	利用者及びスタッフ
平成26年5月10日 (土) 10:00～14:00	トキハインダストリー佐伯店ひまわりホール	血圧・体脂肪・血糖測定 一般・栄養・物忘れ相談 高齢者疑似体験等	利用者：住民187人 スタッフ：佐伯市内の看護職員等 糖尿病療養指導士 佐伯市保健師 南部保健所保健師 66人

(2) 看護の地域ネットワーク事業

佐伯地域における病院の看護管理者及び診療所・介護施設・訪問看護ステーション・行政の看護職代表の17人が、佐伯地域の看護職員確保定着推進プランに基づき、実態調査や研修の企画・運営・評価を行った。

ア 看護ネットワーク推進会議

実施日時	協 議 内 容	出席者
平成26年4月18日 11:00～12:00	1 平成26年度研修計画 方向性等確認 2 「看護の日」及び「看護週間」事業について	15人
平成26年5月9日 11:00～12:00	1 「看護の日」及び「看護週間」事業の具体協議 2 年間研修計画決定	10人
平成26年6月20日 11:00～12:00	1 「看護の日」及び「看護週間」事業報告 2 看護職員確保定着に関する実態調査について 3 訪問看護・介護連携強化事業説明	11人
平成26年7月18日 11:00～12:00	1 新人ナースサポート研修について（役割確認） 2 重症小児在宅療養促進事業説明	12人
平成26年9月19日 11:00～12:00	1 研修結果報告（新人ナースサポート研修・認定看護師によるエキスパート研修） 2 看護職員確保定着に関する実態調査結果還元・協議 3 研修運営協議（看護連携強化フォーラム・第1回介護施設等看護職員サポート会議）	12人
平成26年10月17日 11:00～12:00	1 看護職サポート研修実施評価 2 看護連携強化フォーラム（11月15日）具体協議	13人
平成26年11月14日 11:00～12:00	1 研修結果報告（介護施設等看護職員サポート会議・エキスパート研修） 2 看護連携強化フォーラムについて（役割確認等）	12人
平成26年12月19日 11:00～12:00	1 研修結果報告（看護連携強化フォーラム・診療所看護連携研修） 2 研修運営協議（第2回介護施設等看護職員サポート会議、来年度事業計画） 3 情報交換（感染症情報等）、平成26年度事業報告書の作成について	10人
平成27年1月16日 11:00～12:00	1 研修結果報告（診療所看護連携研修） 2 研修運営協議（第2回介護施設等看護職員サポート会議、来年度事業計画） 3 情報交換（感染症情報等）、平成26年度事業報告書の作成について	10人
平成27年2月27日 11:00～14:00	1 認定看護師等の従事状況調査結果還元 2 第2回介護施設等看護職員サポート会議運営協議 3 来年度事業計画	13人
平成27年3月27日 11:00～12:00	1 研修結果報告（診療所看護連携研修・訪問看護集会） 2 平成27年度事業・研修計画 3 平成27年度「看護の日」及び「看護週間」の事業について	10人

イ 佐伯地域認定看護管理者会議

実施日時	協議内容	出席者
平成27年3月12日 13:30～14:30	1 平成27年度主任級研修の企画 2 講師依頼、役割分担	4人

ウ 看護職員の確保定着に関する実態調査

実施期間	調査対象	調査方法	調査内容
平成26年 6月20日～7月18日	佐伯地域の病院に勤務する常勤看護職員	佐伯地域の8病院の看護管理者が回答 (回収率100%)	看護職員の確保定着に関する実態調査 (県内全地域共通版調査票)

エ 新人ナースサポート研修

実施日時	場所	内容	参加者
平成26年7月29日 14:30～16:30	佐伯市保健福祉総合センター 和楽 第1研修室	講演「医療現場で役立つコミュニケーション ～ここに来てよかった、という病院づくりのために～」 講師：別府大学 文学部教職課程 准教授 佐藤 敬子 氏 別府大学・別府大学短期大学部キャリア支援センター 副センター長	35人

オ 看護職サポート研修

実施日時	場所	内容	参加者
平成26年10月2日 14:00～16:00	佐伯市医師会館 大研修室	大分県看護協会看護師職能Ⅱの活動説明 「高齢社会に求められる看護職とは」 (公社)大分県看護協会看護師職能Ⅱ委員長 介護老人保健施設鶴見の太陽 副施設長 廣瀬 福美氏 講演「病院から在宅へ～当ステーションにおける活動を通して～」 講師 大分県厚生連訪問看護ステーションつるみ 管理者 光根 美保氏	47人

カ 介護施設等看護職員サポート会議【新規】

実施日時	場所	内容	参加者
平成26年10月29日 15:00～17:00	佐伯総合庁舎 大会議室	会議発足趣旨説明 佐伯地域看護ネットワーク会議メンバー-介護施設代表 廣瀬 福美氏 介護・看護に関する最新情報の共有 意見交換	28人
平成27年2月27日 15:00～17:00	佐伯市医師会館 大研修室	活動説明 「訪問看護の活用について～褥瘡改善事例の紹介等」 説明者：訪問看護ステーションさいき 管理者 寺嶋 和子氏 グループワーク「スムーズな医療機関受診を目指して」 ファシリテーター 南海医療センター 看護部長 田中由美子氏 西田病院 副看護部長 宮脇 寿子氏 佐伯中央病院 副院長兼看護局長 甲斐かつ子氏 塩月内科小児科医院 看護師長 北谷 玲子氏 介護老人保健施設鶴見の太陽副施設長 廣瀬 福美氏 訪問看護ステーションさいき 管理者 寺嶋 和子氏 南部保健所参事兼地域保健課長 川上 京子	56人

キ 看護連携強化フォーラム

実施日時	場所	内容	参加者
平成26年11月15日 13:30～16:30	佐伯市保健福祉総合センター 和楽 大研修室	第1部 講演「多職種で支える在宅医療～看護職の役割」 講師 宗像医師会 在宅支援室長 同訪問看護ステーション管理者 阿部 久美子氏 第2部 シンポジウム 「看護職の連携～佐伯地域における実践」 座長 佐伯中央病院 森 美子氏 助言者 宗像医師会 在宅支援室長 阿部 久美子氏 報告者 塩月内科小児科医院 八木 昭子氏 介護老人保健施設鶴見の太陽 廣瀬 福美氏 訪問看護ステーションさいき 寺嶋 和子氏	98人

注：佐伯地域訪問看護基礎研修を兼ねる

ク 生命と看護の授業

実施日時	場 所	内 容	参加者
平成26年10月6日 平成26年10月7日	佐伯中央病院 研修室	講話「いのちについて考える ～1日20回はありがとうと言おう～」 看護体験「聴診器による心音聴取・脈拍測定」 講師 佐伯中央病院 副院長兼看護局長 甲斐かつ子氏	17人

ケ 看護職エキスパート研修【独自】

医療機関及び認定看護師の地域貢献のひとつとして、各病院の得意テーマや認定看護師を講師として研修を行っている。計画的に研修に参加できるよう、年間研修計画を一括して保健所から看護職の属する医療機関・介護施設等に通知している。

実施日時	場 所	内 容	参加者	
平成26年9月10日 15:30～17:00	南海医療センター 大会議室	「おむつ」のつけ方・外し方を見直そう 講師 皮膚・排泄ケア認定看護師 迫田 美佐氏 講師 皮膚・排泄ケア認定看護師 大良 和恵氏	15人	
平成26年11月13日 (1) 14:00～14:50 (2) 15:00～15:50		(1)がんの痛みと鎮痛薬の使い方 講師 がん性疼痛看護認定看護師 高次 美香氏 (2)インフルエンザ対策 講師 感染管理認定看護師 中野 智美氏	27人	
平成26年8月5日 14:00～16:00	長門記念病院 研修ホール	「看護者の倫理綱領について」 講師 佐藤 美香氏	12人	
平成26年8月21日 15:00～16:30	佐伯中央病院 研修室	「大分県立看護科学大 学院NPコース修了者 によるフィジカルアセ スメントの基礎」	(1)「呼吸器」 講師 NPコース修了者 塩月成則氏	17人
平成26年9月4日 15:00～16:30			(2)「腹部」 講師 NPコース修了者 塩月成則氏	21人
平成26年10月9日 15:00～16:30			(3)「神経所見」 講師 NPコース修了者 廣瀬福美氏	25人
平成26年12月10日 14:00～16:00	西田病院 会議室	院内助産システムの紹介と見学 講師 助産師長 鉄山 真美氏	11人	

コ 診療所看看連携【独自】

診療所看護職の連携強化と情報共有、かかりつけ医療機関の看護職としての質の向上、住民が安心して受診・相談しやすい医療・看護の提供を目指し、平成25年11月に「佐伯地域診療所看看連携※」として発足した。

診療所の看護職が参加しやすい夕刻の18:30から行っている。研修内容によって、診療所看護職だけでなく介護施設や訪問看護ステーションの看護職や介護職の参加も呼びかけている。

※発起人は、佐伯地域看護ネットワーク推進会議診療所代表メンバー（塩月内科小児科医院 看護師長（認定看護管理者）北谷玲子氏）であり、事務局は塩月内科小児科医院にある。

実施日時	内 容	参加者
平成26年5月23日	胃瘻造設管理（講師：渡町台外科病院 看護師長 田中明美氏）	延べ 275 人
平成26年6月20日	エンゼルケアと家族支援（塩月内科小児科医院 岩田千代氏）	
平成26年7月24日	褥瘡ケア（講師：訪問看護ステーションさいき 管理者 寺嶋和子氏）	
平成26年8月28日	認知症について（講師：杉谷診療所 院長 井上雅公氏）	
平成26年10月24日	なるほどアロマセラピー（伊藤循環器内科クリニック 看護師長 戸高由美氏他）	
平成26年11月14日	1年間の評価（塩月内科小児科医院 看護師長 北谷玲子氏）	
平成26年12月19日	高齢者の虐待防止（講師：佐伯市地域包括支援センター職員）	
平成27年2月20日	平成27年度の年間スケジュールについて検討	

1 7 保健師活動状況

(1) 保健師配置状況

(単位：人)

平成26年度

南部保健所		佐伯市				
健康安全企画課	地域保健課	健康増進課		社会福祉課	高齢者福祉課	
1	7	23		2	3	

(2) 家庭訪問実施状況

(単位：人)

年度		母子保健															
		総数		妊婦		産婦		新生児 (未熟児を除く)		未熟児		乳児 (新生児・未熟児を除く)		幼児		その他	
		実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
24	南部保健所	197	520	0	0	43	78	16	26	22	40	14	17	12	16	7	10
	佐伯市	954	1,058	2	2	374	444	70	73	4	6	283	294	52	95	14	25
25	南部保健所	122	295	0	0	11	19	1	1	8	8	3	10	4	8	12	22
	佐伯市	1,455	2,185	12	15	521	543	27	28	19	35	496	532	136	212	16	26
26	南部保健所	105	272	0	0	4	9	0	0	1	1	2	7	3	4	0	0
	佐伯市	1,134	1,735	5	5	208	208	19	21	26	36	478	550	111	225	14	31

年度		精神		難病		結核		感染症 (結核を除く)		老成人		その他	
		実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
		24	南部保健所	57	197	4	38	22	98	0	0	0	0
佐伯市	154		657	1	1					106	123	0	0
25	南部保健所	44	133	18	34	21	60	0	0	0	0	0	0
	佐伯市	136	667	4	15					88	112	0	0
26	南部保健所	37	111	19	36	30	89	5	8	4	7	0	0
	佐伯市	143	480	0	0					130	179	0	0

資料：地域保健事業報告、保健所調べ

(3) 健康相談実施状況

(単位：人)

年度		母子		精神		難病		老成人												総合健康相談			
								重点健康相談															
								高血圧		脂質異常		糖尿病		歯周疾患		骨粗鬆症		女性の健康		病態別			
		実	延	実	延	実	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延	開催回数	延		
24	南部保健所	108	202	173	278	722	1,001																
	佐伯市	1,595	2,673	168	813	0	0	7	7	7	7	20	34	-	-	-	-	15	15	108	108	971	1,937
25	南部保健所	190	360	117	178	644	1,233																
	佐伯市	1,716	2,458	168	833	0	0	28	28	3	3	19	19	-	-	-	-	51	231	5	7	740	1,472
26	南部保健所	1,757	2,537	140	783	668	1,570																
	佐伯市	1,397	1,985	119	487	5	11	17	17	2	2	1	1	1	7	5	23	66	298	6	6	343	840

資料：地域保健事業報告、保健所調べ（電話相談は除く）

18 原爆被爆者対策

被爆者に対する保健、医療及び福祉にわたる総合的な援護対策を行うための「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、管内の原子爆弾被爆者に対して、医療特別手当・健康管理手当・保健手当及び介護手当等を状況に応じて支給するとともに、各種健康診断等を実施している。

管内の原子爆弾被爆者の年齢構成は、90歳代10人、80歳代が37人、70歳代が8人、60歳代が3人となっており、年々高齢化が進むため、健康管理については、一層の支援が必要である。

(1) 被爆者健康手帳交付及び各種手当等の支給状況

(単位：件)

	健康手帳交付数	各種手当支給状況					
		健康管理手当	保健手当		介護手当	医療特別手当	葬祭料
			保健手当Ⅰ	保健手当Ⅱ			
平成24年度末	66	46	3	1	2	4	5
平成25年度末	63	43	3	1	2	4	1
平成26年度末	58	39	2	1	1	3	5

資料：南部保健所調べ

(2) 被爆者健康診断実施状況

(単位：人)

(平成26年度)

	一般検査				希望による健康診断(がん健診等)				二世健康診断	
	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精密検査者数	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精密検査者数	受診者数	要精密検査者数
1回	63	20	31.7	5	62	7	11.3	1	13	3
2回	61	15	24.6	1						

資料：南部保健所調べ

19 献血対策

最近の輸血医療では、輸血による感染症や副作用を軽減させるうえで、400ml献血、成分献血から調整された血液による輸血が大半を占めていることから、移動献血では特に、400ml献血の確保に努めている。

(1) 献血状況

(単位：人、%)

	区 分	目 標	献 血 数	達 成 率
平成24年度	200ml	85	100	117.6
	400ml	1,500	1,519	101.3
平成25年度	200ml	75	110	146.7
	400ml	1,480	1,486	100.4
平成26年度	200ml	75	87	116.0
	400ml	1,500	1,495	99.7

資料：大分県赤十字血液センター「献血実績報告」及び「事業概要」

20 温泉

(1) 温泉地別源泉数等調

(平成27年3月31日現在)

温泉地名	源泉 総数 (A+B)	利用源泉数 (A)		未利用源泉数 (B)		温度別源泉数				湧出量 l / 分	
		自噴	動力	自噴	動力	25℃ 未満	25℃以上 42℃未満	42℃ 以上	噴 気	自 噴	動 力
佐伯市	3	1	1	—	1	3	—	—	—	8	60

資料：南部保健所調べ

(2) 温泉利用許可施設数調

(平成27年3月31日現在)

	温泉利用許可施設数 (旅館、ホテル、公衆浴場等)	
	浴用	飲用
佐伯市	8	—

資料：南部保健所調べ

(2) 毒物劇物関係施設及び立入検査実施状況

(単位：件)

(平成26年度)

	登録又は届出施設数	年度中の登録又は届出施設数		廃業施設数	立入検査施設数	違反発見施設数	含有の疑いのある物の収去	た政令で定める毒劇物含有であつた毒劇物又は政令で定める毒劇物の収去	試験の結果毒劇物又はた政令で定める毒劇物含有であつた毒劇物又は政令で定める毒劇物の収去	無登録無届出業者発見数	違反発見者数						措置											
		継	新								取	取	表	譲渡手続き		交	販	そ	登	業	設	始	そ	告				
														譲渡書の記載	譲渡書の保管										付	売	の	録
総数	62	24	3	2	24	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	4	-
製造業(知事登録分)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
輸入業(知事登録分)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般販売業	30	1	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
農薬用品目販売業	12	7	-	-	9	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
特定品目販売業	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電気メッキ事業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金属熱処理事業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
毒劇物輸送事業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
法第22条5項の者	17	16	1	1	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-

資料：南部保健所調べ

(3) 薬務関連事業実施状況

ア 薬物乱用防止教室実施状況

(平成26年度)

	小学校	中学校	高等学校
実施回数	1	8	4
啓発人数	16	1,028	1,178

資料：南部保健所調べ

イ 6.26ヤング街頭キャンペーン

(平成26年度)

実施日	場所	参加団体	参加者数	啓発人数
平成26年6月21日	トキハインダストリー佐伯店前	管内高等学校生徒、薬物乱用防止指導員及びその家族、薬学部実習生	52	300

資料：南部保健所調べ

ウ 薬物乱用防止研修会開催状況

(平成26年度)

実施日	行事名	参加者数
平成26年7月29日	薬物乱用防止指導員南部地区協議会・研修会	24名

資料：南部保健所調べ

エ 薬と健康の週間行事

(平成26年度)

実施日	行事名	内容	参加者数等
平成26年10月5日、平成26年10月17日～10月23日	①調剤体験教室 ②モバイルファーマシーの展示 ③各メディアによる啓発 ④薬の相談電話	①調剤体験教室(10/5) 分包機を用いた模擬調剤を実施 ②モバイルファーマシーの展示(10/5) 車内の見学や災害時の役割について説明 ③各メディアによる啓発(10/2～10/22) ケーブルテレビ佐伯、エフエム佐伯、大分合同新聞などのメディアを通じて、薬の正しい使い方について啓発 ④薬の相談電話(10/17～10/23(土日除く)) 薬に関する相談電話を設置	①調剤体験教室：84名 ②モバイルファーマシーの展示：40名

資料：南部保健所調べ

2 2 食品衛生

食中毒をはじめ飲食に起因する事故の発生防止と食の安全・安心を確保するため、営業許可施設及び給食施設等に対して、監視指導、講習会、啓発活動などを行った。

また、アレルギー物質をはじめ食品の適正表示については、スーパー、道の駅等の食品販売店に対して、振興局と合同監視を実施することにより、食品表示の適正化を図った。出前講座では、学校給食調理従事者等を対象に、ノロウイルス等による食中毒防止対策などの食品衛生に関する講習会を実施した。

(1) 監視指導

ア 許可を要する食品関係営業施設

(単位：か所、件)

(平成26年度)

総 数		営業施設数 (年度末現在)	監視・指導施設数
		1,902	1,048
飲 食 店	一 般 食 堂 ・ レ ス ト ラ ン 等	457	354
	仕 出 し 屋 ・ 弁 当	96	50
	旅 館	45	12
	そ の 他	315	122
菓 子 (パ ン を 含 む) 製 造 業		160	62
乳 処 理 業		0	0
特 別 牛 乳 さ く 取 処 理 業		0	0
乳 製 品 製 造 業		0	0
集 乳 業		0	0
魚 介 類 販 売 業		172	127
魚 介 類 せ り 売 り 営 業		6	8
魚 肉 ね り 製 品 製 造 業		31	25
食 品 の 冷 凍 ま た は 冷 蔵 業		17	14
か ん 詰 ま た は び ん 詰 食 品 製 造 業		3	4
喫 茶 店 営 業		130	33
あ ん 類 製 造 業		1	1
ア イ ス ク リ ー ム 類 製 造 業		2	7
乳 類 販 売 業		161	54
食 肉 処 理 業		12	13
食 肉 販 売 業		116	63
食 肉 製 品 製 造 業		2	2
乳 酸 菌 飲 料 製 造 業		0	0
食 用 油 脂 製 造 業		2	3
マ ー ガ リ ン 又 は シ ョ ー ト ニ ン グ 製 造 業		0	0
み そ 製 造 業		22	8
醬 油 製 造 業		0	0
ソ ー ス 類 製 造 業		1	1
酒 類 製 造 業		4	4
豆 腐 製 造 業		18	7
納 豆 製 造 業		0	0
め ん 類 製 造 業		5	4
そ う ざ い 製 造 業		59	44
添 加 物 製 造 業		2	2
食 品 の 放 射 線 照 射 業		0	0
清 涼 飲 料 水 製 造 業		3	4
氷 雪 製 造 業		2	1
氷 雪 販 売 業		2	1
食 品 衛 生 条 例	つ け も の 製 造 業	40	6
	こ ん に や く 製 造 業	13	9
	と ころ て ん 類 製 造 業	1	2
	ふ 製 造 業	0	0
食 品 行 商 条 例	魚 介 類 の 行 商	2	1
	ア イ ス ク リ ー ム 類 の 行 商	0	0
	そ の 他	0	0

注：監視・指導施設数は延べ数
資料：厚生労働省「衛生行政報告例」

イ 許可を要しない食品関係営業施設

(単位：か所、件)

(平成26年度)

		営業施設数 (年度末現在)	監視・指導施設数
総 数		1,259	197
給食施設	学 校	12	15
	病 院 ・ 診 療 所	11	2
	事 業 所	0	0
	そ の 他	54	19
乳 さ く 取 業		3	1
食 品 製 造 業		98	30
野 菜 果 物 販 売 業		148	27
そ う ざ い 販 売 業		97	17
菓 子 (パ ン を 含 む) 販 売 業		186	23
食 品 販 売 業		467	50
添加物(法第17条第1項の規定により規格が定められたものを除く)の製造業		3	2
添 加 物 の 販 売 業		96	7
氷 雪 採 取 業		0	0
器 具 ・ 容 器 包 装 、 お も ち ゃ の 製 造 業 又 は 販 売 業		84	4

注：監視・指導施設数は延べ数

資料：厚生労働省「衛生行政報告例」

ウ 食品関係の違反・苦情

(単位：件)

(平成26年度)

	食 品 関 係									施 設 ・ 営 業						
	法 第 6 条				法第11条・18条等				表 示	そ の 他	法第50条・51条			有 症 苦 情	無 許 可 営 業	そ の 他
	腐 敗 ・ 変 敗	カ ビ の 発 生	異 物 の 混 入	そ の 他	成 分 規 格	保 存 基 準	添 加 物	そ の 他			の 不 衛 生 取 扱 い 品	不 衛 生 な 施 設	そ の 他			
違反	0	0	0	0	6	1	0	0	67	0	6	2	0	0	2	0
苦情	0	1	10	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	5	1	0

注：件数は延べ数

資料：南部保健所調べ

エ 食品・乳等試験検査

(ア) 食品・乳等試験検査状況 (収去検査結果：項目別)

(単位：件)

	総数			検査項目																				
	検査数	違反数	不適合数	総数			理化検査												添加物					
				検査項目数	違反項目数	不適合項目数	総数			食品				添加物				着色剤						
							検査項目数	違反項目数	不適合項目数	総数	保存料		防腐剤		殺菌剤		漂白剤		発色剤					
											検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数		
総数 (乳・乳製品以外)	108	6	17	2,010	7	25	1,815	-	-	38	-	24	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
魚介類	16	-	-	212	-	-	201	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷凍食品	無加熱摂取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	加熱直前に凍結された食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍結直前未加熱の食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生食用冷凍魚介類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚介類加工品	10	1	-	31	1	-	21	-	-	20	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肉卵類及びその加工食品	15	-	-	241	-	-	212	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
乳製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳類加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類・氷菓	8	5	-	16	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
穀類及びその加工品	10	-	6	29	-	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
野菜類・果物及びその加工品	37	-	7	1,447	-	8	1,372	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
菓子類	8	-	4	24	-	6	6	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清涼飲料水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
酒精飲料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
氷雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水	3	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
かん詰・びん詰食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の食品	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
添加物及びその器具及び容器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
おもちゃ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数 (乳・乳製品)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低脂肪牛乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加工乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：機動班を除く食監分と機動班分をあわせて計上
資料：食品衛生監視定期報告

理化学検査		理化学検査										微生物学検査								総数 (乳・乳製品以外)				
食品添加物		農薬	医動薬物品用		抗生物質		ギアレ物質		換遣え食品組		その他		総数		成分規格		導範衛・生基・具準指規		その他					
甘味料	防腐剤		検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	検査項目数	違反項目数	適合項目数	不適合項目数	適合項目数	違反項目数	適合項目数		適合項目数	違反項目数		
		検査項目数																					違反項目数	検査項目数
6	-	6	-	1,365	-	396	-	11	-	5	-	-	-	195	7	25	33	7	125	25	37	-	総数	
6	-	6	-	1,365	-	396	-	11	-	5	-	-	-	195	7	25	33	7	125	25	37	-	総数(乳・乳製品以外)	
-	-	-	-	-	-	196	-	5	-	-	-	-	-	11	-	-	5	-	5	-	1	-	魚介類	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	冷 凍 食 品	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		凍結直前に加熱された食品
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		凍結直前未加熱の食品
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		生食用冷凍魚介類
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	1	-	5	1	-	-	5	-	魚介類加工品	
1	-	-	-	-	-	200	-	6	-	-	-	-	-	29	-	-	1	-	-	-	28	-	肉卵類及びその加工食品	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	乳製品	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	乳類加工品	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	6	-	16	6	-	-	-	-	アイスクリーム類・氷菓	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	27	-	11	-	-	27	11	-	-	穀類及びその加工品	
1	-	-	-	1,365	-	-	-	-	-	1	-	-	-	75	-	8	-	-	75	8	-	-	野菜類・果物及びその加工品	
-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	6	-	-	18	6	-	-	菓子類	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	清涼飲料水	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	酒精飲料	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	氷雪	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	6	-	-	-	3	-	水	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	かん詰・びん詰食品	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	その他の食品	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	添加物及びその器具及び包装	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	おもちゃ	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	総数(乳・乳製品)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	生乳	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	牛乳	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	低脂肪牛乳	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	加工乳	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	その他の乳	

(イ) 食品・乳等試験検査状況（収去検査実施状況：検査機関別）

(単位：件)

(平成26年度)

	収去検体数		保健所検査室		衛環研(化)		衛環研(微)		登録検査機関		処 分				措 置		告 発 件 数
	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	検 体 数	違 反 ・ 不 適 合	営 業 許 可 取 消	営 業 禁 止 ・ 停	廃 棄 処 分	そ の 他	指 導 票 交 付	口 頭 説 諭	
総 数	108	23	57	23	26	-	17	-	8	-	-	-	-	-	-	23	-
総 数 (乳・乳製品以外)	108	23	57	23	26	-	17	-	8	-	-	-	-	-	-	23	-
魚 介 類	16	-	5	-	5	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
冷 凍 食 品	無加熱摂取冷凍食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍結直前に加熱された加熱後摂取冷凍食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	凍結直前未加熱の加熱後摂取冷凍食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生食用冷凍鮮魚介類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚 介 類 加 工 品	10	1	5	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
肉卵類及びその加工食品	15	-	-	-	7	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳 製 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳 類 加 工 品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アイスクリーム類・氷菓	8	5	8	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
穀類及びその加工品	10	6	8	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-
野菜類・果物及びその加工品	37	7	25	7	6	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	7	-
菓 子 類	8	4	6	4	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4	-
清 涼 飲 料 水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
酒 精 飲 料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
氷 雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
かん詰・びん詰食品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 食 品	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
添加物及びその製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
器具及び容器包装	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
お も ち や	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総 数 (乳・乳製品)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
牛 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低 脂 肪 牛 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加 工 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 乳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：1 検体を複数の機関で検査する場合はそれぞれの欄に計上

資料：食品衛生監視定期報告

オ 食中毒発生状況

発生年度・月日	摂食者数	患者数	死者	病因物質	原因食品	原因施設
24 該当なし						
25 平成26年1月12日	107名	57名	0	ノロウイルス	飲食店提供料理	飲食店（旅館）
26 平成27年1月23日	45名	29名	0	ノロウイルス	飲食店提供料理	飲食店（一般）

南部保健所調べ

(2) 食品衛生監視機動班

食品衛生監視機動班は、県南地区（南部・中部保健所管内）の対EU輸出水産食品取扱認定施設の登録を目指す水産加工施設や、大規模添加物製造施設等に対しHACCP及び自主衛生管理の推進を行った。

ア 南部・中部地区の許可を要する食品関係営業施設に対する監視・指導施設状況

区 分 別		総 数		南部保健所		中部保健所	
		営業施設数	監視・指導施設数	営業施設数	監視・指導施設数	営業施設数	監視・指導施設数
総 数		2,888	708	1,902	583	1,053	125
飲 食 店	一般食堂・レストラン等	758	90	457	85	301	5
	仕出し屋・弁当	144	31	96	30	48	1
	旅 館	74	12	45	12	29	0
	そ の 他	472	91	315	86	157	5
菓子（パンを含む）製造業		256	59	160	44	96	15
乳 処 理 業		0	0	0	0	0	0
特別牛乳さく取処理業		0	0	0	0	0	0
乳 製 品 製 造 業		0	0	0	0	0	0
集 乳 業		0	0	0	0	0	0
魚 介 類 販 売 業		257	117	172	93	85	24
魚介類せり売り営業		8	10	6	8	2	2
魚肉ねり製品製造業		41	35	31	24	10	11
食品の冷凍または冷蔵業		18	15	17	13	1	2
かん詰・びん詰食品製造業		16	11	3	4	13	7
喫 茶 店 営 業		216	18	130	14	86	4
あ ん 類 製 造 業		1	1	1	1	0	0
アイスクリーム類製造業		6	8	2	6	4	2
乳 類 販 売 業		235	36	161	33	74	3
食 肉 処 理 業		15	6	12	5	3	1
食 肉 販 売 業		172	51	116	47	56	4
食 肉 製 品 製 造 業		2	2	2	2	0	0
乳 酸 菌 飲 料 製 造 業		0	0	0	0	0	0
食 用 油 脂 製 造 業		3	2	2	2	1	0
マーガリン又はショートニング製造業		0	0	0	0	0	0
み そ 製 造 業		26	10	22	6	4	4
醬 油 製 造 業		4	3	0	0	4	3
ソ ー ス 類 製 造 業		4	3	1	1	3	2
酒 類 製 造 業		9	3	4	1	5	2
豆 腐 製 造 業		24	8	18	4	6	4
納 豆 製 造 業		0	0	0	0	0	0
め ん 類 製 造 業		7	3	5	2	2	1
そ う ざ い 製 造 業		102	51	59	38	43	13
添加物(法第7条の規定による)の製造業		7	6	2	2	5	4
清 涼 飲 料 水 製 造 業		3	6	3	4	0	2
氷 雪 製 造 業		5	2	2	1	3	1
氷 雪 販 売 業		3	3	2	1	1	2
食品衛生条例	つけもの製造業	42	7	40	6	2	1
	こんにゃく製造業	19	5	13	5	6	0
	ところてん類製造業	3	2	1	2	2	0
	ふ 製 造 業	0	0	0	0	0	0
食品行商条例	魚介類の行商	3	1	2	1	1	0
	アイスクリーム類の行商	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0

注：監視・指導施設数は延べ数

資料：南部保健所調べ

イ 南部・中部地区の許可を要しない食品関係営業施設に対する監視・指導施設数
(食品衛生機動班)

(単位：か所、件)

平成26年度

		総 数		南部保健所		中部保健所	
		営業施設数	監視・指導施設数	営業施設数	監視・指導施設数	営業施設数	監視・指導施設数
総 数		1,874	231	1,259	197	615	34
給食施設	学 校	22	24	12	15	10	9
	病 院 ・ 診 療 所	20	3	11	2	9	1
	事 業 所	2	0	0	0	2	0
	そ の 他	104	21	54	19	50	2
乳 さ く 取 業		3	1	3	1	0	0
食 品 製 造 業		130	32	98	30	32	2
野 菜 果 物 販 売 業		273	30	148	27	125	3
そ う ざ い 販 売 業		181	18	97	17	84	1
菓 子 (パ ン を 含 む) 販 売 業		270	29	186	23	84	6
食 品 販 売 業 (上 記 以 外)		567	59	467	50	100	9
添加物(法第11条第1項の規定により規格が定められたものを除く)の製造業		3	2	3	2	0	0
添 加 物 の 販 売 業		148	8	96	7	52	1
氷 雪 採 取 業		0	0	0	0	0	0
器 具 ・ 容 器 包 装 、 お も ち ゃ の 製 造 業 又 は 販 売 業		151	4	84	4	67	0

注：監視・指導施設数は延べ数
資料：南部保健所調べ

23 環境衛生

(1) 水道普及状況

(単位:人、%、か所)

(平成24年度末現在)

	総人口	水道法に基づく施設						給水施設 条例に基づく 施設
		給水人口	普及率	施設数				施設数
				上水道	簡易水道		専用 水道	
					公営	組合営		
大分県	1,178,775	1,072,040	91	16	189	33	196	307
佐伯市	74,695	73,977	99	1	29	-	2	4

資料: 県環境保全課「大分県の水道」

(2) 建築物衛生管理施設

(単位:か所、件)

(平成26年度)

	登録営業所数	立入検査等件数
総数	8	-
建築物清掃業	3	-
建築物空気環境測定業	-	-
建築物飲料水水質検査業	-	-
建築物飲料水貯水槽清掃業	5	-
建築物ねずみ・昆虫等防除業	-	-
建築物総合管理業	-	-
建築物空気調和用ダクト清掃業	-	-
建築物排水管清掃業	-	-

注: 登録営業所数は年度末現在、数値は延数

資料: 厚生労働省「衛生行政報告例」、「特定建築物に対する立入検査の状況調査」
南部保健所調べ

(3) 特定建築物施設数及び立入検査状況

(単位:か所、回)

(平成26年度)

	施設数	立入検査回数
総数	14	-
興行場	-	-
百貨店	-	-
店舗	6	-
事務所	5	-
学校	-	-
旅館	1	-
その他の特定建築物	2	-

注: 施設数は年度末現在、数値は延数

資料: 厚生労働省「衛生行政報告例」、南部保健所調べ

(4) 生活衛生関係営業施設及び監視件数

(単位:か所、件)

(平成26年度末現在)

	総 数	旅館業				理 容 所	美 容 所	クリーニング所		公衆浴場		興行場	
		ホ テ ル	旅 館	簡 易 宿 所	下 宿			ク リ ン グ 所 ニ	取 次 所	一 般	そ の 他	映 画	そ の 他
佐伯市	617	8	58	57	5	157	234	21	60	3	13	-	1
監視件数	32	-	6	2	-	1	4	2	2	-	-	-	-

注:施設数は年度末現在
資料:南部保健所調べ

(5) 産業廃棄物処理業者

(単位:か所)

(平成26年度末現在)

	産業廃棄物処理業				特別管理産業廃棄物処理業			
	収 集 運 搬 業	処 分 業			収 集 運 搬 業	処 分 業		
		中 間 処 理	最 終 処 分	中 間 処 理・ 最 終 処 分		中 間 処 理	最 終 処 分	中 間 処 理・ 最 終 処 分
佐伯市	129	10	-	2	9	-	-	-

資料:南部保健所調べ

(6) 廃棄物処理施設数及び監視件数

(単位:か所、件)

(平成26年度末現在)

	一般廃棄物処理施設								産業廃棄物処理施設等							
	ごみ処理施設				最終処分場				中間処理				最終処分			
	ごみ焼却施設		粗大ごみ処理施設		し尿処理施設		焼却		その他		安定型		管理型			
	施 設 数	監 視 件 数	施 設 数	監 視 件 数	施 設 数	監 視 件 数	施 設 数	監 視 件 数	施 設 数	監 視 件 数	事 業 場 数	監 視 件 数	施 設 数	監 視 件 数	施 設 数	監 視 件 数
佐伯市	2	1	1	0	2	50	1	1	-	-	12	420	2	120	1	50

注:施設等数は年度末現在
資料:南部保健所調べ

(7) 浄化槽設置状況

(単位:基)

(平成26年度末現在)

	設 置 基 数		
	総数	単 独	合 併
佐伯市	11,462	4,708	6,754

資料:南部保健所調べ

(8) 浄化槽保守点検業の登録及び監視件数

(平成26年度末現在)

	登録数	監視件数
佐伯市	10	2

資料:南部保健所調べ

(9) 水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく特定事業場

(単位:か所、件)

(平成26年度)

	特定事業場数	立入検査件数
総 数	480(41)	50
鉱 業	()	
畜 産 農 業	31()	
畜 産 食 料 品 製 造 業	5()	
水 産 食 料 品 製 造 業	54(1)	20
野 菜 ・ 果 実 の 保 存 食 料 品 製 造 業	21()	1
み そ 等 製 造 業	1()	
小 麦 粉 製 造 業	()	
砂 糖 製 造 業	()	
パ ン ・ 菓 子 等 製 造 業	1()	
米 菓 製 造 業	()	
飲 料 製 造 業	9()	
動 物 系 飼 料 等 製 造 業	7()	
動 植 物 油 脂 製 造 業	()	
イ ー ス ト 製 造 業	()	
で ん 粉 又 は 化 工 で ん 粉 の 製 造 業	()	
ブ ド ウ 糖 又 は 水 あ め 製 造 業	()	
め ん 類 製 造 業	5()	
豆 腐 ・ 煮 豆 製 造 業	39()	3
冷 凍 調 理 食 品 製 造 業	()	
た ば こ 製 造 業	()	
紡 績 業 ・ 織 維 製 品 製 造 業	()	
洗 毛 業	()	
化 学 織 維 製 造 業	()	
一 般 製 材 業	3()	
合 板 製 造 業	()	
パ ー テ ィ ク ル ボ ー ド 製 造 業	()	
木 材 薬 品 処 理 業	1()	
パ ル プ ・ 紙 等 製 造 業	1()	
新 聞 業 、 出 版 業 、 印 刷 業	()	
化 学 肥 料 製 造 業	()	
水 銀 電 解 法 に よ る か 性 ソ ー ダ 又 は か 性 カ リ 製 造 業	()	
無 機 顔 料 製 造 業	()	
無 機 化 学 工 業 製 品 製 造 業	()	
カ ー バ イ ト 法 ア セ チ レ ン 誘 導 品 製 造 業	()	
コ ー ル タ ー ル 製 品 製 造 業	()	
発 酵 工 業	1(1)	2
メ タ ン 誘 導 品 製 造 業	()	
有 機 顔 料 又 は 合 成 染 料 製 造 業	()	
合 成 樹 脂 製 造 業	()	
合 成 ゴ ム 製 造 業	()	
有 機 ゴ ム 薬 品 製 造 業	()	
石 油 化 学 工 業	()	
石 け ん 製 造 業	()	
硬 化 油 製 造 業	()	
脂 肪 酸 製 造 業	()	
香 料 製 造 業	()	
ゼ ラ チ ン 又 は に か わ 製 造 業	()	
写 真 感 光 材 料 製 造 業	()	
天 然 樹 脂 製 品 製 造 業	()	

	特定事業場数	立入検査件数
木 材 化 学 工 業	()	
有 機 化 学 工 業 製 品 製 造 業	()	
医 薬 品 製 造 業	()	
火 薬 製 造 業	()	
農 薬 製 造 業	()	
試 薬 製 造 業	()	
石 油 精 製 業	()	
自動車用タイヤもしくは自動車用チューブの製造業	()	
加 硫 施 設	()	
皮 革 製 造 業	()	
ガ ラ ス 又 は ガ ラ ス 製 品 の 製 造 業	()	
セ メ ン ト 製 品 製 造 業	3()	
生 コ ン ク リ ー ト 製 造 業	33()	
有 機 質 砂 か べ 材 製 造 業	()	
人 造 黒 鉛 電 極 製 造 業	()	
窯 業 原 料 精 製 業	()	
砕 石 業	1()	
砂 利 採 取 業	2()	
鉄 鋼 業	()	
非 鉄 金 属 製 造 業	1()	
金 属 製 品 等 製 造 業	()	
空 き び ん 卸 売 業	()	
石 炭 を 燃 料 と す る 火 力 発 電 施 設	()	
ガ ス 供 給 業	()	
水 道 施 設	()	
酸 ・ ア ル カ リ 表 面 処 理 施 設	2()	
電 気 め っ き 施 設	()	
旅 館 業	145(2)	9
共 同 調 理 場	()	
弁 当 製 造 業	()	
飲 食 店	()	
洗 た く 業	20()	2
写 真 現 像 業	10()	1
病 院	()	
と 畜 業	()	
中 央 卸 売 市 場	()	
地 方 卸 売 市 場	()	
廃 油 処 理 施 設	()	
自 動 車 分 解 整 備 事 業	()	
自 動 式 車 両 洗 浄 施 設	38()	
試 験 研 究 機 関 等	7(3)	
一 般 廃 棄 物 処 理 施 設	2()	
産 業 廃 棄 物 処 理 施 設	()	
テ ト ラ ク ロ ロ エ チ レ ン 等 洗 浄 施 設	()	
テ ト ラ ク ロ ロ エ チ レ ン 等 蒸 留 施 設	()	
し 尿 処 理 施 設	18(17)	4
下 水 道 終 末 処 理 施 設	4(4)	4
共 同 処 理 施 設	()	
指 定 地 域 特 定 施 設	15(13)	4

注:1) ()は、瀬戸内海環境保全特別措置法及び日平均排水量50m3以上の特定事業場を再掲

2) 特定事業場数は年度末現在

3) 立入検査件数は延数

資料:南部保健所調べ

(10) 自動車リサイクル法に関係した許可及び登録数

(平成26年度末現在)

	許可数	登録数
自動車解体業	3	
自動車破砕業	0	
自動車引取業		42
自動車フロン回収業		15

資料：南部保健所調べ

(11) 第一種フロン類回収業者登録数

(平成26年度末現在)

	登録数
佐伯市	14

資料：南部保健所調べ

(12) 大分県土砂等のたい積行為の規制に関する条例に関係した特定事業の許可数及び監視件数

(平成26年度末現在)

	許可数	監視件数
佐伯市	0	1

資料：南部保健所調べ

(13) 一定の規模以上の土地の形質の変更届出数

(平成26年度末現在)

	届出数
佐伯市	29

資料：南部保健所調べ

(14) 化製場等に関する法律に関係した施設数

(平成26年度末現在)

	化製場	魚介類鳥類等製造施設	貯蔵施設	死亡獣畜施設	畜舎・家きん舎
佐伯市		2			

資料：南部保健所調べ

24 ごみゼロおおいた作戦

県では、身近なごみ問題から地球温暖化問題といった地球規模に至る環境課題の解決に向けて、平成15年度から「ごみゼロおおいた作戦」を展開している。

当保健所管内においても、県の各機関、佐伯市、市民及び事業者と協働して、各種事業を展開している。

(1) 豊かな水環境の創出

佐伯市は、市の代表河川である番匠川をはじめとした水環境の豊かな地域であるが、将来にわたっての保全と、より一層の向上を図るため、各種啓発活動等を行っている。

ア 水環境保全団体等との協働による啓発活動の実施

河川清掃や水生生物調査等の活動を通じて、子ども達の水環境保全意識の高揚を図っている。

イ 小規模事業場排水の改善指導

排水基準のかからない小規模事業場に対し、適切な排水処理施設の設置等の指導、助言を行っている。

(2) 循環型社会形成推進事業

ア ごみゼロおおいた推進隊の活動支援

現在、管内には22の団体がごみゼロおおいた推進隊として登録されており、各種環境活動を実施している。

イ 不法投棄廃棄物撤去事業の実施

平成17年度からスタートした産業廃棄物税を利用した廃棄物不法投棄防止対策事業の一環として、毎年実施している。

実施時期	撤去場所	撤去廃棄物量
H26. 9. 1～9. 12	1 豊後くろしおライン沿 2 空の公園駐車場 3 蒲江翔南中学付近	がれき類 2.41t 廃石膏ボード 0.37t 混合廃棄物 0.53t 廃家電 10台

ウ 建設リサイクルパトロールの実施

佐伯労働基準監督署及び佐伯市と合同で、建設リサイクル法に係る全国一斉パトロールに併せて春及び秋の2期に、分別解体の確認、標識の掲示、フロン類の適正処理等について監視・指導を行っている。

エ 産業廃棄物監視員による定期的な監視指導の実施

県では、排出事業者や処理業者に対する指導監督を強化し適正処理を推進するため、県内6班12名体制の産業廃棄物監視員を配置している。当保健所管内においても1班2名の産業廃棄物監視員による定期的な監視指導を実施している。

25 狂犬病予防及び動物愛護

(1) 狂犬病予防業務

	登録頭数		狂犬病予防注射頭数			捕獲頭数	返還頭数	咬傷件数
	総数	新規	総数	集合	個別			
平成24年度	4,191	292	2,468	1,164	1,304	29	12	7
平成25年度	3,820	233	2,435	1,104	1,331	18	7	4
平成26年度	3,637	166	2,105	1,038	1,067	23	4	1

資料：南部保健所調べ

(2) 犬・猫による苦情

(単位：件)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	犬	猫	犬	猫	犬	猫
総数	289	439	280	396	157	243
引き取り依頼	23	79	46	85	30	39
捕獲依頼	58	6	41	13	14	17
放し飼い取締り	19	3	13	22	14	2
捨て犬・猫	3	11	7	8	13	1
咬傷等危害の発生	5	-	9	-	3	-
鳴き声	33	2	32	3	7	-
糞尿など汚物・悪臭	18	28	22	37	11	3
行方不明等問合せ	60	15	56	22	22	13
死体収容依頼	8	253	15	173	14	162
その他	62	42	39	33	29	6

資料：南部保健所調べ

(3) 犬・猫の引き取り頭数

(単位：頭)

	猫の総数	飼えなくなった猫			所有者のいない猫		
		総数	生後91日以上	生後91日未満	総数	生後91日以上	生後91日未満
平成24年度	84	8	7	1	76	22	54
平成25年度	196	6	1	5	190	59	131
平成26年度	101	15	4	11	86	22	64

	犬の総数	飼えなくなった犬			所有者のいない犬		
		総数	生後91日以上	生後91日未満	総数	生後91日以上	生後91日未満
平成24年度	19	13	13	-	6	6	-
平成25年度	28	14	13	1	14	14	-
平成26年度	11	11	11	-	-	-	-

資料：南部保健所調べ

26 試験検査

平成20年4月から保健所の再編に伴い、検査部門は東部、豊肥、北部の3カ所の保健所に集中化された。旧佐伯県民保健福祉センターで実施していた検査業務は豊肥保健所（旧豊後大野県民保健福祉センター）で行うこととなり、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市及び由布市の6市を管轄している。業務内容は主に検便、食品（収去・依頼）検査、食中毒・感染症検査、HIV抗体迅速検査及び結核菌検査である。検便は南部保健所でも受付している。

(1) 臨床検査(糞便、喀痰、血液検査)

(単位:件) 平成26年度

		検査件数	
総 数		425	
糞 便	赤痢等検査	155	
	O157等検査	133	
	感染症に係るもの	3	
	食中毒に係るもの	-	
	寄生虫卵	-	
	その他	-	
喀 痰	結核菌検査	塗 抹	3
		培 養	3
	その他(QFT検査)	65	
血 液	HIV抗体迅速検査		13
	HBs	抗 原	9
		抗 体	-
	HCV抗体検査		9
	梅毒	RPR	8
		TPHA	8
	クラミジア抗体IgG		8
	クラミジア抗体IgA		8

(2) 臨床検査 (細菌検査)

(単位:件) 平成26年度

		検査件数	収去検査	食中毒・ 感染症等	依頼検査
細菌 検 査	総 数	180	180	0	0
	細 菌 数	54	54	-	-
	大腸菌群	49	49	-	-
	E. Coli	33	33	-	-
	E. Coli最確数	0	-	-	-
	O 1 5 7	0	-	-	-
	黄色ブドウ球菌	36	36	-	-
	サルモネラ	0	-	-	-
	腸炎ビブリオ	0	-	-	-
	腸炎ビブリオ最確数	8	8	-	-
	カンピロバクター	0	-	-	-
	そ の 他	0	-	-	-

資料:保健所調

注):拭き取り検査を含む。

IV 福祉部門

1 生活保護の状況

(1) 生活保護実施状況

(毎年4月1日現在)

区分	世帯数	人口	被保護世帯数	被保護人員	保護率	医療扶助人員	医療扶助率	介護扶助人員	介護扶助率
佐伯市	(世帯)	(A) (人)	(世帯)	(B) (人)	(B) / (A) (%)	(C) (人)	(C) / (B) (%)	(D) (人)	(D) / (B) (%)
平成 25 年	33,666	77,730	879	1,119	1.44	950	84.90	242	21.63
平成 26 年	33,609	76,712	903	1,140	1.49	1,011	88.68	242	21.23
平成 27 年	33,604	75,674	920	1,153	1.52	1,033	89.59	254	22.03

資料:世帯数及び人口は県統計調査課「人口推計結果【月報】
その他は市町村調べ

(2) 生活保護世帯の世帯類型別状況

(単位:世帯数)

(毎年4月1日現在)

区分	総数	世帯類型別(世帯)				
		高齢者世帯	母子世帯	傷病世帯	障害者世帯	その他世帯
佐伯市						
平成 25 年	879	460	28	108	106	177
平成 26 年	900	479	29	98	110	184
平成 27 年	920	505	29	106	102	178

注意:停止世帯を除く
資料:市町村調べ

2 母子及び寡婦福祉の状況

(1) 母子、寡婦及び父子世帯数

(単位:世帯、%)

(毎年4月1日現在)

区分	全世帯数	母子世帯数	割合	寡婦世帯数	割合	父子世帯数	割合
佐伯市	A	B	B/A(%)	C	C/A(%)	D	D/A(%)
平成 25 年	33,666	893	2.7	—	—	83	0.2
平成 26 年	33,609	745	2.2	—	—	75	0.2
平成 27 年	33,604	862	2.6	—	—	110	0.3

資料:市町村調べ(寡婦(夫)医療費助成に関する条例一部改正の資料より)
注:停止世帯を除く

(2) 母子世帯の年齢

(単位:世帯、%)

(毎年4月1日現在)

区分	総数	30歳代	40歳代	50歳以上	30歳未満	生活保護世帯(再掲)
佐伯市						
平成 25 年	893	371	360	68	94	28
平成 26 年	745	292	317	56	80	29
平成 27 年	862	341	357	81	83	29

資料:市町村調べ
注:停止世帯を除く、生活保護世帯数は母子世帯合計の内数

3 児童福祉

近年社会問題化している児童相談については、住民に身近な相談窓口である佐伯市の相談機能への支援を図るため、平成17年度から中央児童相談所の兼務職員を配置した。

平成15年7月に制定された次世代育成支援推進法を受けて、県では平成22年3月に「新おおいた子ども・子育て応援プラン」を策定した。この計画に基づき次代を担う子どもの成長と子育てを社会全体で支援するための取り組みを計画的に推進していく必要がある。

(1) 家庭児童相談室における相談処理状況

(単位：件数)

(平成26年度)

相談内容 佐伯市	処 理 人 数	総 数	生 性 活 習 格 等・	知 能 ・ 言 語	学校生活等			非 行	家族関係		環 境 福 祉	心 身 障 害	そ の 他
					人 間 関 係	不 登 校	そ の 他		虐 待	そ の 他			
平成26年度	71	71	15	1	-	3	-	-	20	24	2	1	5
構成比 %			21.1	1.4	-	4.2	-	-	28.2	33.8	2.8	1.4	7.0
平成25年度	76	76	14	4	-	6	-	2	23	22	-	-	5
構成比 %			18.4	5.3	-	7.9	-	2.6	30.3	28.9	-	-	6.6

資料：市町村調べ(新規の受理として共同管理台帳に取り上げられた児童数)

(2) 児童福祉施設入所状況

(単位:人)

(毎年4月1日現在)

種 別	佐伯市			
	施設名	25 年 度	26 年 度	27 年 度
保 育 所		1,157	1,135	1,175
総 数		18	19	21
乳 児 院	総 数			1
	栄 光 園			1
児 童 養 護 施 設	総 数	2	2	6
	小 百 合 ホ ー ム			1
	森 の 木			
	栄 光 園			
	光 の 園			
	別 府 平 和 園	2	2	3
	清 浄 園			
	聖 ヨ ゼ フ 寮			
	山 家 学 園			1
	鷹 巣 学 園			1
児 童 自 立 支 援 施 設	総 数	1		
	二 豊 学 園	1		
知 的 障 害 児 施 設	総 数	3	4	4
	み ず ほ 学 園	2	2	2
	大 分 県 糸 口 学 園		1	
	第 1 み の り 学 園			
	木 埋 学 園	1	1	2
盲 児 施 設	総 数			
	清 明 学 園			
ろ う あ 児 施 設	総 数			
	あ け ぼ の 学 園			
肢 体 不 自 由 児 施 設	総 数			
	こ じ か 園			
	別 府 整 肢 園			
	つ く し 園			
重 症 心 身 障 害 児 施 設	総 数			
	西 別 府 病 院			
	恵 の 聖 母 の 家			
	め じ ろ 園			
母 子 生 活 支 援 施 設	総 数	2	1	1
	大 分 市 し ら ゆ り ハ イ ツ			
	別 府 厚 生 館			
	永 生 会 母 子 ホ ー ム	2	1	1
里 親		10	12	9

注:平成27年4月1日現在市町村調べ

4 地域福祉

(1) 民生委員・児童委員等の状況

(単位:世帯、人)

(平成26年度)

内容	大分県	佐伯市
世帯数	495,267	33,604
民生委員・児童委員数	2,624	233
主任児童委員数	306	28

注：民生委員・児童委員数、主任児童委員の一斉改選時（平成27年3月31日現在）

資料：市町村調べ

(2) ユニバーサルデザイン（出前授業実施状況）

大分県ではユニバーサルデザイン推進のために小中学校で出前授業を行っている。
 パワーポイントを用いた説明やユニバーサルデザインに基づいて作られた文房具等の使用体験により、誰にとっても身近な、大切なものであることを広めた。

実施日	学校名	時間	対象児童数
平成26年7月14日	佐伯市立直川中学校	10:40～12:30	50
平成26年10月2日	佐伯市立蒲江小学校	10:30～12:00	42
平成26年10月9日	佐伯市立佐伯南中学校	14:00～15:30	94
平成26年10月10日	佐伯市立鶴見中学校	13:55～15:45	23
平成26年10月21日	佐伯市立上堅田小学校	14:00～15:30	38
平成26年11月20日	佐伯市立宇目緑豊小学校	9:00～10:30	17

(3) 大分あったか・はーと駐車場利用証交付状況

大分県では、平成23年12月から、車いすマーク駐車場の適正利用を推進し、車いすを使用している方や歩行が困難な方など、車いすマーク駐車場を本当に必要としている方が安心して利用できるようにするために、「あったか・はーと駐車場利用証制度」をスタートしました。

区分	24年度	25年度	26年度
総数	76	75	92
身体障がい者	51	49	63
知的障がい者	-	1	3
精神障がい者	-	1	-
高齢者	6	2	5
難病者	1	5	3
妊産婦	16	14	18
けが人	-	1	-
その他	2	2	-

資料：保健所調べ

(4) 新百歳訪問の実施状況

新百歳（年度中に百歳に達する者）を迎える高齢者を対象に、その長寿を祝う事業として、毎年9月～10月かけて「お祝い訪問」を実施している。

(単位：人)

(毎年9月30日現在)

		総数	佐伯地区	上浦地区	弥生地区	本匠地区	宇目地区	直川地区	鶴見地区	米水津地区	蒲江地区
24年度	総人口	78,365	47,850	2,254	7,452	1,693	3,156	2,410	3,535	2,194	7,821
	新百歳人口	21	14	-	2	-	-	1	-	1	3
	百歳以上人口	45	19	1	5	1	3	3	2	2	9
25年度	総人口	77,321	47,422	2,170	7,432	1,650	3,068	2,382	3,427	2,157	7,613
	新百歳人口	9	5	2	-	-	-	1	-	-	1
	百歳以上人口	49	26	2	4	1	2	4	-	2	8
26年度	総人口	76,323	46,959	2,114	7,450	1,632	2,977	2,339	3,348	2,082	7,422
	新百歳人口	22	11	-	1	-	1	2	-	3	4
	百歳以上人口	48	26	1	4	-	3	4	1	2	7

資料：市町村調べ

5 障がい者（児）福祉

(1) 身体障害者（児）手帳交付状況及び身体障害者相談員数

(単位：人)

年	区分 総数	視覚	聴覚	音声言語	肢	内	身体障害者 相談員
		障がい	障がい	そしゃく障がい	不自由	障がい	
平成26年 4月1日現在	4,771	382	359	51	2,631	1,337	11
	(35)	-	(4)	-	(18)	(13)	-
平成27年 4月1日現在	4,666	356	348	49	2,580	1,333	11
	(35)	-	(3)	-	(19)	(13)	-

資料：市町村調べ、福祉行政報告例14表

() 内は身体障がい児再掲

(2) 療育手帳交付状況及び知的障害者相談員数

(単位：人)

年	区分 総数	総数		知的障がい者(18歳以上)			知的障がい児(18歳未満)			知的障害者 相談員
		A	B	総数	A	B	総数	A	B	
平成26年 4月1日現在	701	262	439	615	228	387	86	34	52	3
	720	265	455	623	231	392	97	34	63	3

資料：市町村調べ、福祉行政報告例 第31表

A：重度 B：中軽度

(3) 精神障がい者保健福祉手帳交付件数（再掲）

(単位：人)

年	区分 総数	1級	2級	3級
		平成25年度末現在	373	18
平成26年度末現在	397	16	272	109

資料：こころとからだの相談支援センター

(4) 平成26年度佐伯地区身体・知的障がい者相談員合同研修会

日時	場所	内容	出席者
平成26年12月18日 13:30~16:45	佐伯総合庁舎 南部振興局4階 大会議室	(1) 説明 ・障がい福祉の現状について ・悪徳商法対策について (2) 情報提供 ・大分県身体障がい者福祉協会の取組について ・大分県手をつなぐ育成会の取組について (3) 人権研修 人権啓発DVDの上映 (4) 意見交換会	18

V 參考資料

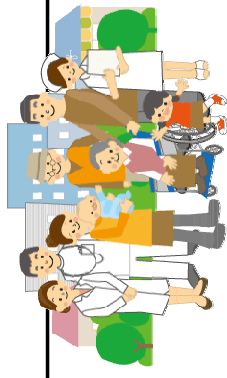
1. 調査研究報告等

平成26年度

No	テ ー マ	調 査 研 究 レ ポ ー ト 作 成 者	種 別
1	感染症の「見える化」について	溝腰 朗人	平成26年度保健所調査研究事業 第60回大分県公衆衛生学会
2	人工呼吸器を装着した児への在宅療養支援	二宮 ちえ	第60回大分県公衆衛生学会
3	蛍光を利用した交差汚染に関する衛生指導のための条件検討について	中田 高史 溝腰 朗人 百武 兼道 山口 真由	平成26年度全国食品衛生監視員研修会 (優秀課題)
4	異物混入事例報告及び食品苦情事例の共有化による業務効率化について	浅野 琴愛 山口 真由 溝腰 朗人 長田 忠 秋岡 緑郎	平成26年度食品衛生監視員・と畜検査員・狂犬病予防員研究発表会

平成26年度 南部保健所行動計画

I 地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護連携体制の整備



- ・在宅医療・介護連携を推進します。
- ・訪問看護・介護の資質向上と連携強化を継続して推進します。

II 健康危機管理の拠点としての機能の充実



- ・健康危機管理体制の充実を図ります。
- ・健康危機管理シミュレーションを実施します。

III 豊かな水環境の創出



- ・水環境保全団体への活動支援を行います。
- ・小規模事業場への監視指導を行います。

I 地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護連携体制の整備

現状と課題

南部保健所管内は、平成25年度から佐伯市医師会・佐伯市・南部保健所が協働して在宅医療・介護連携体制の整備に取り組んできた。

住民が可能な限り住み慣れた地域で必要な医療、介護サービスを受け、安心して自分らしい生活を送るためには、在宅医療・介護連携の推進や、訪問看護・介護の資質向上と連携の強化が求められている。このため、佐伯市主体の地域包括ケアに在宅医療・介護が統合されるように連携体制の整備を推進する必要がある。

保健所が実施すべき対策

- 1 佐伯市・佐伯市医師会・南部保健所協働の在宅医療・介護連携の推進
 - (1) 地域保健委員会に在宅医療小委員会を設置
 - (2) 多職種向けの研修会の開催
 - (3) 住民への在宅医療に関する啓発
- 2 佐伯市地域ケア会議への参加
- 3 長寿支援ネット懇話会※への参画

※佐伯市地域包括支援センターを事務局とする
医療・介護実務者の多職種連携の研修・会議の場
- 4 訪問看護・介護の資質向上と連携強化の継続推進
 - (1) 訪問看護連絡会の開催
 - (2) 在宅医療看護連携強化フォーラムの開催
 - (3) 訪問看護と介護職員の連携による支援の実践・調整

目標指標

- ・佐伯地域保健委員会での在宅医療小委員会の設置
- ・多職種向けの研修会の開催
- ・住民向け在宅医療に関する啓発
- ・佐伯市地域ケア会議への参加
- ・長寿支援ネット懇話会への参画
- ・訪問看護連絡会の開催
- ・在宅医療看護連携強化フォーラムの開催



II 健康危機管理の拠点としての機能の充実

現状と課題

南部保健所管内は、南海トラフ巨大地震の発生が予想される地域であることから、保健所機能の維持を図るための方策を講じるとともに、新型・鳥インフルエンザ等健康危機事案の発生に備え、佐伯市、佐伯市医師会等関係機関相互の協力体制の確立を図り、予防対策や事案発生時の迅速かつ適切な対応による健康被害の拡大防止を図る必要がある。

保健所が実施すべき対策

- 1 健康危機管理体制の充実
 - (1) 健康危機管理連絡会議の開催
 - (2) 健康危機情報の提供
(ホームページ、Eメール、iFAX等)
- 2 健康危機管理シミュレーションの実施
 - (1) 広域災害救急医療情報システム
(EMIS)入力訓練
 - (2) 衛星携帯電話通話訓練
 - (3) 避難訓練
 - (4) 職員安否確認訓練
 - (5) 鳥インフルエンザ防疫訓練
 - (6) 防護服着脱訓練

目標指標

- ・健康危機管理連絡会議の開催
- ・健康危機管理情報の提供
- ・健康危機管理訓練の実施



Ⅲ 豊かな水環境の創出

現状と課題

南部保健所管内は水環境の豊かな地域であり、特に番匠川は佐伯市を代表する河川として市民に親しまれている。また、番匠川については、第1次佐伯市総合計画の中で「九州一の清流」を目標に掲げており、これに向けて「佐伯市 川を守り水辺に親しむ会」などの団体が水環境保全活動を行っている。

南部保健所においては、所管する「水質汚濁防止法」に基づく事業所排水規制による汚濁負荷量の削減を軸に、水環境保全に取り組んでいる。しかしながら、管内の大部分を占める小規模事業所(日排水量50m³未満)については、実質的な規制基準が無いことから、排水が充分に処理されずに放流される事例等があり、課題となっている。

保健所が実施すべき対策

- 1 各水環境保全団体に対する技術的助言や資機材の提供等の活動支援。
- 2 小規模事業所への立入計画の策定と、これによる監視の実施(不適正事例を把握した場合は、事業者への指導、助言により、早期の改善を促す)

目標指標

- ・ 水環境保全団体への活動支援
- ・ 小規模事業所への監視、指導



I 地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護連携体制の整備

事業の実施状況

- ・ 佐伯地域保健委員会での在宅医療対策小委員会の設置
(実施状況) 設置 5月30日、会議 7月28日、11月10日、3月27日
- ・ 多職種向けの研修会の開催
(実施状況) 12月11日、2月16日、3月16日
- ・ 住民向け在宅医療に関する啓発
(実施状況) 3月21日
- ・ 佐伯市地域ケア会議への参加・支援
(実施状況) 4月～9月まで計11回
- ・ 佐伯市介護予防拠点支援事業(県モデル事業)への支援
(実施状況) 打合せ 5回、ケースカンファレンス 5回、実践報告会 1回
- ・ 長寿支援ネット懇話会への参画
(実施状況) 5月1日、3月25日
- ・ 訪問看護連絡会、訪問看護基礎研修の開催
(実施状況) 8月5日、11月9日・15日・16日
- ・ 看護の地域ネットワーク研修の開催(病棟から在宅へ)
(実施状況) 10月2日
- ・ 看護連携強化フォーラムの開催(多職種で支える在宅医療)
(実施状況) 11月15日
- ・ 介護施設等看護職員サポーター会議の開催
(実施状況) 10月29日、2月27日
- ・ 訪問看護・介護連携による同伴訪問及び事例検討
(実施状況) 2事例×2回、退院前調査等3事例

事業の成果等

- ・ 佐伯地域保健委員会に在宅医療対策小委員会を設置するとともに、多職種向けの研修会や住民向け講演会を実施した。
- ・ 介護予防拠点支援事業(県モデル事業)の実践を通じて、利用者の意欲や支援者の自立支援への機運が向上した。
- ・ 介護施設と医療機関の看護・介護職の顔の見える関係づくりと入退院における情報共有の合意形成を図ることができた。

今後の方向性・改善計画等

引き続き、佐伯市が実施する在宅医療・介護連携体制の整備を支援するとともに、看護職の連携強化及び看護・介護ケアの質の向上を図り、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

II 健康危機管理の拠点としての機能の充実

事業の実施状況

- ・健康危機管理連絡会議の開催 (実施状況) 5月19日開催
- ・健康危機情報の提供 (実施状況) 感染症情報をホームページに毎週掲載
マダニ媒体感染症の注意喚起をホームページ及び市報に掲載
ノロウイルス及びインフルエンザの流行状況を関係機関にEメールで情報提供
- ・健康危機管理訓練の実施 (実施状況) 広域災害救急医療情報システム入力訓練 8月26日～29日
衛星携帯電話通話訓練 毎月1回実施
衛星携帯電話を使用した佐伯市医師会との情報伝達訓練 6月9日
南海トラフ津波浸水避難訓練 9月30日、10月1日
職員安否確認訓練 6月30日、10月8日
南部地区特定家畜伝染病防疫演習 11月20日
保健所職員対象鳥インフルエンザ対応防護服着脱訓練 4月16日、17日
管内保健師対象鳥インフルエンザ対応防護服着脱訓練 10月28日
県工ボラ出血熱対応訓練 11月7日 患者搬送訓練 11月18日、19日
保健所職員対象工ボラ出血熱対応防護服着脱訓練 3月19日、20日

事業の成果等

佐伯市、佐伯市医師会等関係機関相互の協力体制の確立等による健康危機管理体制の充実や各種健康危機管理訓練の実施等を通じて、健康危機管理の拠点としての機能の充実が図られた。

今後の方向性・改善計画等

引き続き、健康危機事案の予防対策や事案発生時の迅速かつ適切な対応による健康被害の拡大防止を図るため、健康危機管理の拠点としての機能の充実に取り組む。

Ⅲ 豊かな水環境の創出

事業の実施状況

- ・ **水環境保全団体への活動支援**
環境教育アドバイザーを活用した団体への活動支援として、水生生物調査に係る調査セット及び水質簡易測定器（CODパツクテスト）等の資材、機材の提供を実施した。
- ・ **小規模事業場への監視、指導**
日排水量50m³未満の洗濯業、水産食品製造業、野菜漬物製造業、豆腐油揚げ製造業、飲食店について立入検査計画を策定し、その計画に基づき施設への立入検査を実施（H26.4～H27.2）し、必要な指導、助言を行った。

事業の成果等

- ・ 団体の活動を通じ、対象の小学生等に水質保全への啓発が行われたことにより、河川清掃への参加等の環境保全活動に取り組む気運が醸成された。
- ・ 排水処理施設の適正管理等を促すことにより、河川等へ流入する汚濁負荷量の低減が図られた。

今後の方向性・改善計画等

- ・ 引き続き、水環境保全団体への活動支援について、取り組む。
- ・ 引き続き、対象事業場への立入検査を行い、必要な指導、助言を行う。

I 地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護連携体制の整備

事業の実施状況

- ・ 佐伯地域保健委員会での在宅医療対策小委員会の設置
(実施状況) 設置 5月30日、会議 7月28日、11月10日、3月27日
- ・ 多職種向けの研修会の開催
(実施状況) 12月11日、2月16日、3月16日
- ・ 住民向け在宅医療に関する啓発
(実施状況) 3月21日
- ・ 佐伯市地域ケア会議への参加・支援
(実施状況) 4月～9月まで計11回
- ・ 佐伯市介護予防拠点支援事業(県モデル事業)への支援
(実施状況) 打合せ 5回、ケースカンファレンス 5回、実践報告会 1回
- ・ 長寿支援ネット懇話会への参画
(実施状況) 5月1日、3月25日
- ・ 訪問看護連絡会、訪問看護基礎研修の開催
(実施状況) 8月5日、11月9日・15日・16日
- ・ 看護の地域ネットワーク研修の開催(病棟から在宅へ)
(実施状況) 10月2日
- ・ 看護連携強化フォーラムの開催(多職種で支える在宅医療)
(実施状況) 11月15日
- ・ 介護施設等看護職員サポーター会議の開催
(実施状況) 10月29日、2月27日
- ・ 訪問看護・介護連携による同伴訪問及び事例検討
(実施状況) 2事例×2回、退院前調査等3事例

事業の成果等

- ・ 佐伯地域保健委員会に在宅医療対策小委員会を設置するとともに、多職種向けの研修会や住民向け講演会を実施した。
- ・ 介護予防拠点支援事業(県モデル事業)の実践を通じて、利用者の意欲や支援者の自立支援への機運が向上した。
- ・ 介護施設と医療機関の看護・介護職の顔の見える関係づくりと入退院における情報共有の合意形成を図ることができた。

今後の方向性・改善計画等

引き続き、佐伯市が実施する在宅医療・介護連携体制の整備を支援するとともに、看護職の連携強化及び看護・介護ケアの質の向上を図り、地域包括ケアシステムの構築を推進する。

II 健康危機管理の拠点としての機能の充実

事業の実施状況

- ・健康危機管理連絡会議の開催 (実施状況) 5月19日開催
- ・健康危機情報の提供 (実施状況) 感染症情報をホームページに毎週掲載
マダニ媒体感染症の注意喚起をホームページ及び市報に掲載
ノロウイルス及びインフルエンザの流行状況を関係機関にEメールで情報提供
- ・健康危機管理訓練の実施 (実施状況) 広域災害救急医療情報システム入力訓練 8月26日～29日
衛星携帯電話通話訓練 毎月1回実施
衛星携帯電話を使用した佐伯市医師会との情報伝達訓練 6月9日
南海トラフ津波浸水避難訓練 9月30日、10月1日
職員安否確認訓練 6月30日、10月8日
南部地区特定家畜伝染病防疫演習 11月20日
保健所職員対象鳥インフルエンザ対応防護服着脱訓練 4月16日、17日
管内保健師対象鳥インフルエンザ対応防護服着脱訓練 10月28日
県工ボラ出血熱対応訓練 11月7日 患者搬送訓練 11月18日、19日
保健所職員対象工ボラ出血熱対応防護服着脱訓練 3月19日、20日

事業の成果等

佐伯市、佐伯市医師会等関係機関相互の協力体制の確立等による健康危機管理体制の充実や各種健康危機管理訓練の実施等を通じて、健康危機管理の拠点としての機能の充実が図られた。

今後の方向性・改善計画等

引き続き、健康危機事案の予防対策や事案発生時の迅速かつ適切な対応による健康被害の拡大防止を図るため、健康危機管理の拠点としての機能の充実に取り組む。

Ⅲ 豊かな水環境の創出

事業の実施状況

- ・ **水環境保全団体への活動支援**
環境教育アドバイザーを活用した団体への活動支援として、水生生物調査に係る調査セット及び水質簡易測定器（CODパツクテスト）等の資材、機材の提供を実施した。
- ・ **小規模事業場への監視、指導**
日排水量50m³未満の洗濯業、水産食品製造業、野菜漬物製造業、豆腐油揚げ製造業、飲食店について立入検査計画を策定し、その計画に基づき施設への立入検査を実施（H26.4～H27.2）し、必要な指導、助言を行った。

事業の成果等

- ・ 団体の活動を通じ、対象の小学生等に水質保全への啓発が行われたことにより、河川清掃への参加等の環境保全活動に取組む気運が醸成された。
- ・ 排水処理施設の適正管理等を促すことにより、河川等へ流入する汚濁負荷量の低減が図られた。

今後の方向性・改善計画等

- ・ 引き続き、水環境保全団体への活動支援について、取組む。
- ・ 引き続き、対象事業場への立入検査を行い、必要な指導、助言を行う。

南部保健所報

(平成27年度版)

編集・発行者 大分県南部保健所

〒876-0844

佐伯市向島1丁目4-1

TEL (0972) 22-0562